

結構ナコトデアリマスガ、ソノ豫算ガ餘リニ寡少デアルト云フ點ニ私共如何ニモ不滿ヲ感ズルモノデアリマス。聞ク所ニ依ルト一人當リ一ケ年ニ約四圓グラキノ縣費ノ補助ガアルト云フコトデアリマス尤モ授業料ハ全免デアルガ、コノ兩學校ノ經費ヲ合算致シマシテモ僅ニ貳萬貳參千圓デアリマシテ、一中等學校ノ經費スラ四五萬圓、五六萬圓ト云フ時ニ當リマシテ二校合ヒテ貳萬數千圓シカナイト云フヤウナ少額豫算ヲ以テ是等不幸ノ多數ノ人々ヲ救済シテ教育シテ參リマスルト云フヤウナコトガ可能デアラウカドウカ、殊ニソコヲ參觀致シマシテ教師ノ教授ノ方法ヲ見マシテ實ニ涙ナクテ見ルコトノ出來ナイ状態デアリマス。勿論普通ノ教員サントハ大變ニ趣キヲ異ニシテ居リマス。眞カラ精魂ヲ打込ンデヤラレテ居リマス。教育ノ方法、是等ノ點ニツキマシテ考ヘマスルニ何ントカ今少シ是等ノ人達ノ待遇ヲ特ニ改善シテヤルト云フヤウナ方法ヲ考ヘニナツテ居リマスルカドウカ、コノ點ヲ伺ヒタイ。ソレカラホンノ一口、女學校ノ問題デアリマス。私ノ方ノ惠那實科高等女學校ハ不幸ニシテ移管カラ排除サレタノデアリマス。誠ニ残念ナ次第デアリマスガ、地方民ノ落膽及生徒ノ力ヲ落シタコトハ實ニ想像出來ナイヤウナ次第デアリマス。所ガ聞ク所ニ依リマス本問題ヲ解決スルニ當ツテハ縣ノ當局ノ内ノドナタカ知リマセンガ、大分偉イ人ダト云フ話ヲ聞キマシタガ、兎モ角モ感情ノ爲ニ動カシタノデナイカト云フコトヲ聞キマス。斯ノ如キコトハ信ジタクナイ。恐ラク風説ダラウト思ヒマス。私ノ方ノ學校及大垣ノ新設女學校ノ如キハサウ云フヤウナ關係ノ爲ニ大變煩ハサセラレタト云フコトヲ聞キマシタ。コレハ言語同斷デアル。若シカヤウナコトガ事實デアレバ本縣教育振興ノ爲メ甚ダ悲シムベキコトデアル。斯様ナコトハナイト思ヒマスガ、斯ノ如ク緊切急用差迫ツテ居

ルヤウナカウ云フ問題ニツキマシテ學務部長サンハ相當御考慮下サツテ居ルコト、思ヒマス。將來ノ點ニツキマシテ近キ將來ニ本校ヲドウスルト云フヤウナコトニツキマシテノ御答辯ヲ煩ハシテ置キタイト思ヒマス。次ニ私ハ社會問題ノ方面ニ移ツテ一ニオ尋ネシタイト思ヒマス。方面委員ノコトデアリマシテ、コレハ餘程素質ガ良クサウシテ人格者デアリマセント實際ニ於キマシテ色々ナ誤解ヲ招キマシテ餘リ感心シナイ事態ガ生ジテ來ルノデヤナイカ、コノ方面委員ガ色々ナ方面ニ利用スルヤウナ傾キノアルコトヲ往々ニシテ見テ居ルノデアリマス。是等ノ點ニツキマシテ餘程選擇ソノ宜シキヲ得ナイト、單ニ町村長諸氏ノ推薦サレルト云フコトニ委セテ置カレルト云フコトハ果シテドウカ、尤モ御監督ハサレルガコノ點ニツイテ多大ノ疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス。所ガコノ方面委員ノ必要ガ更ニ倍加サレテ來テ居ルト思フノデアリマス。カウ云フ新體制ニ這入りマスレバ當然部落ノ常會トカ云フヤウナモノ、中ニ、カウ云フ集リノ中ニ方面委員ガ交ツテ居ツテ貫フト云フコトハ確ニ必要デアルト思ヒマス。カウ云フコトニ致シマスレバ勢ヒ相當ナ經費ノ増嵩ヲ見ルノデアリマス。反對ニ本豫算ヲ見マスト方面委員費ガ多少ナリトモ減額サレテ居ル。先程社會課長サンノ御説明ニモアリマシタ通り多少トモ減ツテ居ル。コレハドウモ怪シカラシトコトデナイカ、或ハ獎勵費トカドウトカ云フヤウナ費目ニ於テ減ツテ居ル。コレハ時代ニ添ハナイコレクラキ馬鹿氣タコトハナイト思ヒマス。ドウ云フオ考ヘヲ以テ編成サレタカ、學務當局ノ御答辯ヲ煩ハシタイ。尙ホ中小商工業者ノ轉失業對策ノ内ノ一ツデアリマスケレドモコレハ勸業費ノ時ニ色々皆サンカラオ話ガアリマシタガ、私轉失業ト申シマシテモ轉業ト云フコトハ實際云フベクシテ行ハレナイコトデヤナイカト思ヒマス。何シトナレバ今申

ノ事業ヲヤツテ居ツテ乙ノ事業、丙ノ事業ヲヤラウト思ツテモ各事業悉ク行詰リデアル。之ヲヤツタ
ラヨカラウト云フ特別ノ事業ガナイト思ヒマス。恐ラク轉業ト申シマシテモ轉業ノ餘地ガナカラウト
思ヒマス。コノ方面カラ失業者ガ續々出テ來ルコトヲ豫想シナケレバナラヌ。更ニコノ轉業ヲ致シマ
スル人達ニ對シマシテハ更生金庫トカ云フヤウナ方法ニ依ツテ救濟ノ方法ガアリマスルガ、是等ノ人
ノ下ニ使役サレテ居ル多クノ使用人達、例ヘバ商店ノ番頭サン、事務員、カウ云フ人ハドウナルカ。
ソノ人モ或ハ二十臺、三十臺ノ人ナラ兎モ角、四十臺、五十臺或ハ六十臺ノ人モアルト思ヒマス。是
等ノ人ニ滿洲ニ行ケト云ツテモ軍需工場ニ行ケト云ヒマシテモ不可能デアルト思ヒマス。カウ云フ
方面ノ人達ニ對シマシテ而カモ家族多數ヲ持ツテ居ルト路頭ニ迷フ人モアルト思ヒマス。カウ云フ
人達ニ對シマシテドウ云フオ考ヘテ持ツテ居ラレルカ、國ノ方デモカウ云フ人達ニ對シマシテ確タル
オ考ヘガアルカドウカト云フコトヲ新聞等ヲ通ジテ見マシテモハツキリシナイノデアリマス。縣當局
トシテ是等ノ點ニツイテ何等カノ對策ガアルカドウカ、大體社會事業ハ申スマデモナイガ、社會事業
團體ト云フモノ、大部分ハ經濟團體デナイ。經濟的團體デアリマセン故ニ費用ノ出場所ガドコニモナ
イノデアリマス。結局國ノ補助若シクハ縣ノ補助ト云フモノニ頼ルヨリ外ニ途ガナイ。コノコトガ進
捗ヲ害シテ居ルヤウナ點ガアルト思ヒマス。是等ニ對シマシテ御答辯願ヒタイ。尙ホ一二極メテ簡單
ニ社會事業費ノ内地方改良費ノ内ノ融和事業費ノ點デアリマスガ、コレハ御承知ノ通り時局ト致シマ
シテ全ク國民ノ總力ヲ擧ゲテ聖戰目的ノ完遂ヲ期セナケレバナラヌ時ニ當リマシテ國內ノ事情今尙ホ
融和事業ニ融和會費ト云フヤウナ費用ヲ出サナケレバ本當ニシツカリシタ融和ガ出來テ居ラヌト云フ

ヤウナ事實ガアレバ甚ダ怪シカラシコトデアルト思ヒマス。併ナガラ私共聞ク所ニ依リマス、コレ
ハ相當ニ融和ヲナスベキ事情ガ澤山アルノダ。可ナリ大キナ支障ガアル。融和ヲ缺イテ居ルヤウナ部
分ガアルト一般ノ縣民ト致シマシテモマダ充分ニ差別的觀念ト云フモノガ去ラナイ人モアルノヂヤナ
イカ、私ハ國ト云ハズ縣ト云ハズ是等國家ニ仕ヘテ居ル所ノ官吏デスラモ或ハ充分ニ認識シテ居ラレ
ナイ人ガアルノヂヤナイカ。斯様ニ考ヘマシテモ信ズベキ理由サヘアルノデアリマス。デアリマスカ
ラ是等ノモノニ對シマシテハコノ際徹底的ニ融和ノ實ヲ揚グルヤウニ今少シ經費ヲ、私コノ頃色々ナ
費用ノアルノヲ見テ居リマシタ。マダ一部ノ費用ノ不急ナ仕事ヲ削除致シマシテモコノ融和事業ノ如
キニハ何ントカ増額スル必要ガアルノヂヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス。尙ホ私ハ最後ニ軍人ノ
遺家族ノ關係デアリマスガ、先程オ話ガアリマシタカラ蛇足ヲ添ヘルコトハ止メタイト思ヒマスガ、
ドウモ遺家族ノ取扱ト云フヤウナ點ニ於キマシテ遺憾ナ點ガ往々アルノヂヤナイカト思ヒマス。縣當
局ノ方ニ於キマシテモ勿論サウ云フ嫌ヒガナイノヂヤナイカト思ヒマスガ、町村方面ヲ振返ツテ見マ
スト可ナリサウ云フヤウナ嫌ヒガアルノヂヤナイカト思ヒマス。現ニ甚ダカウ云フ所デ申上ゲルコト
ハ考ヘナケレバナラヌコトダト思ヒマスガ、例ヘバ軍事扶助等ニツイテ民事訴訟ガ起ツタトカ警察沙
汰ガアツタトカ云フヤウナコトモ無イコトハナイノデアリマス。斯ノ如キコトハ縣當局ヲ初メ町村當
局ガ理解サレテ事茲ニ至ルマデニ今少シ調停斡旋ノ勞ヲ執ラレルト云フコトガアレバカウ云フコトニ
ナラナイノヂヤナイカト思ヒマス。是等ノ點ニツキマシテモ簡單デ宜シイカラ御答辯願ヒタイ。從テ
理由ハ色々アリマスガ一切止メマシテ要點ダケ申上ゲマシタ。以上デゴザイマス。

○參與員(書記官有松昇君) 十一番ノ御質問ニ對シマシテ要點ノミヲ答ヘ申上ゲマス。第一點ノ旨 豐臣教育ノコトニ關シテ、ゴザイマスガ、御同情ノアル御質問ニ對シマシテ感謝ノ外ゴザイマセン。私共コノ學校ニ行ツテ見マスト成程生徒諸君ハ氣ノ毒デゴザイマシテ何ントカシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルモノデアリマス。デ盲學校ハ幸ニ致シマシテ昨年縣立ニ移管サレマシテ稍々ソノ實效ヲ收メ得ルニ至リマシタガ、豐臣學校ニツキマシテハ從來ヨリ一層力ヲ用キテ御心配ノナイヤウニ致シタイト存ジテ居リマス。尙ホ是等ノ生徒ノ教育ニ當リマスル教員諸君ハオ説ノ通り獻身ノニヤウツテ居リマシテ全ク頭ヲ下ゲズシテハソノ状態ヲ見得ナイヤウナ状態デアリマス。是等ノ點ニツキマシテ豫算ノ許ス限りニ於テ又財政ノ許ス範圍内ニ於テ豫算ヲ増額シタイ。差當リ校長ト連絡ヲ取りマシテ出來ルナラバ成ルベク待遇ヲ向上シテ行キタイト考ヘマシテ特ニ昇給ノ期限ヲ早メルトカ、或ハソノ率ヲ高メルトカ、出來ルダケノコトヲ現在ヤツテ居リマス、第二點ト致シマシテ惠那實科女學校ノ縣立移管ノコトデゴザイマシタガ、コレハ地方ノ方々ノ非常ナ御盡力ニモ依リマシテ私共微力ヲ盡シマシタニ拘ハラズ本年實現致サナカツタコトハ甚ダ遺憾デアリマス。コノ問題ニツキマシテハマダ全然失望シテ了フノハ早イト思ヒマス。尙ホ今後トモ引續キ努力ヲ拂ツテ行キタイト思ヒマス。何卒地元ニ於テモ力ヲ落サレナイヤウニオ考ヘ願ヒタイト思ヒマス。第三點ノ社會問題、方面委員ノ人選ニ關シマシテハ最近方面委員ノ仕事ガ一層重要性ヲ加ヘマスル今日、ソノ人選ノ如何ハ影響ヲ及ボスコトガ大デアルコトハオ説ノ通りデアリマシテ、コノ人選ニ關シマシテ縣ト致シマシテハ今後トモ意ヲ用キテ遺憾ナキヤウニ致シタイト思ヒマス。次ニ方面委員ノ費用ガ減額サレタ。益々費用ヲ増シテ

行カネバナラヌ今日反對ニ減額サレタノハドウ云フ譯カト云フヤウナオ尋ネデゴザイマス。一應御尤モナ御質問ト存ジマス。只ダコノ問題ニツキマシテ從來ノ豫算ノ額ガ多カツタノデゴザイマシテ、本年ハソノ殘額——從來費ヒ切レナカツタ殘額ダケヲ財政ノ都合テ落シタニ過ガナイノデアリマス、併ナガラコレハ私共コレデ満足シテ居リマセン。方面委員ノ仕事ハ幾ラデモアルノデアリマス。費用ガアレバアル程多々益々辨ズル譯デアリマスカラ將來ハコノ點ノ増額ニツキマシテ努力致シタイト考ヘテ居リマス。次ニ中小商工業者ノ轉失業問題、ソレニ使用サレテ居ル人ノ家族等ニ關シマシテ如何ニスルカト云フ問題ニツイテノ御質問デアリマシタガ、之ニツキマシテハ經濟部トヨク連絡ヲ取りマシテ適當ニ考ヘテ居リマスガ、少クトモ學務部關係ニ關シマスル限り、例ヘバ滿洲ニ行クトカ軍需工業ニ轉業セシメルト云フ風ニ適材適所ニ依ツテ努力シテ居リマス。先般來何カ失業シタ者ハ滿洲ヘ行ツテ了ヘトカ、滿洲ニ關シマシテ私共非常ニドウモ拜聽致シテ居リマシテ何カ耳ヲ疑フヤウナ感ジヲ抱クコトガアツタノデアリマス。滿洲ニ參リマスルノハ決シテ屑ノ人ヲアルノデナイ。滿洲ノ開拓ハ日滿兩國協同致シマシテヤツテ行カネバナラヌ大國策デアリマスカラ滿洲ニ行クコトハ名譽デコソアレ何カ誤解ヲ受ケルヤウナ空氣ノアルヤウニ考ヘルノデアリマス。コノ點ニ關シマシテハ尙ホヨク本人達ノ性質ナリ能力ナリ年齡等ヲ考ヘマシテ適スル者ヲ適所ニ置クヤウニ致シタイト思ヒマス。第六點ノ融和事業ニツキマシテハ新體制ニ於キマシテ萬民ソノ所ヲ得ナケレバナラナイ今日、一人デモ不滿ノ者ガアツテハ可ケナイ。特ニ苟シクモ同ジ日本人デアリナガラ差別待遇ヲ付ケルヤウナコトガアツテハ由々シキコトデアリマスカラ絶エズ意ヲ用キテ居ルヤウナコトデアリマス。現ニソレノ學校トカ

或ハ地區ニ參リマシテ私モ自ラ訪問致シ色々話ヲ承ツテ參リマシタガ、ソノ際ニハ本當ニヨク融和ガ出來テ居ルヤウニ私感心シテ歸ツタノデアリマス。尙ホ一層氣ヲ付ケマシテ費用ノ増額ニツキマシテモ一層力ヲ用キタイト思ヒマス。第七點ノ軍人遺家族ノ取扱ニツキマシテ遺憾ノ點ガアルガ、ソレニツイテ何ントカシナケレバナラヌト云フ御意見御質問デアリマス。誠ニソノ通りデアリマシテ苟シクモ國家ノ爲ニ一身ヲ捧ゲマシタ人達ノ家族ニ對シマシテハ私共萬難ヲ排シテ優遇シナケレバナラナイト確信シテ居リマス、ニモ拘ハラズ或ハ多キ中ニハ只今ノヤウナ例外的ノモノ、ナキヲ保シ難キコトデアリマシテ、殊ニ町村ニ於キマシテ左様ナコトガアレバ大イニ一考ヲ煩ハサナケレバナラヌト存ジマス。尤モ町村ニ於キマシテハ最近國家事務ニ於テ限ラレタル人ニ於テ役場ノ方ガ獻身的ニ働イテ居ラレマスカラ多忙ノ際ニ色々ノコトヲ頼ムコトハ誠ニ氣ノ毒デアリマス。事軍人遺家族ノ取扱ニ關シマシテハ一層注意シテ貰フヤウニ何等カノ方法ヲ講ジタイト思ヒマス。

○三十四番(林周一郎君) 色々オ尋ネシタイト思ヒマスガ時間ノ關係上要旨ヲ述ベマシテ二三オ尋ネシタイト。最近大政翼賛トカ臣道實踐トカ一億一心、公益優先トカ新體制ニ即シマシテ新字句ガ出來マシテ是等ノコトヲ強調サレルコトニナリマシタガ勿論結構ト思ヒマス。併シ元來カラ云ヒマスレバ是等ノコトヲ今更事新シク強調シナクトモ我國三千年來ノ國體ノ本義ニ徴シマシテ極メテ當然ナコトデアルノデアリマス。即チ 明治大帝ノ憲法ニ依リマシテモ乃至ハ教育勅語ノ御主旨ニ依リマシテモ既ニ國民全體ガ齊シクコノ心構ヘヲ持チマシテ實行シツ、アルノデアリマシテ又實行シナケレバナラヌコト、思フノデアリマス。然ルニ今日コノヤウニ喧シク強調サレルノハ我國ノ國民思想ナリ言論ノ上

ニナリ多少トモ缺クル所アルニ至ツタ結果デアリマシテ、隨ツテ之ニ對シマシテ已ムヲ得ヌコト、思ヒマス譯デアリマス。已ムヲ得ヌカラ強調サレルヤウニナツタト思ハレルノデアリマス。萬一果シテサウデアルトシタナラバ甚ダ寒心ニ堪ヘナイ所デアリマス。聲ヲ大ニ致シマシテ國民全體ニ呼掛ケマスルト同時ニ之ヲ直チニ以テ學校教育ノ方面ノ實際ニ移サナケレバナラヌト思ヒマス。同時ニ事實既ニ學校ニ於テハ相當教育方面ニ現實ニ行ハレテ居ルコト、思ヒマスガ、事實如何ヤウナ關係ニ於テ行ハレテ居リマスルカソノ點詳細ニ承リタイト思ヒマス。次ニ徹底シタ兒童教育ヲ施シマシテ眞ニ骨髓ニ徹セシメルト云フコトノ效果ノ大ナルコトハ今次ノ支那事變ニ於キマシテ蔣介石ガ過去十數年ニ亘ツテ兒童教育又青少年教育ニ當リマシテ徹底的ニ排日、抗日、毎日ノ教育ヲ施シマシタ結果事變發生四年ニナリマシテモ支那國民ガ今尙ホ屈服セズニ頑トシテ抗戰シテ居ルノヲ見マシテ、如何ニ兒童教育青少年教育ノ徹底化ガ必要デアルカト云フコトガ痛感サレタノデアリマス。當局ハ是等ノ事績ニ鑑ミマシテ從來ノ教育方針ヲ一變スルカ乃至ハ一層強化スルカソノ必要アリト認メラレルノデアリマス。是等ノ事績ニ徴シマシテ當局ハ如何ナル方針ヲ以テ進ム積リデアルカソノ點ヲ承リタイト。昨日マデ勸業費ニ於テ相當論議サレマシタ今日ノ商工業ノ機構ハ自由經濟時代ノ機構トハ全然一大轉換致シマシテ統制經濟下ニ即應シタヤウニソレハ俄ニ改メナケレバナラヌノデアリマス。隨ツテ商業學校ナリ工業學校ノ所謂商業經營、工業經營教育方針ニツイテハ之ニ適應シナケレバナラヌト思ヒマス。隨ツテ工業方面ノ教科書ニシマシテモ商業方面ノ教科書ニシテモ相當更ヘルカ、ソノ教科書ガ無イト致シマスレバソレニ即應スルヤウナ教育ヲシナケレバナラヌト思ヒマス。現在ニ於テ如何ナル教育ヲ

施シテ居ラレルカコノ點モ承ツテ置キタイト思ヒマス。曩ニ青年學校ノ查閱ガ實施サレタノデアリマスガ、何レノ地方ニ於キマシテモ、大體成績ノ良イ所モアツタガ、非常ニ成績ガ悪カツタト云フコトヲ聞イテ居リマス。コレハ何ガ原因ヲ致シマシテ成績ガ悪イノカ、私考ヘマスルト小學校長ガ青年學校長ヲ兼務致シテ居リマスルノデ青年學校ノ教育ニソコマデ力ガ這入ラヌ。斯ウ云フ結果デナイカト思ハレルノデアリマス。隨ツテ將來ニ於テ一日モ早ク青年學校ニ專任ノ校長ヲ置ク必要ヲ痛感スルノデアリマス。縣當局ト致シマシテコノ點ニツイテノオ考ヘヲ伺ヒタイ。次ニ岐阜聯隊ノ出動ノ際金町通ニ於テ一般ノ面會設備ニツイテ從來縣ノ兵事課ト警察且ツ軍隊ト相當協議サレタ上面會所ノ設置ヲ決定サレタト思フノデアリマス。然ルニ實際ノ狀況ヲ見マストアノ本通りノ大廣場ヲ全部開ケテ尙ホ東側ノ人道ヲ開ケマシテ僅カニ西側ノ人道ヲ面會所ニ充テ而カモソノ西側ノ商店ノ軒下モ面會所ニ充テ尙ホソノ上ニ土産品ナリ饒別ノ賣店マデ出サセテ非常ニ混雜雜鬧ヲ來ス譯デアリマス。アノ狹イ所デ出動軍人ニ對シマシテ親族縁者友達ガ座席ヲ構ヘマシテ面會シテ居ル軒下ハ軒下デ面會シテ居ル。殆ンド立錫ノ餘地ナイ狀況デアリマス。片方アノ大廣場ナリ東ノ人道ハ丸開キデアリマシテ殆ンド一人通ラヌ。アノ廣場ヲ今少シ有效ニ使ヒマシテ、面會所ハ面會所、道路ハ道路ト云フ風ニシテモ決シテ差支ヘナイヤウニ思ヒマス。又銃線ヲ除ケマシテ尙ホ集合ノ際ニ所要ノ面積サヘ殘シテ置ケバ差支ヘナイニ拘ハラズ廣イ面積ヲ無意味ニ殘シテ而カモ警察官吏ガ立ツテ居リマシテ一人通サヌト云フ狀況デアリマシテ、田舎カラ出マシタ老人ナリ婦女子ハ自分ノ求メヤウトスル兵隊ニ右往左往致シマシテモ尙且ツ會ヘヌ。殊ニ夜間ナドハ極メテ雜沓致シマス。將來ニ於キマシテハ警察ト軍ト協議願

ヒマシテ今少シ優ニ交通モ出來、今少シ早く求メル兵隊ニモ會ヘルヤウニスルト云フコトガ最も必要ト思ヒマス。是等ノコトハ私カラ今更申上ゲナクテモ既ニ數回ニ亘リマシテ事實アルコトデアリマス。當局トシテモオ氣付キノコト、思ヒマスカラ尙ホ最近ニ於キマシテモ出動軍人ガアル譯デアリマスカラコノ點ニツイテ一段ト御留意願ヒタイト思ヒマス。以上ニツキマシテ御意見ヲ伺ヒタイ。

○參與員(書記官有松昇君) 三十四番議員ニオ答ヘ致シマス、初メノ大政翼賛ニ關シ兒童教育ヲ如何ニ改善シテ行クカト云フオ尋ネデゴザイマシタガ、コノ點ニツキマシテハ今更大政翼賛ノコトヲ喧シク云ハナクトモ自明ノ理デナイカ、而カモ言ハナケレバナラナイ所ニ非常ニ遺憾ノ點ガアルト云フ御論旨ノヤウニ承リマシタ。一面左様ナコトモ領カレルト思ヒマス。又一面ニ於キマシテハ日本ガ國際場裡ニ立チマシテ舞臺ヲ非常ニ廣ク持チマシタ關係上從來ノヤウナ行キ方デ可ケナイ。ソコニ大イニ革新ヲ要セネバナラヌト云フコトヲ考ヘマシテ一層大政翼賛ノ思想ヲ揚ゲナケレバナラヌト云フ事情ニ立到リマシタ關係上カヤウナコトモ強調サレルト思ヒマス。ソレハドチラニ致シマシテモ之ニ關シマスル兒童教育、青少年教育ニツキマシテ將來共時局ヲ認識致シマシテ新體制ニ即應スルヤウニ具體化セシメタイト思ヒマス。次ニ商業學校、工業學校ニ於キマシテモ統制的ニ何等カ更ヘル意思ハナイカト云フオ尋ネデアリマス。コノ點ニ關シマシテモオ説ノ通り御尤モデアリマシテ、幸ニシテ是等ノ學校ニ關シマシテハ實業教育振興會ナドノ會モアルノデヨク夫等ノ會トモ相談致シマシテ遺憾ナキヲ期シダイト思ヒマス。次ニ小學校長ガ青年學校長ヲ兼ネテ居ル爲ニ青年學校ノ查閱ノ成績ガ悪イ所ガアルト云フコトデアリマス。若シアレバソノ校長ニ命ジマシテ青年學校ヲ疎カニシナイヤウニ命ジタイ

ト思ヒマス。尙ホ將來兼務ヲ解イテ成ルベク青年學校長ヲ獨立サセル意思ガアルカト云フコトニツキマシテハ、コレハ如何ニシタナラバ最モヨク能率ガ上ガルカト云フコトヲ考ヘマシテソノ考ヘニ應ジテ實現シテ行キタイト思ヒマス。最後ニ部隊ノ出動ニ際シマシテ交通整理或ハ面會人ノ取締ガ適當ヲ缺イテ居ル爲ニ色々ノ不便ガアルト云フオ話デアリマス。實際斯ノ如クデアレバ急イデ改メナケレバナラナイト思ヒマスカラコノ點ハ警察、軍隊ト相談致シマシテ成ルベク時宜ニ適シタヤウニ致シタイト思ヒマス。

○二十五番(木村公平君) 約四點ニツイテ伺ヒタイ。市民町民ハ滿洲開拓民タリ得ルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバドノ程度ノ成績ヲ從來舉ゲテ居ルカ、今後ノ見通シ如何ト云フコトヲ承リタイ。第二ノ點ハ中等學校就中師範學校ニ於キマシテ精神科ノ教育ハ每週何日グラキ課セラレテ居ルカ。サウシテ精神教育ノ主體ヲ成スモノ、修身科ハ他ニ科目ガアルカ、コノコトヲ伺ヒタイ。第三番目ハ學校ノ移轉改築或ハ起債建築等ノ認可ノ當局ノ方針ヲ伺ヒタイガ、之ニ對シマシテハ萬一部長殿カラオ答ヘ願ヘナケレバ長官ノ御出席ヲ求メタイ。次ニ大垣ニ南小學校ト云フ學校ガアリマス。御承知ノ如クソノ校舍ノ一ツノ棟ハ大正七年、只今ヨリ二十有餘年前ニ古イ建物ヲ移轉セシメタモノデアリマシテ殆ンド使用不能デアリマス。随ツテ私共年々殖エマスル所ノ兒童ヲ收容致シマスルニ極メテ狹隘デアリマスカラ増強工事ヲ施スト同時ニソレヲ大キク致シタイ。二階建ニ致シタイガ建築上到底不可能デアル。更ニ搗テ、加ヘテ講堂ヲ新設セント致シマシタガ校舍狹隘デアリマシテ講堂ヲ新設スルコトガ出來ナイ。已ムヲ得ズ大垣市ニ於テ附近ノ約五千坪ヲ購入致シマシテサウシテコレノ移轉ヲ圖ツ

タノデアリマスガ、ソノ移轉費起債認可、建築認可等ヲ本年五月カラ市ノ者ガ參ツテ當局ヘオ願ヒシテ居ルノデアリマスガ今尙ホ御返事ガ無イ。縣ニオ縦リ致シマシテ學級増加ヲ致シマスルノニ全額負擔デアリマスカラコノ問題ニ關シマシテ大垣市ハ自ラ借財致シマシテ一錢モ縣費ニ頼ルコトナク自ラノ力ニ依ツテ移轉セシメタイト思ヒマシテ既ニ新シイ所ノ土地ヲ購入シテ居リマスガ、昨今尙方針ノ明示ガナイト云フコトハ誠ニ遺憾デアリマス。私共コノ方針ヲ聞イテ二棟ノ内一棟ハ充分使用出來ルカラソノ一棟ニ對シマシテ女學校建築ノ認可ヲ得タイ。今日女學校ノ新シイ建物ヲ建テヨウトスレバ參拾萬金以上要ルノデアリマス。到底縣ハ壹萬圓ノ補助モ肯ジナイノデ、サウ云フヤウナ莫大ナ費用ハ大垣市ノ如キ貧弱市ニ於テ到底負擔ニ堪ヘナイカラ、セメテカウ時局デアルカラ、文部省ノ方針ハ傳フル所ニ依ルト古校舍ヲ利用シテモ宜シイト云フ方針デアルカラ南小學校ノ將ニ移轉セントスル一棟ヲ利用セント致シマシテ當局ヘオ願ヒ致シマシタガ認可ガ無イ。カヤウナコトヲ考ヘマスト先程モ某議員カラオ話ガアリマシタヤウニ何か本縣ノ長官ハ大垣市ニ對シテ惡イ感情ヲ持ツテ居ルノデヤナイカ、左様ナコトヲ疑ハザルヲ得ナイ。私ハコノ點ニ於テ學務部長殿ノ一年間ニ亘ル並々ナラヌ御努力カニ對シマシテ深甚ナル謝意ヲ表シマスガ當局ソレ自身ノ肚ヲ伺ツテ置キタイ。右四點ニツイテ

○參與員(書記官有松昇君) 二十五番議員ニオ答ヘ申上グマス。第一點ノ市民ハ滿洲開拓民ニ這入ルカドウカ、過去ニ如何ナル成績ヲ舉ゲテ居ルカ、將來ノ見通シ如何ト云フオ尋ネデゴザイマス。ソレハソレトノ人ノ體格トカ精神力トカニ依ルコトデゴザイマシテ一概ニ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、概論ト致シマシテ滿洲開拓ハ勿論體力モ必要デアリマスガ更ニ充分ナル精神力ヲ要スルノデアリ

マス。ヨクソノ精神力ヲ鍛へ體力ノ耐へ得ル者ヲ選抜シテヤルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ滿洲開拓民ノ募集送出ニ當リマシテハソノ點ヲ常ニ考へテヤツテ居リマス。隨ヒマシテコノ點ニツキマシテハ耐へ得ルカドウカト云フ問題ヨリモ寧ろ耐エル者ヲ派遣シテ居ルヤウナ状態デアリマス。過去ニ於テ如何ナル成績ヲ擧ゲテ居ルカ、コノ問題ニツキマシテハ日ガマダ餘リ經チマセンノデ過去ニ於ケル実績ヲ今直チニオ答へ申上ゲルダケノ資料ヲ持ツテ居リマセンガ、將來ニ於キマシテ必ズヤ耐へ得ルト御答辯申上ゲ得ルト存ジテ居リマス。ソレカラ第二點ノ修身科ノ教育時間デアリマス。コレハ一週間二時間ニナツテ居リマス。ソレデ學校ノ精神教育ハ修身科ノミニ依ルカ、斯ウ云フオ尋ネデアリマシタガ、勿論精神教育ハ修身科ヲ主ナルモノトシテ居リマスケレドモ精神教育ハ單ニ修身科ノミニ頼リマセンデモ或ハ軍事教練ヲ通ジテヤルトカ、武道教練ヲ通ジテヤルトカ、先程オ話ノ寄宿舎生活ヲ通ジテヤルトカ、色々ナ方法ニ依ツテ彌ガ上ニモ精神教育ヲ向上シテ行キタイト思ツテ居リマス第三點ノ學校認可ノ方針、コレハ既ニコノ問題ニツキマシテハ過般二十五番議員ニ對シマシテ知事ヨリ御答辯申上ゲテ居リマスルノ範圍ニ御承知願ヒタイト存ジマス。

○二十五番(木村公平君) 第一點トシテ市民町民ハ滿洲開拓民タリ得ルカト云フ御質問ヲ致シマシタガ多少御答辯ガ違ツテ居リマス。市民町民ト云フ言葉ガ萬一誤リデアリマスレバ市民即チ中小商業者ト申上ゲテモ宜シイ。是等ノ者ハ果シテ滿洲開拓民トシテ適確カドウカト云フコトヲ參考マデニ伺ツテ置キタイ。師範學校ニ於テ修身科ハ毎週二時間ト云フオ話デアリマス。而カモ部長殿ノ御答辯ニ依レバ精神教育ノ主體トナルモノハ修身科デアアル。ソレガ二時間デ果シテ所期ノ效果ヲ擧ゲ得ルカド

ウカト云フコトヲオ伺ヒシタイ。小學校ノ問題ニツキマシテ私ハ一般質問ニ於テ知事ノ答辯ヲ要求致シマシタ所、答辯ガアツタノデアリマス。知事ノ答辯ハ極メテ不誠意デアリマシテ未ダ釋然タリ得ナイノデアリマス。モウ少シ懇切丁寧ナル御答辯ヲ得タイ。重ネテオ伺ヒ致シマス。

○參與員(書記官有松昇君) 第一點ノ市民町民ハ滿洲開拓民ニナリ得ルカト云フオ尋ネノヤウニ改メテ承リマシタ。先程聞キ違ヒヲ致シマシテ、サウデアレバ訂正致シマス。市民町民ト申シマシテ今御説明ニナリマシタヤウニ商工業者ト理解致シマスガ、從來ハ開拓民ハ農業ノ經驗アル者ト云フコトヲ條件ニシテ居リマシタ。隨ヒマシテ從來ノ行キ方デ參リマスレバ茲ニ所謂市民町民ノ内、如何ニ熱心ノ方ガアリマシテモ開拓民ニナリ得ナカツタノデアリマス。併ナガラ最近轉失業ノ問題ガ段々ト喧シクナリマシテ國ノ方針モ稍々變更ヲ見マシテ市民町民ノ内ノ適當ナル者ハ開拓民ニナリ得ルノデアリマス。左様御承知願ヒマス。ソレカラ第二ニ修身科ノ教育ノ時間ハ一週二時間デ足ラナイデハナイカト云フオ尋ネデアリマス。コレハヤリ方ニ依リマシテハ足ラナイトモ見エ、或ハヤリ方ニ依リマシテハソレデヨイトモ考ヘラレルノデアリマス。コノ點ニツキマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ、アラユル方面ノコトヲ加味致シマシテコレデ充分ダト信ジテ居リマス。最後ニ第三點ノ學校ノ問題ニツキマシテハ只今申上ゲマシタヤウニ去ル十一月二十五日ニ宮野知事カラ御答辯ニナリマシタノデ私共下僚ト致シマシテハソレ以上ニ附加ヘテ附言致シマシテ御説明申上ゲニクイノデアリマス。併ナガラ現在大垣女學校一校デハ満足デナイト云フコトニ關シマシテハ學務當局ト致シマシテ左様ニ考ヘテ居リマス。機會ガアリマシタナラバ是非女學校ヲ増シマシテ土地ノ女子教育ノ向上ニ努メタイト考ヘ

テ居リマス。

○二十五番(木村公平君) 私ハ女學校問題ノ以前ニ小學校ノ移轉方針、移轉改築ノ方針ニツキマシテ建築認可ノ方針ヲオ伺ヒシテ居ルノデアリマス。先程申上ゲマシタ如ク只今兒童ノ這入ツテ居リマスル南小學校ノ如キモノハ腐朽甚ダシク生命ノ危険サヘ感ズルノデアリマス。斯ノ如キ現状デハ大垣市トシテ父兄トシテ斷ジテ放任出來ナイ。斯ノ如キ場合ニ縣ガ危険ヲ感ジニナリ認識サレタ場合移轉ヲ認可ニナル方針カドウカ、或ハ起債認可隨ツテ更ニ建築認可等ヲ御許可ニナリマスル方針カト云フコトヲ伺ツテ置キタイ。

○參與員(書記官有松昇君) 重ネテオ答ヘ申上ゲマス。勿論兒童教育ノ重要性ニ鑑ミマシテ苟シクモ危険ガアレバ危険ノナイヤウニ致シタイト考ヘマス、併ナガラ大垣ノ只今ノ問題ニ關シマシテハ既ニ知事ガ方針ヲ樹テ、居ラレマシテ下僚トシテハソノ方針ニ從フヨリ仕方アリマセン。

○議長(水野後八君) 御質疑アリマセンカ。

○十九番(杉原善司君) 簡單ニ二三質問致シマス。非常時下コノ有爲轉變極マリナイ所ノ世態ニ於テ我々痛切ニ感ズルコトハ一般大衆ニ接スル宗教家ニ對シテ何等カ適當ナル優遇方法ヲ講ジタラドウカト云フコトヲ絶エズ感ジテ居リマス。コノ宗教ノ説明ハ避ケマスルガ、又宗教ノコトハ「簡單々々」ト呼ブ者アリ)申上ゲルマデモナク茲ニ宗教法案モ出來、縣ト致シマシテモ宗務費ヲ新シク上程サレタコトハ誠ニ喜バシイコトデアリマス。過般揖斐郡ニ於キマシテ郡落常會ノ指導者ノ講習會ガアリマシタ際ニ縣カラ指導官ガ出デニナリマシテ夫等ノ人ニ接シタ場合坊サンガ十五六人這入ツテ居ツタ

ノデアリマス。ソノ際「何ンダ坊サンバカリカ」ト云フ言葉ガアツテ僧侶ガ激昂シタ事實ガアリマス。縣ニ於テソナヤウナ見解ヲオ持チデアレバ宗教ヲ明カニ説イテ非常時局下ニ於ケル宗教家ノ活躍ヲ期待シタイノデアリマス。ソノ邊一言御答辯願ツテカラニ致シタイ。次ニ在郷軍人會ノ補助デアリマスガ、先程モ上野議員カラ色々説明アリマシタガ、來年度ニ於テ必ず増額サレルヤ否ヤト云フコトヲオ尋ネシタイ。ソレカラ小學校教員ノ待遇改善ノ問題ガ時々叫バレテ居ルノデアリマス。改善ヲ叫ビナガラ現下ノ減少シテ行ク小學校教員ニ對シテ如何ニシテ補充スル決意アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ。待遇モサルモノナガラ、茲ニ人ノ減少シテ行ク所ノアリトシタソノ缺陷ヲ如何ニシテ補充カト云フ御決心ヲ承リタイ。

○參與員(書記官有松昇君) 十九番議員ノ御質問ニ對シテオ答ヘ申上ゲマス。第一ニ常會ニ僧侶ノ方が多カツタ場合ニ縣ノ役人ガソノコトニツキマシテ何か云ツタト云フヤウナ話ノヤウニ承リマシタ縣當局ト致シマシテ僧侶ニ對シテ敬遠スルヤウナ觀念モゴザイマセンシ、ソレガ多カツタ少ナカツタト云フコトニ關シマシテハドウ斯ウ申ス意思ハアリマセン。第二點ノ在郷軍人會ガ銃後ニ在ツテ御活動ニナツテ居ル狀況ハ感謝ノ念ヲ持ツテ私共尊敬シテ居リマス。軍人會ノ補助ニ關シマシテハ既ニ度々御説明申上ゲマシタ通り、來年度ハドウカト云フオ尋ネデゴザイマスガ、來年ノコトニツキマシテハ今カラ何ントモオ答ヘ申上ゲ兼ネマス。第三點ノ小學校教員ノ缺員補充ノコトデアリマスガ、之ニ關シマシテハ師範學校ノ學級ヲ増加致シマシテ師範學校ノ收容人員ヲ増シ又師範學校ノ生徒ノ待遇ヲ向上致シマシテ益々良質ノ者ヲ入レルト云フヤウナ手段ヲ採ツテ居リマス。尙ホ講習會ソノ他ニ於

テ出來ルダケ小學校教員ノ適當ナル者ニ資格ヲ與ヘテコレガ補充ニ萬遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマス。

○十九番(杉原善司君) 小學校教員ノコトニツイテモウ少シ伺ヒタイ。サウシタ擴充計畫ハ無論オ持チデゴザイマセウガ、茲ニ他ノ産業方面ニ轉職ヲ要望スルヤウナ先生ガ相當出テ來ルト思ヒマス是等ノ者ヲ一時止メ置イテモソノ心ガ絶エズサウシタ方面ニ赴イテ居ツタラドウシテモ替リタイト云フ信念ノ下ニ職務ガ忠實ニ行ヘナイコトガアリマス。サウナツタ場合イツマデモ止メ置クコトハ難儀デアルト思ヒマス。併ナガラ放セバ減ツテ行クト云フ現状デアリマス。何等カノ方法ヲ以テ待遇ヲ改善シ幾多ノ職業ニ比シ遜色ナイ程度マデ増額シ待遇ヲ改善スル意思ハアリマセンカオ尋ネシタイ。

○參與員(書記官有松昇君) 只今ノ如キ教員ニ對シマシテハ假令待遇ヲ少シグラホ上ゲマシテモソノ足ヲ止メルコトハ出來ナイト思ヒマス。眞ニ小學校教員ニ對シマシテ時局ヲ認識シ學校教育ノ重要性ヲ悟ラセテ他ノ職業ニ轉ジナイヤウニシテ居リマス。

○十九番(杉原善司君) 轉業希望者ニ對シテハオ許シニナル御意向デアアルカドウカ。

○參與員(書記官有松昇君) 具體的事情ニ應ジマシテ適當ニ考ヘタイト存ジマス。

○議長(水野後八君) オ諮リ致シマス。本日ノ日程第一ヨリ第二十九マデ全部一括シテ第一讀會ヲ省略シテ第一讀會ヨリ第三讀會マデ通議ニ致シタイト思ヒマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 然ラバ一括シテ通議スルコトニ決定致シマス。オ諮リ致シマス。本日ノ日程全

部ヲ七名ノ特別委員ヲ設ケマシテ精査致シタイ。ソノ委員ハ議長ヨリ指名致シタイト思ヒマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 然ラバ左様決定致シマス。委員ヲ指名致シマス。委員ハ決算審査ヲ囑託致シマシタ委員ト同様、一番(上杉一枝君)、三番(向井平七君)、六番(村澤源市君)、二十一番(堀澤乙彦君)二十五番(木村公平君)、二十七番(清水良治君)、三十三番(鷺見源四郎君)、以上七名ヲ指名致シマス御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 然ラバ左様決定致シマス。本日ノ日程ハ全部議了致シマシタ。明日ノ日程ハ追ツテ報告致シマス。本日ハコレデ散會致シマス。

時ニ午後四時三十八分

昭和十五年十二月七日

昭和十五年通常岐阜縣會速記錄

第拾貳號

昭和十五年通常岐阜縣會速記錄

第拾貳號

昭和十五年十二月七日午前十時三十三分開議

議事日程

- | | | |
|-----|-----------------|------|
| 第一 | 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 | 第一讀會 |
| | 歲出經常部 | |
| 第二 | 同 | 第一讀會 |
| 第六 | 土 木 費 | 第一讀會 |
| 第十三 | 都市計畫事業費 | 第一讀會 |
| 第三 | 同 | |
| | 歲出臨時部 | |
| 第三 | 土 木 費 | 第一讀會 |
| 第四 | 同 | 第一讀會 |
| 第八 | 都市計畫事業費 | 第一讀會 |
| 第五 | 同 | |
| 第十一 | 市町村土木補助費 | 第一讀會 |

第六	同			
第十七款	都市計畫事業補助費			第一讀會
第七	同			
第二十五款	土木費本年度支出額			第一讀會
第八	第二十九號	昭和十六年度岐阜縣時局匡救土木事業貸付資金		第一讀會
第九	第三十一號	昭和十六年度岐阜縣岐垣國道改良事業費歲出歲入豫算		第一讀會
第十	第五十七號	自大正十一年度岐阜縣土木費繼續年期支出方法中更正議案		第一讀會
第十一	第五十八號	自昭和十一年度橋梁架換費繼續年期及支出方法中更正議案		第一讀會
第十二	第五十九號	自昭和十一年度岐阜縣土木費繼續年期及支出方法中更生議案		第一讀會

出席議員 三十四名

一	番	上	杉	一	枝君
二	番	水	口	周	平君
三	番	木	股	重	藏君
四	番	村	澤	源	市君
五	番				
六	番				

八	番	上	野	文	一君
九	番	水	野	後	八君
十	番	竹	村	壽	吉君
十一	番	藤	井	紳	一君
十二	番	遠	藤	英	雄君
十三	番	久	富	應	護君
十四	番	藤	岡	元	二郎君
十五	番	若	山	忠	治郎君
十六	番	片	山	史	郎君
十七	番	間	孔	太	郎君
十八	番	杉	原	善	司君
十九	番	長	谷	川	俊一君
二十	番	堀	澤	乙	彦君
二十一	番	白	野	啓	助君
二十二	番	小	林	藤	介君
二十三	番	駒	月		巖君
二十四	番	木	村	公	平君
二十五	番				

二十六番	石原敏雄君
二十七番	清水良治君
二十八番	間宮成吉君
二十九番	川瀬新一君
三十番	清水康二君
三十一番	鷺見兼五郎君
三十三番	鷺見源四郎君
三十四番	林周一郎君
三十五番	二村一雄君
三十六番	山本清之助君
三十七番	山田喜代太郎君
三十八番	安田桑次君
三十九番	矢崎義一君
欠席議員 五名	
三番	向井平七君
四番	林銀太郎君
七番	淺井三郎君

○議長(水野後八君) 開會致シマス。本日ノ會議錄署名者ノ三十九番(矢崎義一君)、五番(木股重藏君)ノ兩君ニオ願致シマス。本日ノ日程第一ヨリ第十二マデ一括シテ上程致シマス。第一讀會ヲ開キマス。朗讀ヲ省略致シマス。

第一號

昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算

歲出經常部

第六款	土木費	金六拾參萬五千九百參拾八圓
第一項	道路橋梁費	金參拾九萬六千九百九拾七圓
第二項	治水堤防費	金拾貳萬貳千百六拾五圓
第三項	道路河川愛護獎勵費	金千圓
第四項	土木職員費	金拾壹萬八千百五拾四圓
第五項	收用審査會費	金四拾壹圓
第六項	給與金	金參千八百八拾壹圓

十番 横山 弘君
三十二番 鈴木政一君

第十三款

都市計畫事業費

金貳萬八千貳百七拾八圓

第一項

都市計畫地方委員會費

金貳萬貳千五百圓

第二項

都市計畫調查費

金五千七百七拾八圓

歲出臨時部

第三款

土木費

金參拾八萬七千參百拾壹圓

第一項

治水堤防費

金參拾五萬八千壹圓

第二項

河川調查費

金貳千九百七拾六圓

第三項

廢川調查費

金壹萬千百拾八圓

第四項

河水統制調查費

金七千四百九拾八圓

第五項

治水史編纂費

金貳千七百拾八圓

第六項

木曾川河港水運調查費

金五千圓

第八款

都市計畫事業費

金五萬九千五百圓

第一項

都市計畫綜合費

金五萬九千五百圓

第十一款

市町村土木補助費

金拾六萬四千圓

第一項

道路橋梁費補助

金拾萬圓

第二項

治水堤防費補助

金五千圓

第三項

水道費補助

金五萬九千圓

第十七款

都市計畫事業補助費

金參萬貳千圓

第一項

都市計畫事業費補助

金參萬貳千圓

第三五款

土木費本年度支出額

金百四拾萬參千四百七拾九圓

第一項

土木費本年度支出額

金百四拾萬參千四百七拾九圓

第二十九號

昭和十六年度岐阜縣時局匡救土木事業貸付資金歲入歲出豫算

第一款

歲入

金壹萬千七拾圓

第一項

時局匡救土木事業貸付資金收入

金壹萬八百六拾六圓

第二項

雜收

金壹圓

第三項

繰越金

金貳百參圓

第一款

歲出

金壹萬千七拾圓

第一項

時局匡救土木事業貸付資金支出

金壹萬千七拾圓

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事

宮

野

省

三

第三十一號

昭和十六年度岐阜縣岐垣國道改良事業費歲入歲出豫算

歲入

第一款 岐垣國道改良事業費收入

金參拾萬五百六圓

第一項 國庫補助金

金貳萬圓

第二項 補充金

金貳拾八萬五百四圓

第三項 雜收入

金壹圓

第四項 繰越金

金壹圓

歲出

第一款 岐垣國道改良事業費支出

金參拾萬五百六圓

第一項 縣債費

金貳拾九萬參千七百貳拾壹圓

第二項 積債費

金六千七百八拾五圓

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

第五十七號

自大正二十一年度岐阜縣土木費繼續年期及支出方法中更正議案

△印ハ朱書

△一金千參百六拾八萬六千圓

道路改良費

內譯

△金千貳萬貳百八拾圓

自大正十四年度支出額

△金五拾萬圓

昭和十四年度支出額

△金六拾萬圓

昭和十五年度支出額

△金五拾萬九千圓

昭和十六年度支出額

△金五拾萬九千圓

昭和十七年度支出額

△金五拾萬九千圓

昭和十八年度支出額

△金四拾七萬九千七百貳拾圓

昭和十九年度支出額

一金千參百六拾八萬六千圓

昭和二十一年度支出額

內譯

道路改良費

金千貳萬貳百八拾圓

自大正十四年度支出額

金五拾萬圓

昭和十四年度支出額

金五拾萬圓

昭和十五年度支出額

金五拾萬九千圓

昭和十六年度支出額

金五拾萬九千圓

昭和十七年度支出額

金五拾萬九千圓

昭和十八年度支出額

金五拾萬九千圓 昭和二十年度支出額
 金五拾七萬九千七百貳拾圓 昭和二十一年度支出額
 右朱書ヲ墨書ノ通更正スルモノトス
 岐阜縣知事 宮野省三
 昭和十五年十一月十九日提出

第五十八號

自昭和十二年度橋梁架換費繼續年期及支出方法中更正議案 △印朱書
 至昭和十八年度
 △一金百五拾貳萬四千五百拾圓 橋梁架換費

內譯
 △金貳拾五萬五千圓 昭和十二年度支出額
 △金拾九萬六千圓 昭和十三年度支出額
 △金貳拾萬圓 昭和十四年度支出額
 △金貳拾萬圓 昭和十五年度支出額
 △金貳拾六萬千圓 昭和十六年度支出額
 △金貳拾五萬四千七百五拾圓 昭和十七年度支出額
 △金拾五萬七千四百圓 昭和十八年度支出額
 一金百五拾貳萬四千五百拾圓 橋梁架換費

內譯

金貳拾五萬五千圓 昭和十二年度支出額
 金拾九萬六千圓 昭和十三年度支出額
 金貳拾萬圓 昭和十四年度支出額
 金貳拾萬圓 昭和十五年度支出額
 金貳拾五萬四千七百五拾圓 昭和十六年度支出額
 金貳拾壹萬八千四百圓 昭和十七年度支出額
 右朱書ヲ墨書ノ通更正スルモノトス 昭和十八年度支出額
 岐阜縣知事 宮野省三
 昭和十五年十一月十九日提出

(參照)

橋梁架換費財源表

橋梁名	年 度	事業費支出額	財 源				縣 費
			國庫補助金	地元寄附金	會社分擔金	內	
	昭和十二年度	一七五,〇〇〇	四三,〇〇〇	八二,〇〇〇	〇	〇	五〇,〇〇〇
	昭和十三年度	一五〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	九五,〇〇〇

合渡橋	忠節橋			
	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度
計	152,000	110,000	130,000	224,750
昭和十四年度	0	0	0	224,750
昭和十五年度	0	5,000	26,000	0
昭和十六年度	0	0	0	0
昭和十七年度	0	0	0	0
計	150,000	25,000	15,000	110,000
昭和十四年度	110,000	0	0	0
昭和十五年度	0	15,000	5,000	0
昭和十六年度	0	10,000	0	0
昭和十七年度	0	0	0	0
計	1,174,150	1,327,200	822,000	350,000
昭和十二年度	0	1,327,200	15,000	0
昭和十三年度	241,000	1,174,200	0	0
昭和十四年度	28,000	0	0	0
計	150,000	25,000	15,000	110,000
昭和十四年度	110,000	0	0	0
昭和十五年度	0	15,000	5,000	0
昭和十六年度	0	10,000	0	0
昭和十七年度	0	0	0	0

合計	忠節橋			
	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度
計	152,000	110,000	130,000	224,750
昭和十二年度	0	0	0	224,750
昭和十三年度	196,000	117,500	0	0
昭和十四年度	200,000	33,000	5,000	0
昭和十五年度	200,000	20,000	15,000	0
昭和十六年度	200,000	36,000	96,000	0
昭和十七年度	254,750	38,700	0	0
昭和十八年度	228,400	0	0	0
計	1,534,150	1,947,700	117,000	350,000
昭和十二年度	200,000	35,000	20,000	0
昭和十三年度	255,000	56,250	97,000	0
昭和十四年度	196,000	117,500	0	0
昭和十五年度	200,000	33,000	5,000	0
昭和十六年度	200,000	20,000	15,000	0
昭和十七年度	254,750	38,700	0	0
昭和十八年度	228,400	0	0	0
計	1,534,150	1,947,700	117,000	350,000
昭和十二年度	200,000	35,000	20,000	0
昭和十三年度	255,000	56,250	97,000	0
昭和十四年度	196,000	117,500	0	0
昭和十五年度	200,000	33,000	5,000	0
昭和十六年度	200,000	20,000	15,000	0
昭和十七年度	254,750	38,700	0	0
昭和十八年度	228,400	0	0	0
計	1,534,150	1,947,700	117,000	350,000

第五十九號

自昭和十一年度 岐阜縣土木費繼續年期及支出方法中更正議案 △印朱書

至昭和三十一年度 岐阜縣土木費繼續年期及支出方法

自昭和十一年度 岐阜縣土木費繼續年期及支出方法

至昭和三十一年度 岐阜縣土木費繼續年期及支出方法

△一金百九拾五萬參千四百八拾貳圓 河川改良費

內 譯

- △金四拾貳萬八千參百六拾四圓 自昭和十一年度 支出額
- △金拾九萬參千七百貳拾七圓 至昭和十四年度 支出額
- △金拾貳萬八千六百六拾八圓 昭和十五年度 支出額
- △金拾萬八百圓 昭和十六年度 支出額
- △金八萬七千七百貳拾七圓 昭和十七年度 支出額
- △金九萬參千貳拾七圓 昭和十八年度 支出額
- △金八萬七千七百八拾六圓 昭和十九年度 支出額
- △金拾萬四千貳百四拾四圓 昭和二十年度 支出額
- △金六萬九千七百九拾八圓 昭和二十一年度 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十二年度 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十三年度 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十四年度 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十五年度 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十六年 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十七年 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十八年 支出額
- △金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十九年 支出額

內 譯

- △金六萬千八拾八圓 昭和三十年度 支出額
 - △金五萬八千六拾四圓 昭和三十一年度 支出額
- 自昭和十一年度 岐阜縣土木費繼續年期及支出方法
至昭和三十一年度
- 一金百九拾五萬參千四百八拾貳圓 河川改良費
- 金四拾貳萬八千參百六拾四圓 自昭和十一年度 支出額
 - 金拾參萬四千七拾九圓 至昭和十四年度 支出額
 - 金拾四萬七千四拾壹圓 昭和十五年度 支出額
 - 金九萬參千貳拾七圓 昭和十六年度 支出額
 - 金八萬七千七百貳拾七圓 昭和十七年度 支出額
 - 金八萬貳千四百貳拾七圓 昭和十八年度 支出額
 - 金九萬參千貳拾七圓 昭和十九年度 支出額
 - 金八萬七千七百八拾六圓 昭和二十年度 支出額
 - 金拾萬四千貳百四拾四圓 昭和二十一年度 支出額
 - 金拾萬千八百九拾八圓 昭和二十二年 支出額
 - 金拾萬千六百拾參圓 昭和二十三年度 支出額
 - 金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十四年度 支出額
 - 金六萬九千七百七拾七圓 昭和二十五年 支出額

昭和三十一年度	五五、七九	〇	五五、七九	五五、七九	〇	〇	〇
昭和三十一年度	二九、五四七	〇	二九、五四七	二九、五四七	〇	〇	〇
計	一、九五三、四八二	四〇二、八四八	一、三三三、九一〇	一、七六六、七五八	二二二、三三六	一三、三九八	二二六、七二四

參與員

- 地方技師 鈴木健二君
- 同 伊藤千代太郎君
- 同 長島敏君
- 道路主事 岩島利六君
- 道路技師兼 秋葉俊次君
- 土木技師兼 平井寛君
- 道路技師 平井寛君

○參與員(道路主事岩島利六君) 本日上程ニナリマシタ土木關係ノ豫算ノ内、都市計畫課ノ分ヲ除キマシタル即チ監理、道路、河川、砂防ノ各課豫算ノ總括并ニ各課豫算中前年度豫算ニ比シテ増減ノアリマシタモノヲ主ト致シマシテ私ヨリ御説明申上ゲタイト存ジマス。本年度土木ニ關スル豫算ノ總額ハ歲出經常部金六拾參萬六千九百七圓、歲出臨時部貳百貳拾參萬五千貳百九拾四圓、特別會計金參拾萬九千參百九拾七圓、合計參百拾八萬五千五百九拾八圓デアリマシテ、之ヲ前年度ニ比較致シマスレバ經常部ニ於テ參萬四百九拾五圓ノ増額トナリ、又臨時部ニ於キマシテ金拾七萬五千貳百七圓ノ減額トナツテ

居リマス。尙ホ特別會計ニ於キマシテ時局匡救土木事業費貸付資金支出ニツイテハ前年度通りデアリマスガ、岐垣國道改良事業費歲出ニ於テハ金七百九拾圓ノ増額トナツテ居リマス。隨ツテ總額ニ於キマシテ前年度豫算金參百拾貳萬五千五百貳拾圓ニ比較致シマス、金拾四萬參千九百貳拾貳圓ノ減トナルノデアリマス。是等豫算ノ増減理由ニツキマシテ先程申上ゲマシタ主旨ニ依リ以下款項目ヲ逐ヒマシテ逐次概要ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス。歲出經常部第六款土木費ニ於テ參萬四百九拾四圓ノ増額トナツテ居リマスガ、コレハ第一項道路橋梁費第一目道路修繕費ハ參拾貳萬千九百九拾七圓デアリマシテ前年度豫算ニ比シマシテ貳百圓ノ増額トナツテ居リマス。ソレハ渡船場費ニ於キマシテ揖斐郡清水村ヨリ同郡池田村ニ通ズル揖斐川筋府縣道神戶揖斐線ノ白石渡船場ガ現在清水村ニ於テ賃取渡船ヲ經營シテ居リマスガ物價及勞力費ノ騰貴ニ因リ、マシテ經營ガ困難トナリマシタノデ、ソノ經費ノ内ノ一部ヲ補給センガ爲デアリマス。第二目橋梁修繕費ハ七萬五千圓デアリマシテ前年度豫算ニ比シ參萬圓ヲ増額シテ居リマスガ、コレハ最近府縣道ノ橋梁中腐朽致シマシテ交通上危險ノ惧アルモノガ相當多數アリマス。コレガ改築ニツキマシテハ資材及豫算ノ關係上必要ノ全部ヲ充足スルコトガ出來難イノデアリマスカラソノ應急處置トシテ新ニ橋梁指定修繕費參萬圓ヲ計上致シマシテ交通ノ保全ヲ計リ併セテ時局産業ノ發展ニ資セントスルモノデアリマス。第二項治水堤防費第一目堤防修繕費ハ拾壹萬五千六百九拾七圓デアリマシテ前年度豫算ニ比シ百圓ヲ増額致シマシタノハ河川看守費ノ内羽島郡小熊村地内ノ境川筋ノ樋門ノ維持費中、電力料金ノ計算基礎改訂ノ爲メ増加致シタノデアリマス。第四項土木職員費ハ拾壹萬千八百五拾壹圓デアリマシテ前年度豫算ニ比シマシテ百九拾圓ノ増額デアリ

マス。第一目俸給ニ於テ道路土木技師并ニ同主事ノ俸給ヲ現員現給ト致シマシタ結果デアリマス。第六項給與金參千八百八拾壹圓デアリマシテ五圓ノ増額ニナツテ居リマスルノハ曩ニ申上ゲマシタ第四項土木職員費ノ内技師、主事ノ俸給増額ノ結果デアリマシテ隨ツテ、第一目惠與ニ於テ五圓ノ増額トナツタノデアリマス。次ニ歳出臨時部第三款土木費第一項治水堤防費第一目河川改修費デアリマス。コレハ先年内務省ノ獎勵ニ依リマシテ實施致シタノデアリマスガ、更ニ昭和十五年度ニ至リマシテ準用河川ノ局部的改修ニ對シ災害防除施設トシテ國庫補助ノ途ガ開カレマシタノデ、本年モ該補助ガ確定致シマシタナラバ改メテ増額ヲ願ヒ致シタイト存ジテ居リマス。サウシテ年々頻發スル災害ノ防除ニ努メタイ思トツテ居リマスガ取敢ヘズ前年通り壹萬圓ヲ計上致シマシタ。第二目砂防費ニツキマシテハ從來縣下各河川ノ流域ニ於ケル荒廢セル山地及溪流ニ砂防工事ヲ施行致シマシタガ、累年ノ災害ニ鑑ミ一層ソノ必要ヲ認メマシテ政府ノ方針ニ順應致シマシテ本年度ニ於テ前年度通り參拾四萬五千圓ヲ計上シ、ソノ三分ノ二ノ國庫補助ヲ得テ急ヲ要スル箇所ヲ選定シ施行スル考ヘデアリマス。尙ホ國庫補助工事以外ノ縣費單獨施行ノ砂防工事費參千圓モ前年度通り計上致シマシテ急ヲ要スル箇所ヲ選定シ實施スル考ヘデアリマス。第二項河川調査費ニ於テ九拾九圓ノ増額トナツテ居リマスガ、コレハ人夫賃ノ昂騰ニ因リマシテコレガ單價ヲ増シタ結果デアリマス。第三項廢川調査費ニ於テ四百八圓ノ増額ハ又測量ニ使用スル人夫賃及杭木雜品等ノ昂騰ト土木技師ノ定期増俸ヲ見込ミマシタ結果デアリマス。第六項木曾川河港水運調査費五千圓ハ新規事業トシテ計上致シマシタノデアリマスガ、本事業ハ縣會開會ノ劈頭長官ノ豫算説明ニモアリマシタ如ク、三大川下流部ハ古來ノ舟楫ニ依リマシテ

交通運輸ノ用ニ供シテ居リマシタガ、ソノ後河川ノ變遷、道路鐵道等ノ陸上交通機關ノ發達ニ伴ヒマシテ漸減ノ傾向ニアツタノデアリマスガ、近來名古屋、四日市兩港ノ完成ト共ニ舟楫ノ便ニ依ル交通運輸ガ再ビ増加スル景況ニアリマシテ、木曾川ヲ利用シテ十噸内外ノ發動汽船ニ依ツテ湖降シテ居ルモノガ現在相當アルノデアリマス。サウシテ名古屋市水道擴張工事ノ附帶事業トシテ十五年度ヨリ五年、繼續事業トシテ總工費七拾貳萬圓ヲ以テ本會川下流ニ低水工事ニ着手サレマシタト愛岐水力今渡發電所ノ堰堤ノ設置ニ因リ河川流量ノ變更ヲ來サナイヤウニ放流致シマスノト水運ノ陸運ニ比シ低廉ナルト、又近時陸上輸送ノ能力ノ飽和狀態ニ在ル等ノコトヲ考ヘマシテ岐阜市笠松町附近ノ經濟的發展ヲ遂ゲシメルヤウ木曾川水運ノ基礎的調査ヲ行ハンガ爲メ時局下最少限度ノ經費五千圓ヲ計上致シマシタ。次ニ歳出臨時部第十一款市町村土木補助費ハ拾六萬四千圓デアリマシテ前年度豫算ニ比シ參千圓ノ増額トナツテ居リマスガ、コレハ第三項水道費補助第三目岐阜市下水道擴張事業費補助參千圓ヲ新ニ計上致シマシタ結果デアリマシテ、コレハ岐阜市ノ發展ニ依ル郊外土地ノ市街化ニ基キ降雨ノ都度新市街地ニ浸水致シマシテ衛生上捨テ置キ難キ狀態デアリマスノデ、岐阜市ニ於テ昭和十五年度金貳拾八萬五千圓ヲ以テ改修工事ヲ施行中デアリマスガ、右工事費ニ對シ國庫補助豫定額九萬五千圓ヲ差引キマシタル拾九萬圓ニ對シ四萬七千五百圓ノ補助ノ申請ガ參リマシタノデ、市民ノ保健上必要ナルト、市財政上ノ關係ヲ考慮致シマシテ差當リ參千圓ノ補助ヲ計上致シマシタ。次ニ歳出臨時部第二十五款土木費本年度支出額ニ於テ百四拾萬參千四百七拾九圓ヲ計上致シマシタ。前年度豫算ニ比シ拾八萬四千五百四圓ノ減額トナツテ居リマス。第一項土木費本年度支出額第一目道路改良費本年度支

出額ニツキマシテハ鐵材ソノ他ノ資材配給ノ實狀并ニ政府ニ於ケル起債抑制等ノ關係ニ因リマシテ既定計畫ニ依ル年度割通リ施行スルコトガ至難デアリマスカラ前年度通り五拾萬圓ヲ以テ軍事上、生産擴充上、將又交通保全上緊切必要ナル道路及橋梁ノ改良ヲナス考ヘデアリマス。第二目橋梁架換費本年度支出額ハ御承知ノ如ク忠節橋及合渡橋ノ架換費デアリマシテ何レモ目下工事中デアリマスガ、本工事ニ要シマスル鐵材ガ時局ノ影響ヲ受ケ益々入手困難トナツテ參リマシタノデ、豫定通り進行出來ナイノデアリマスカラ實行見込限度トシテ忠節橋拾參萬圓、合渡橋七萬圓、合計貳拾萬圓ヲ計上致シマシタ次第デアリマス。第三目河川改良費本年度支出額ハ後程第五十九號議案ニツイテ御説明申上ゲヤスガ、コレハ時局ノ爲メ國ニ於テ木曾川上流并ニ下流増補工事ノ豫算減額ノ結果、コレガ負擔金ガ變更シテ參リマシテソレガ爲メ更正セントスルモノデアリマシテ、前年度ヨリ四萬六千六百八拾六圓ヲ減額致シタノデアリマス。第四目木曾川支派川改修費本年度支出額貳拾八萬參千圓ハ既定繼續年期ニ依ルモノデ前年度豫算ニ比シ七萬壹千六百六拾八圓ノ減額トナツテ居リマス。第五目宮川災害改修費本年度支出額ハ貳萬貳千圓デアリマシテ昭和十一年度ヨリ總工費參拾四萬九千七百六拾圓、内半額ノ國庫補助ヲ得テ目下工事中ノ既定計畫ニ依ル工事費デアリマス。第六目宮川改修費本年度支出額ハ昭和十二度以來總工費七拾九萬六百六拾圓ヲ以テ前同様ソノ半額ノ國庫補助ヲ仰ギ目下改修中ノ既定計畫ニ依ル施行額デアリマシテ、前年度ニ比シ四千圓ノ減額デアリマス。第七目砂防費國庫納付金本年度支出額四萬貳千四百參拾八圓ハ前年度豫算ニ比シ參千八百貳圓ノ増額トナツテ居リマスガ、コレハ國ニ於テ直接施行シツ、アル土岐川筋及中津川筋、落合川筋ニ施行スル砂防工事ニ對スル國庫納付

金デアリマス。第八目土岐川改良費本年度支出額拾萬貳千圓ハ前年度豫算ニ比シ壹萬八千圓ノ減額トナツテ居リマスルノハ既定計畫ニ依ルモノデアリマシテ、本工事費モ半額ノ國庫補助ヲ得テ居ルノデアリマス。以上御説明申上ゲマシタ土木費支出額ノ増減ヲ通計致シマシテ結局拾八萬四千五百四圓ノ減ト相成ルノデアリマス。歳出臨時部第三十款特別會計補充費第十四項岐垣國道改良事業費補充貳拾八萬五百四圓ハ特別會計岐垣國道改良事業費ニ補充スルモノデアリマシテ、コレハ後程説明致シマスル第三十一號議案ニ關聯ガアリマスノデ私ヨリ附加ヘテ申上ゲテ置キマス。次ハ特別會計議案第二十九號時局匡救土木事業貸付資金デアリマスガ、本豫算ハ監理課、山林課ニ關係スルモノデアリマスガ便宜上私ヨリ御説明致シタイト存ジマス。歳入歳出共壹萬千七拾圓デアリマシテ貳拾參圓ノ減額トナツテ居リマスルノハ償還年次表ニ依ル既定ノ増額トナルノデアリマス。次ハ議案第三十一號岐垣國道改良事業費歳入歳出豫算デアリマスガ、コレ亦前年度ニ比シ七百九拾圓ノ増額トナツテ居リマスノハコレ亦償還年次表ニ依ル償還額ノ既定ノ増額デアリマス。次ニ第五十七號土木費繼續年期及支出方法中更正議案ハ道路改良費ニ對スル年度割デアリマシテ、曩ニ申上ゲマシタ通り道路改良費ハ起債及資材等ノ關係上年度割通り施行スルコトガ困難デアリマスカラ支出額中昭和十六年度六拾萬圓ヲ五拾萬圓ニ減ジ、二十一年度四拾七萬九千七百貳拾圓ヲ五拾七萬九千七百貳拾圓ニ増額施行セントスルモノデアリマス。他ハ從前通りデアリマス。次ニ第五十八號橋梁架換費繼續年期支出方法中更正議案ハ忠節橋、岡島橋、合渡橋ノ架換費ニ對スル年度割デアリマシテ、前ニ申上ゲマシタ通り起債及資材ノ關係上豫定通り工事が進捗致シマセンカラ昭和十六年度貳拾六萬壹千圓ヲ貳拾萬圓ニ減額シ、昭和十八

年度拾五萬七千四百圓ヲ貳拾壹萬八千四百圓ニ増額更正セントスルモノデアリマシテ他ハ從前通りデアリマス。各橋梁ノ内譯ハ橋梁架換費財源表ノ通りデアリマス。次ニ第五十九號土木費繼續年及支出方法中更正議案ハ河川改良費ニ對スル年度割ノ更正デアリマシテ、先程申上ゲマシタ理由ニ依リマシテ支出額中昭和十五年度拾九萬參千七百貳拾七圓ヲ拾參萬四千七百九圓ニ、十七年度拾萬八百圓ヲ九萬參千貳拾七圓ニ、昭和十九年度九萬參千貳拾七圓ヲ八萬貳千四百貳拾七圓ニ、昭和三十一年度五萬八千六拾四圓ヲ五萬五千七百貳拾九圓ニソレト減額致シ、昭和十六年度拾貳萬八千六百六拾八圓ヲ拾四萬七千四拾壹圓ニ、昭和二十四年度六萬九千七百七拾七圓ヲ拾萬千六百拾參圓ニソレト増額シ、更ニ一ヶ年度延長シ他ハ從前通りデアリマス。尙ホ木曾川上流改修及下流増補工事ノ國庫補助金及事業費ノ詳細ハ河川改良費財源表ヲ御覽願ヒマス。以上デ大要ヲ申上ゲマシタ次第デアリマスガ、尙ホ御質問等ガアリマスレバ上席參與員又ハ關係參與員等ヨリソレト御説明申上ゲタイト存ジマス。

○參與員(地方技師長島敏君) 都市計畫課關係ノ豫算ノ増減ニツキマシテ私カラ申上ゲマス。大體昨年度ト同様ナ所ハ餘リ説明ヲ要スル所ガアリマセンカラ説明ヲ省キマス。歳出經常部第十三款都市計畫事業費第一項都市計畫地方委員會費第三目雜給ニ於キマシテ百參拾壹圓ノ減額ヲ見マシタノハ工夫ヲ工手ニ昇格シタ爲ニ從來ノ工夫ヨリモ安イ給料デ平均額程度デ採用ノ見込デアリマスカラ減額致シマシタ。次ニ第二項都市計畫調査費第二目廣川敷調査費ニ於テ參百拾參圓ノ増額ヲ見マシタノハ工手ノ現員現給ニ因ルモノデアリマス。尙ホ綜合運動場調査費六百圓ノ減額ハ調査完了ニ依ツテ廢目

致シマシタ。次ニ歳出臨時部第八款都市計畫事業費ニツキマシテ御説明申上ゲマス。第一項都市計畫綜合運動場建設費第一目都市計畫綜合運動場建設費ニ五萬九千五百圓ヲ計上致シマシタノハ知事カラ御説明ノアリマシタ通り人的資源確保ハ國民體位ノ向上施設ガ先決問題デアルコトニツキマシテハ御承知ノ通りデアリマシテ強健ナル而モ訓練サレタル體力ヲ持つ青少年ヲ得ルコトノ緊要ナルニ鑑ミマシテ是等青少年ノ體力訓練場トシ縣下ニ於ケル優秀ナル選手ヲ中央ニ送ル練習所トシテ綜合運動場ノ設置ヲ圖リ長良川廣川敷ヲ活用シテ本年度ニ於テ練習場、競技場費四萬圓、内譯ハ四百米トラツクハコース、千五百米直走路十コース、投擲場、跳躍場等ソノ面積約六千五百坪、觀覽席收容人員千五百名ト選手控室建築費八千圓(建築面積約三十坪デアリマシテ木造二階建)、更衣室ハ三百名ヲ收容シ浴場、便所、醫務室ソノ他ノ設備ヲ備ヘル積リデアリマス。尙ホ整地費壹萬圓ヲ計上致シマシテ運動場附屬廣場トシテ約一萬坪整地スル考ヘデアリマス。尙ホ事務費トシテ千四百圓ヲ計上致シマシテ國庫補助壹萬五千圓、地元寄附金貳萬五千圓ノ收入ヲ得テ施行セントスルモノデアリマス。次ニ歳出臨時部第十七款都市計畫事業補助費ニツキマシテ御説明申上ゲマス。岐阜都市計畫事業費補助貳萬貳千圓ヲ計上致シマシタノハ、岐阜市ニ於キマシテ昭和十一年度ヨリ十五年度ニ亘ル五ヶ年繼續事業トシテ總工費百九拾壹萬九千五百八拾五圓ヲ以テ事業施行中ノ都市計畫街路徹明長良線、美江寺六條線并ニ徹明佐兵衛新田線ノ三線及岐阜金兩公園ノ擴築事業費ニ對スル補助デアリマシテ、右ノ内徹明左兵衛新田線ヲ除ク他ノ事業ハ本年度ヲ以テマシテ完成スベク目下着々工事施行中デアリマス。又大垣都市計畫事業費補助壹萬圓ヲ計上致シマシタノハ大垣市ニ於キマシテ昭和九年度ヨリ同十七年度ニ至ル

九ヶ年ノ繼續事業トシテ總工費百參拾四萬七千貳百八拾六圓ヲ以テ事業施行中ノ都市計畫街路大垣驛前線、西大垣今宿線、東前久徳線、大垣驛前廣場并ニ運河事業費ニ對スル補助費デアリマシテ、右何レモソノ實現ニ努力シ目下着々事業ノ進展ヲ見ツ、アル狀況デアリマス。故ニ昨年通り補助スルコトニ致シマシタ。以上ヲ以チマシテ都市計畫關係ノ全部ニ亘リマシテノ豫算ノ説明ヲ致シマシタ。御質問等ニ依リマシテ又オ答ヘ致シマス。

○十一番(竹村壽吉君) 私ハ第一番ニ工事ノ進行狀態ニツイテオ伺ヒ致シタイト思ヒマス。時局下ノ生産力擴充ト至大ナ關係ヲ持ツテ居リマスル土木工事ノ進捗如何ト云フコトハ重大ナル縣民利害ニ關係ノアルコトデアルト思フノデアリマス。今日見マスルノニ尙ホ十三年度ノ工事ノ残り或ハ十四年度ノ工事ノ残りト云フモノガ相當ニ澤山アルヤウデアリマス。是等ノモノガ何故ニ今日溢滞シテ居ルカト云フヤウナコトヲ訊イテ見マスト非常ニ當時ノ單價ガ安カツタノデ今日ノ單價デハ到底物資ノ値上リデ應ジラレナイト云フヤウナコトモ一ツノ大キナ原因ニナツテ居ルト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマス。是等ノ爲ニ兎角進捗ヲ阻ンデ居ルヤウナ狀態デアルヤウニ聞イテ居リマス。コレハ先程監理課長カラ御説明モアリマシタガ、本年度支出額土木費五拾萬圓ノ内カラ何ントカ考慮サレテ適當ナ増額ソノ他ニ單價ノ見積リ等ヲ編成替ヲ致シマシテ着々ト工事ノ進捗ヲ見ルヤウニ致スコトガ出來ヌモノカドウカ、コノ點ニツキマシテ部長ノオ考ヘヲ伺ヒ致シタイ。尙ホ私ハ五百圓未滿ノ災害工事ニツイテ申上ゲタイ。本年ノ災害ハ私共東濃地方ニ於キマシテダケデモ百四五拾萬ノ大キナ災害ヲ生ジテ居ルノデアリマス。コレハ何レモ五六百圓以上ノ大キナ國庫補助ノアル部分デアリマスカラコノ點

ニツキマシテハ遺憾ナク事業ガ遂行シテ行カレルモノト思ヒマス。コレ以下ノ例ハ參百圓トカ貳百圓トカ百圓トカ云フヤウナ細カイ工事ハ何程アルトモ判ラナイノデアリマス。大井、多治見兩出張所ノ管内ダケデモ少クトモ數百ヶ所ノ多キニ達シテ居ルト思ヒマス。コノ工事ハ一體トウスルカ、町村ノ負擔トシテハ餘リニモ大キク背負ヒ切レナイ。然ラバ個人デ何ントカスルカ、關係アル地主ハドウカト云フトサウ云フ譯ニモ參リマセン。結局捨テ、置イテ荒廢ニ歸スルト云フ譯デアリマス。全ク食糧ノ増産トカソノ他ノ關係デ農村ノ經濟ノ上カラ見マシテモ重大ナル關係ヲ持ツテ居リマスル所ノ道路ヤ河川ノ崩壞ヲ致シタノソノ儘ニシテ置クト云フコトハドウ云フ結果ガ湧イテ參ルカト云フコトヲ考ヘマスト何ントカ致シテ是等ノ問題ヲ解決スルヤウニ宜シク縣費ヲ支出サレテ應急ノ手當ヲスルト云フオ考ヘハナイモノカ、コノ點ニツイテオ考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス。尙ホ私ハ道路河川ノ愛護會ト云フモノ、經費ヲ見テ居ルノデアリマス。コレハ非常ナ結構ナコトデアリマスガ、之ニツイテモ尙ホ一言オ尋ネ致シタイ。今日ノヤウナ極度ニ勞力ノ欠乏シテ居ルヤウナ時ニ當リマシテハコノ施設ハ極メテ適當ナ良イ施設デアルト思ヒマス。昨年度ノオ話ヲ土木部ノ諸君カラ伺ヒ致シマスルト相當ノ成績ヲ舉ゲテ居ルト云フコトデアリマス。コレハ結構ナ施設デアルト思ヒマスガ、如何ニモ千圓ト云フ豫算ハ少額ニ失スル、斯ウ云フコトヲ昨年モ私申上ゲマシタ。ソレハ精神的ニヤル仕事デアルト云フヤウナオ話デアリマシテ御尤モナコト、思ヒマスケレドモ、如何ニ精神的ト申シマシテモコレダケノ金デハ如何トモスルコトガ出來ヌヂヤナイカ。ソレヨリモ私ハコノ制度ヲ一層擴充強化シテモット積極的ニ縣ガモウ少シ金ヲ出シテ町村ノ道路ダトカ縣道ノ未改修路線ト云フモノヲ全然手ヲ着

ケラレナイノガ澤山アルノデアリマスカラ斯様ナモノニ對シマシテモウ少シ金ヲ出シテ農村ソノ他地方ノ力ヲ藉リマシテコノ際斯ウ云フ未改修道路等ノ改修ヲ施スト云フコトガ出來マスレバコレニ越シタコトハナイト思ヒマス。殊ニ勞力ノ極度ニ不足シテ居ル時デアリマスカラ痛切ニ感ズルノデアリマス。コノ點ニツキマシテモオ考ヘテ伺ヒタイ。尙ホ是等ノ選奨ヲ致シマスル選奨費ニ充テ、アルト云フコトデアリマスガ精神的ト云フコトモ私遺憾ノ點ガアルト思ヒマス。幸ヒコレハ可ナリ眞劍ニ努メテ居リマスル町村ヤ部落ガ相當アルノデアリマス。私共本年中方々歩キマシテ見マシテモ可ナリ骨ヲ折ツテ精神的ニヤツテ居ル所モアルノデアリマス。宜シク當局ニ於キマシテハ是等ノ點ニツキマシテモ選奨ノ方法ヲ誤ラヌヤウニ適當ニ御選奨アランコトヲ願ヒ致シタイ。コレハ希望致ス次第デアリマス。尙ホ私ハ廢川敷ノ處分ニツイテ一寸オ尋ネ致シテ置キタイト思ヒマス。コレモ廢川等ヲ拂下ゲ致シマシテ之ヲ耕地化スルト云フヤウナコトハ今日ノ時局ニモ適合シテ居リマスル非常ニ結構ナ仕事デアルト思ヒマス。修理ノナツタ河川等ニツキマシテコノ方法ニ出タコトハ元ヨリ適當ナ處置デアルト信ズルノデアリマスガ、ソノ拂下ゲヲ一體ドコニスルカト云フト申スマデモアリマセン。町村トカ市町村ソノモノニ直接拂下ゲラスルノデアリマス。地元ノ土地ニ關係ヲ致シテ居ルヤウナ地主トカ小作者ト云フヤウナモノニハ直接拂下ゲシテ居ラナイノデアリマス。コレハ非常ニコノ間ニ弊害ガアリハシナイカト思フノデアリマス。何ントナレバ希望シテ居ル地主ガ土地ノ關係者デアリマシテモ町村ガ之ヲ拂下ゲテ受ケマシテ之ニ依ツテ相當ナ利益ヲ得タイ。斯ウ云フ觀念ハ恐ラクドコノ町村ニモアラウト思ヒマス。町村ニ何等カ不足シテ居ル所ノ財源ニ充テヤウト云フヤウナ考ヘノアルコト、見テ居

ルノデアリマス。斯ウシテ中間利益ヲ町村自治體ガ得ルト云フコトニナリマシタ結果一般ノ縣民ハ一體ドウ之ヲ見テ居リマスカ、コレハ私ハ思想上ニモ大變ナ影響ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス。斯ウ云フヤウナミス、縣當局モ町村ニ於テ自治體ニ於キマシテ特別利益ヲ得ルト云フヤウナコトヲ大體ニ於テ御認識ニナツテ居リナガラ殊更ニ斯ウ云フヤウナ方法ヲオ採リニナルト云フコトハ一番圓滿ナ規則正シイ行キ方デアルト云フコトニナツテ居ルト思ツテ居ラレマセウカ。コノ弊害カラ考ヘマストコノ制度ニツキマシテハ何ントカオ考ヘニナル御意思ハナイカ、コノ點ヲ一ツオ伺ヒ致シタイト思ヒマス。尙ホ最後ニ修路工夫ノ待遇改善ト云フコトニツイテ一言オ尋ネ致シタイト思フノデアリマス。修路工夫ノ給料ハ實ニ安イモノデアリマシテ一ヶ月參拾圓グラキカラ參拾八九圓グラキトナツテ居ルヤウデアリマス。平均凡ソ參拾四五圓デ、夏ノ暑サモ冬ノ寒サモ雨ガ降ツテモ風ガ吹イテモ致々トシテ道路ノ修理ニ専心從事シテ居ルノデアリマス。ソノ姿ハ誠ニ尊イ姿デアルト私共常ニ通ル度ニ思ツテ居ルノデアリマス。コノ人達ニ對スル給與ガ如何ニモ薄過ギハシナイカ、私ノ知ツテ居リマスル或ル工夫ノ述懐ヲ聞キマスト彼ハ月ニ參拾五圓程貰ツテ居リマスガ、私ノ家ニハ子供ガ五人家内ト私トデ七人デアリマス。七人ノ家族ノ所ハ米ガ六斗ナケレバ足ラナイ。五斗五升ト云フコトニスレバ餘程具合ガヨクナツテ參リマスガ、大體六斗買フト貳拾七圓要ル。サウシテ家賃ヲ參圓取ラレ、ソノ他ノ被服ナド、云フモノニハ手が届キマセンガ、電燈料トカソノ他細カイ必要欠クコトノ出來ヌモノデ參拾五六圓ノ金ハ飛ンデ了フ。然ラバ一體ドウシテ暮シテ居ルカト云フト、ソノ他子供ニ小使壹錢モヤレマセンガソレハ已ムヲ得マセンカラ借リテ居ル。或ハ親戚ニ無心ヲ云ツテ居ル。斯ウヤ

ツテヤツテ行ケル内ハ宜シイガ、若シヤツテ行ケヌヤウニナツタラドウナルカト云フコトモ考ヘマス
ト斯様ニ申シテ居ルノデアリマス。尙ホ是等ノ人ノ憐レナ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、子供ガ澤
山アリマス。サウシテ食ヒ盛リノ子供ヲ抱ヘテ居ルノハ可ナリ困難ナヤウデアリマス。併シナガラ同
ジ御飯ヲ食ベテ參リマスル上ニ於キマシテモ朝晝ダケハ仕事ヲシナケレバナラヌカラ充分食ベナケレ
バナラヌガ、夜食ハ大抵事ニヨルト食ベヌ場合ガ往々ニアル。ソレハドウ云フ譯カト云フト子供ガ先
ヅ食ベテ了フノヲ見テ子供ガ食ベテ了ツテ無シニナレバソノ晩ハ食ベルコトガ出來ヌカラ已ムヲ得ズ
菜ツ葉デモ食ベテオ茶デモ飲ンデ寢ルト云フヤウナコトガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス。コレト
關聯シタ譯デモアリマセンガ、私三四日前ニ惠那郡ノ苗木町ニ四十三歳ノ男ガアル。コノ男ハ修路工夫
デアリマシテ本年ノ春選奨ヲ受ケタ模範工夫デアリマス。コノ模範工夫ガ三四日前ニ首ヲ吊ツテ死
ダノデアリマス。ソノ原因ハ何ンデアルカハツキリ知リマセンガ、兎ニ角生活ノ爲ニ責メラレテ死ンダ
ノヂヤナイカト云フコトヲ一般ニ云ツテ居ルノデアリマス。斯ノ如キ状態カラ考ヘマテ見マシモ是等
ノ連中ニ今少シ給與ヲ厚クスル、待遇ヲ改善シテヤリマシテモ全縣下ヲ通ジテ百四五十人デアリマス
カラ大シタコトデナイヤウデアリマスカラ何ントカ今少シ工夫シテヤツテ頂ク方法ハナイモノカ、只
今モ御説明アリマシタ都市計畫事業費ノ内ニ於テ綜合運動場設置ニ五萬九千五百圓ト云フ金ガ計上サ
レテ居リマス。成程コレハ結構デアリマス。時局ニ相應ハシイ試ミトシテ反對致シマセンガ、國民厚生
運動ガ盛ンニ行ハレントスル今日、殊ニ縣下ノ青少年ノ運動場ガ必要デアルト云フコトヲ考ヘマシテ
コノ費目ニハ反對スルモノデナイ。併シナガラ今申上ゲタヤウナ食フカ食ハヌカノ生活ヲシテ居ル者

ガアル。時局下國民舉ゲテ聖戰目的ヲ達成シナケレバナラヌ時ニ當リマシテ近衛サンモ云ハレマシタ
如ク暖衣飽食ハ許サレヌガ一人ト雖モ餓死セシメナイト云ハレタ時ニ生活苦ノ爲ニ死ナケレバナラ
ヌヤウナ者ガアルノニ鑑ミマシテ、コノ計畫全部ヲ削除シテ了ツテ斯ウ云フ方面ニ充テヨト云フコト
ヲ申スノデアリマセンガ、少クトモ之ヲ半額グラキニ削ツテモ尙ホ貳參萬圓ノ金ガアルノデアリマス
カラ斯ウ云フ方面ノ最モ急ヲ要スル所ノ國民ノ憐レナ同胞ノ方面ニ振當テルト云フヤウナ社會政策的
ノ考ヘハオ持チニナツテ居ラヌカ、斯ウ云フ點ニツイテオ尋ネ致シタイ。

○參與員(地方技師鈴木健一君)

十一番議員ニオ答ヘ致シマスル前ニ各位ニ對スル一般ノ御答辯ニ對
シマシテオ許シテ頂キタイコトガアルノデアリマス。私御承知ノ通り今年九月初旬ニ本縣ニ着任致シ
マシテ全國的ニモ有名ナ土木的ニ有名ナ岐阜縣ニ參リマシタコトハ非常ニ我々土木ニ携ツテ居ル者ト
致シマシテ光榮ニ存ジテ居ル次第デアリマス。隨ヒマシテ着任以來魯鈍ニ鞭チマシテ勉強致シテ參リ
マシタガ不敏ノ致ス所未ダソノ意ヲ盡サズ、殊ニ現地視察等ニ於キマシテハ常々心懸ケテ居ツタコト
デアリマスケレドモ諸種ノ事情ニ依リマシテ特殊ノ場合ヲ除キマスル外、只ダ各出張所所在地ヲ一巡
シタト云フ程度ニ止マツテ居ルノデアリマシテ、コノ點モ誠ニ申譯ナイト考ヘテ居ルノデアリマス。
隨ヒマシテ各論的ノコトニナリマスト私ヨリ眞實ヲ申上ゲテ御満足ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ致シ兼ネ
ルカト思フノデアリマス。勿論總論的ノコトデモ御満足ヲ頂ケルヤウナ思上ツタ考ヘハ毛頭持ツテ居
リマセン。殊ニ各論的ノコトハ左様デアリマスカラコレハ他ノ參與員ニオ譲リ致シタイト思ヒマス。
コレハ豫メ御諒承願ツテ置キマス。サテ十一番議員ニオ答ヘスル第一點デアリマスガ、ソレハ工事ノ

進捗状態ニツイテノオ尋ネト拜聴致シマシタ。仰セノ如ク本縣ノ土木工事ト致シマシテ大分遅レテ居ルノデアリマス。ソノ原因モ只今オ話ガアツタヤウデアリマスガ、私考ヘテ見マスルニ第一ハ材料ノ昂騰、材料ノ入手難、勞力費ノ値上リ等ニ基因シテ居ルト思ヒマス。是等ノコトニツキマシテ材料ノ入手難ノ如キハ私共當局トシテ精々努力致シマシテ近キ將來ニ夫等ノ材料ヲ早ク入手スルヤウ各般ニ涉ツテ努力シテ見タイト思フノデアリマス。ソレカラ單價ノ方面デアリマス。コレハコノ縣モ左様ニ存ジテ居リマスガ、大體災害ノ復舊土木事業ニ對シマシテ國庫ヨリ參リマシテ單價ヲ査定シテ居ルノガ從來共ニ基準ニナツテ居ルト思ヒマス。御承知ノ通り今年モ災害ガアリマシテ先般検査員モ參リマシテソノ結果人夫賃等ニ於キマシテモ相當値上リヲ認メテ居リマシテ、最高ガ確カ貳圓參拾錢、最低壹圓九拾錢カト存ジテ居リマス。從來ハ壹圓六拾錢カソノ程度ダト思ツテ居リマス。コレガ基準ニナツテ行クノデアリマスカラ追々ト縣一般ノ設計標準モ良クナツテ行クノデナイカト思ヒマス。尙ホ申シ落シマシタガ、工事中災害關係ノモノ或ハ十三年度十四年度ノモノガ相當殘ツテ居ルト思ヒマスガ、コレハ私共努力シテ居ルノデアリマス。國モ經費多端ノ關係デ御承知ノ如ク年度ニ區切ツテヤルノデアリマシテソノ當該年度ノコトヲ私共全力ヲ擧ゲテヤツテ居ルノデアリマス。コノ關係デ遅レテ居ルモノモアルト思ヒマスカラ左様ニ御諒承願ヒマス。次ニ災害復舊工事中五百圓未滿ノ工事ト云フコトデアリマスガ、コレハ御案内ノ通り國ノ災害土木ノ補助基準ニ依リマシテ五百圓以下ハ認メナイノデアリマス。ソレハ私考ヘマスルニ詰リ國庫——國ト致シマシテ例ヘバ青森縣デ差押ヘノ金ヲ本縣ヘ廻シテヨイカト云フ問題デ、必ズシモ工事ソノモノヲ否定スルノデナイト思ヒマス。五百圓未滿ノモノ

トシテモ國カラ補助ガ得ラレナイト致シマシテモ縣ト致シマシテハ考ヘルベキモノト存ジマス。隨ツテ縣ノ單獨ノ費用ヲ以テマシテ縣自體ガヤルナリ、市町村ノ方ニ補助ヲシテ實行シテ行ク考ヘデアリマス。何分ニモ只今仰セラレマシタヤウニ非常ニ數ノ多イコトデアリマスカラ縣財政ノ建前カラ致シマシテモ之ヲ悉ク工事ヲ施行シテ行クト云フコトハナカ〜困難ダト思ヒマス。ソノ内デモ比較的重要ノモノヲ選ンデ行クコトニナツテ居リマス。ソノ他ノ落チ零レノモノハ平常ノ方デモヤツテ行ク、コレクラキデ御諒承願ヒタイト思ヒマス。次ニ第三點ノ道路河川愛護ノコトデアリマス。コレハ承リマスルニ一昨年カラ創設サレタト承ツテ居リマス。各縣トモ隨分前カラヤツテ居リマシテ本縣ト致シマシテモコレガ設ケラレマシタノハ結構ダト思ヒマス。而カモ今承リマスソノ實績ガ相當學ツテ居ル。何ンデモ團體ハ河川道路ヲ合セテ四百團體近クニ垂々トシテソノ人員モ十二萬ニ近イト云フコトニ承知シテ居ルノデアリマス。コレハ勿論金壹千圓ト云フヤウナ獎勵費トシテ甚ダ少イノデアリマスガ、オ説ニモアリマシタヤウニ只ダソノ現實ノ勞力ニ對シテ報イルト云フコトヨリ寧ロ集團的勤勞ノ精神ト云フコトヲ養フト云フノモ一ツノ目的デゴザイマス。勿論コノ壹千圓ト云フ金デ私モ満足シテ居ルノデアリマセンガ如何セン財政上本年ハ矢張りコノ程度ニ止ムルノ已ムヲ得ナカツタノデアリマス。折ヲ見テ増額ノコトモアルヤウ努力致シタイト思ツテ居リマス。第四ハ廢川敷ノ處分ノ問題デアリマス。私コノ縣ノ從來ノ慣行ハ熟知シテ居ラナイノデアリマスガ、概論的ニ申シマスレバコノ廢川敷ノ處分ハ縣ノ收入ト致シマシテモ相當重要ノモノデアルト思ヒマス。ソレデアリマスカラ特ニ廢川敷ノ調査費ト云フモノヲ設ケテ調査致シテ居ル次第デアリマス。何分各所ニ散在シ又廣汎ニ亘ツテ居

ルコトデアリマス。且ツソノ手續キ等モナカノ、面倒ノモノデアリマスガ、結論ト致シマシテ御高見ノコトモヨク斟酌致シマシテ拂下ゲニモ單ニ拂下ゲルカ或ハ又都市計畫的ソノ他ノ見地ヨリヤツタ方ガ縣ノ收入上利益ヂヤナイカト云フヤウナコトモ考ヘマシテ今後適當ニ善處致シタイト思ヒマス。第五番目ハ修路工夫ノ待遇問題デアリマス。コレハ誠ニ只今涙ノ出ルヤウナオ話ヲ聞キマシテ私モ非常ニ感ニ打タレタノデアリマス。私共全クコノ程度デハ満足ト申ス譯ニ行カヌノデアリマス。コノ機會ヲ拜借致シマシテ私本縣ノ道路ニ對スル感想ヲ一寸申上ゲテ見タイト思フノデアリマス。先程モ申上ゲマシタ通り着任以來早々四日間ニ亘リマシテ一應視察ヲ遂ゲタノデアリマス。コノ道路ノ狀態ニツキマシテハ私實ハ期待ニ反シタノデアリマス。ソノ譯ハ本縣ハ全國的ニモ道路殊ニ路面ト云フモノニツイテハ非常ニ良イ縣ダト云フコトヲ聞イテ居リマシテ、私某縣ニ在職シテ居リマシタ當時出張所長ナンカヲコノ縣ニ派遣致シマシテ、サウシテ見學サセマシテソノ結果ガ非常ニ良カツタト云フコトヲ記憶シテ居ルノデアリマス。然ルニ此處ニ來テ見マスト道路ハ幅員モ狭ク、屈曲モ相當アリ勾配モ強ク近代の道路ト云ヘバ岐垣國道グラキヂヤナイカト思ヒマス。殊ニ路面ノ方ハ成程路面ガ非常ニ良カツタヤウナ痕跡モ認メラレテ居ルノデアリマスガ、非常ニソレガ衰ヘテ來テ例ヘテ見マスレバ何か名家ノ零落シタヤウナ觀ガアルノデアリマス(「ヒヤノ」)月給ガ安イカラ德斯」ト呼ブ者アリ)ソレデ私ソノ原因ヲ考ヘテ見マスルニ、コレハ色々ノコトモアリマセウガ維持修繕費ガ思フヤウニ行カナカツタノヂヤナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス。併ナガラマダコノ程度ニ保タレルト云フノハ私ハ本縣ノ修路工夫ガ非常ニ(「名答」ト呼ブ者アリ)何ント申シマスルカ眞面目デヨクヤツテ呉レル、昔ハ修路

工夫ハ或ル縣ニ於テ怠ケ者ノ代名詞ノヤウニ使ハレタ次第デアリマス。本縣ノ修路工夫ハ實ニヨク働イテ呉レル。而カモソノ賃金ト申シマスルト他府縣ニ比較致シマシテ隨分良クナイノデアリマス。一人當リノ受持ノ數モ隨分多イノデアリマス。恐ラク相當ノ縣ノ平均ヨリ落チテ居ルト思フノデアリマス。サウ云フヤウナ狀態デアリマシテ修路工夫ノ賃金ノ安イト云フコトハ私共充分認メマシテ何ントカシテコレガ待遇改善ニ當リタイト着任早々考ヘマシテ又前任地ヲ去ル時ニモ甚ダ恐縮デアリマスガ相當程度ノ増額ヲヤツテ來タノデアリマス。コノ縣ニ參リマシテ直チニソノコトヲ感ジマシテ銳意努力致シマシタガ微力ノ致ス所本年ハコノ程度ノ已ムナキニ至ツタノデアリマス。併ナガラ只今ハ皆私ノ責任ト感ジテ居ルノデアリマスカラ私共勿論努力致シマス。又私印象ガ新シクテ感激ノ強イ今ノ私ヲ御鞭撻下サイマシテ又各位モ今申述べラレマシタ道路愛護ト云フモノモアリマスカラコノ方面ヨリシテモ一段ト御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○二十四番(駒月巖君) 第一ニ本縣ノ道路橋梁ニ對スル繼續改修費ノ計畫ニツイテノオ尋ネヲ致シタインデアリマス。私共本年一ケ年ノ間土木委員ト致シマシテ全縣下ノ道路、橋梁、砂防、河川等ヲ視察致シ又十數回會合致シマシテ相當研究ヲ重ネタノデアリマス。ソノ結果全縣下ニ於ケル道路并ニ橋梁ハ只今新土木部長ノ云ハレタ如ク極メテ不完全ナモノガ多イノデアリマス。往時政黨華ヤカナリシ時代ニ各派各黨ニ依リマシテ縣道編入ガ相當ニ行ハレタノデアリマス。續イテ山嶽水場ノ均衡ヲ保ツ爲ニコレ又縣道編入ガ相當數行ハレテ居ルノデアリマス。而カモ縣道編入ヲスルダケデアリマシテソノ以後ノ改修ニツキマシテハ一向ニ進捗ヲ見テ居ラナイノデアリマス。縣道ノ中ニハ只今竹村議員ノ

云ハレタ如ク自轉車モ通ジナイヤウナ未改修縣道ガ相當アルノデアリマス。本縣ノ縣道ハ四五年前デモ九百里以上ニ達スルト聞イテ居リマス。今日ニ於テハ千里以上ニ達スルト思ヒマス。橋梁ノ村道或ハ郡道時代ニ架ケタボロムノ古橋ガ縣下通ジテ八九百或ハ千以上ニ達シテ居ルコト、思ヒマス。是等ノ古イ橋、是等ノ未改修縣道ニ對シマシテコレガ改修ヲ行ヒマスルコトハ非常ナ大事業デアルコトハ勿論デアリマスガ、苟シクモ一旦縣道ニ編入サレマシタ以上ハコレガ改修ニツキマシテハ確乎タル計畫ヲ樹テナケレバナラヌト信ズルモノデアリマス。デ私共ハ私共土木委員ノ意見、之ヲ延長致シマシテ縣政調査會ノ意見ト致シマシテ縣當局ノ方ヘ相當大計畫ヲ樹テ、改修ヲ行ツテ貫ヒタイト云フ意見ヲ出シテ置イタノデアリマス。肚ヲ打割ツテ申シマス少クトモコノ道路橋梁ノ改修ニ對シマシテハ五千萬圓程度ノ二十ヶ年繼續事業トシテコレクラキノ大キナ計畫ヲ樹テ、貫ハナケレバ本縣ノ産業ノ發達、交通ノ發達ヲ計ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス。先日カラ各議員ガ知事ノ出席ヲ求メテ居ラレマスルガ一向ニ姿ヲ現ハサレヌノデアリマス。斯ウ云フ將來ノ計畫ニツキマシテソノ意見ヲ承リタイト思ヒマスノデドウシテモ知事ノ御出席ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。知事ハ君子危キニ近ヨラズト申シマスカ一向ニ御出席ガナイノミナラズ殊ニ宮野知事ハ在任四ヶ年ニナラレマシテ明日ニモ辭令ガ來レバ御榮轉遊バサレルノデアリマスカラスウ云フ人ノ意見ヲ承ツテモ一向ニ何ソノ效果モアリマセンカラ新シクオ出デニナツテコレカラ岐阜縣ノ爲ニ働イテ頂クト云フ新土木部長殿ノ本縣ノ全部ノ道路、全部ノ橋梁ニ對スル將來ノ改修計畫ノ御高見ヲ承リタイト思フノデアリマス。第二番目ト致シマシテ矢張り修路工夫ノ優遇ト云フコトヲ申上ゲタカツタノデアリマスガ、只今竹村議員カ

ラ涙グマシイオ話ヲ承リマシタノデ私ハ質問ヲ省略致シマス。但シ意見ハ申述ベサセテ頂キタイノデアリマス。コレハ形式的ニ私共ハ土木部長、道路課長ニ質問スルノデアリマスガ、實質的ニハ總務部長、庶務課長ニ對シテ質問シナケレバナラヌノデアリマス。毎年恐ラク修路工夫ノ優遇ニツキマシテ土木部ノ方カラ相當豫算ヲ出サレルコト、私共想像サレルノデアリマス。然ルニ庶務課并ニ總務部長ノ方ニ行ツテ削減サレマシテ毎年々々前年同様々々々々一向ニ優遇ノ途ガ開カレヌノデアリマス。モウ一ツ深く抉ツテ想像致シマスルト修路工夫ヲ役人ト間違ヘテオ在デニナルノデナイカト想像致シマス。修路工夫ノ優遇案ヲ出シマス、コレハ巡査ト比較シテ或ハ木炭検査員ト比較シテコノクラキデヨイト云フ風ニ比較ナサツテ、修路工夫ハ參拾壹圓平均デ充分ヂヤト云フ風ニオ考ヘニナルノデナイカト想像スルノデアリマス。巡査ハ何ント申シマシテモ判任ヲ以テ待遇サレル官吏デアリマス。木炭検査員ハ囑託ガナクナツタ今日立派ナ縣吏員デアル。斯ウ云フ役人ト比ベテ修路工夫ハ高過ギル安過ギルト云フヤウナコトヲオ考ヘニナルコトハ根本的ノ誤リデアリマス。修路工夫ハ云フマデモナク勞働者デアリマス。重勞働者デアリマス。コノ重勞働者ノ一日ノ日當ガ僅カ壹圓拾錢ニモ足りナイヤウナコトハ岐阜縣ダケデアリマス。川崎工場ニ行キマス知事サンヨリ餘計月給ヲ取ツテ居ル職工ガザラニアルヤウデアリマス。サウ考ヘマスト勞働ニ従事スル者ニ對シマシテハソノ勞働ノ輕重ニ應ジテ勞銀ヲ出サナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモアリマセン。豫算面ヲ見マシテモ警察部ノ電話工夫ニ對シマシテ四拾四圓平均、然ルニ同ジ工夫デアリナガラ修路工夫ニ對シマシテ僅カニ參拾壹圓平均、而カモ只今土木部長ハ本縣ノ路面ガ名家ノ落ブレタヤウナ恰好ニナツテ居ルト云フオ説デアツ

タノデアリマスガ、コレハ或ハサウカモ知レマセンガ、本縣ノ道路ノ路面ノ良イト云フコトハ日本國中ニ響イテ居ル名高イ事柄デアルノデアリマス。コノ路面ノ良イト云フコトハ修路工夫ガ雨ノ日モ風ノ日モ一懸命忠實ニ働イテ居ル證據デアルノデアリマス。而カモ修路工夫ト同ジ常備夫ト云フノガアルノデアリマス。常備夫ト云フノハ豫算面ニハ道路修繕費ノ中ニ這入ツテ居リマスカラ御承知ナイカモ知レマセンガ常備夫デアリマス。而カモソノ數ハ修路工夫ノ二倍モアリマス。コレガ平均一日壹圓貳拾錢、今ドコヘ頼ミニ行キマシテモ人夫ヲ頼ムニハ貳圓五拾錢出サナケレバ人夫ヲ頼ムコトガ出來ナイ。ソコヘ毎日一所懸命働イテ呉レル修路工夫ノ常備夫ニ壹圓貳拾錢デ而カモ法被一枚ヤラヌ。私共ノ家デハ一寸シタ建築ヲシマシテモ大工、左官ニ法被グラキ出シテ居リマス。一年コキ使ツテ岐阜縣ト書イタ法被一枚ヤツテ居ラヌノデアリマス。況ンヤ年末賞與ソノ他ノ手當ニ於テヲヤデアリマス。本年ハ豫算ハコノ程度デ仕方ナイト云フオ答ヘデアリマシタガ、豫算ハソレデ宜シイガ之ニ對スル他ノ手當、家族手當モアリ色々ノ手當ガアリマスカラソノ手當ヲ出シテヤツテ頂キタイ。追加豫算ヲ認メテモ宜シイカラ工夫ニ出シテヤツテ頂キタイ。又誇大妄想ト云ハレルカ知レマセンガ、厚生省ニ於キマシテハ日本ノ労働者百五拾圓以下——桁ガ違ヒマス——百五拾圓以下ノ労働者ニ對シテハ毎月拾圓ノ家族手當ヲ出スト云フコトガ新聞ニ出テ居ツタノデアリマス。東京邊ハ話ガ大キイ。本縣ニ於キマシテハ參拾壹圓ノ修路工夫ニ對シテモ家族手當モ何ンニモ出シテ居ラヌ。百五拾圓ト參拾壹圓モウ申シマセン。後ハ御推量ニ委セマス。次ニ第三番目、土木出張所長ノ權限ヲ擴張シテ頂キタイ。土木出張所長ハ百圓以下ノ工事ニ對シテ自分ノ權限ガアルノデアリマス。百圓以上ニツキマシテハ

一々縣廳ノオ指圖ニ依ツテ仕事ヲシテ居ルノデアリマス。今日ノ金デ——私ハ持ツテ居ラヌケレドモ——百圓グラキノ金デ何ガ出來ル。コノ間モ橋一本落チマシタノデソレヲ架換ヘテ下サイト云フコトヲ出張所ニ申シテ行キマシタ所、土橋全體架ケルト百圓以上ニナルカラト云フノデ半分土橋ヲ新シクシタ。コレハ百圓以内デ出來ルカラデアリマス。サウシタラ明ル日皮肉ニモ大キナトラツクガ通りマシテ古イ方ノ半分ヲ落シテ行ツタト云フヤウナ事實ガアル。百圓グラキデハ何ンニモ出來ヌノデアリマス。クドイコトハ申シマセン。土木出張所長ノ權限ヲ五百圓マデ擴張シテ頂キタイ。今日カラデモ出來ル事柄デアリマスカラオ願ヒヲシ之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ。次ニモウ一ツ指定府縣道ニツキマシテ質問致シタイ。恰度コレハ地域的ニ東濃ニ關係ノナイ話デ甚ダ申上ゲニクイノデアリマスガ、岐阜カラ本巢郡ヲ通り揖斐郡ヲ通りマシテ滋賀縣ノ木ノ本ト云フ驛ニ行ク、何ント申シマスルカ岐阜木ノ本線、コノ縣道ヲ軍事上、産業上必要ナリト認メマシテ縣ヲ通ジテ指定府縣道ニ編入方ヲオ願ヒシタノデアリマス。内務省ニ於テハ非常ニ賛意ヲ表サレマシテ相當ノ調査ヲシテモヨイト云フ風ノ話ガアツタノデアリマス。ドウカ本縣ニ於キマシテハモウ少シ力ヲ入レテコノ指定府縣道ノ通りマスルヤウニオ力添ヘガ願ヒタイ。コレハ陳情デアリマス。併シ指定府縣道ト云フ名ニ拘泥スル必要ハナイ若シ指定府縣道ニ編入スルコトガ出來ナカツタナラバ産業道路、或ハ軍用道路、軍用道路ハ穩カデナイカラ産業道路トシテ他ノ府縣道ニ優先シテ改修貫通ヲ圖ツテ頂クト云フコトガ必要デアリマス。詰リ名ヲ取ラズ實ヲ取ツテ岐阜縣ノ縣道ノ内ニ産業道路ト云フヤウナ優先的ノ縣道ヲ設ケラレマシテ之ニ對スル優先的改修ヲ行ツテ頂キタイ。既ニ長野縣ニ對シマシテハヒキイ峠ヲ通ジテ貫通シテ居リマ

ス。郡上郡ニ於テ福井縣ニ向ツテ貫通シテ居リマス。百萬圓道路ニ於テ庄白川ニ於テ富山縣ニ向ツテ貫通シテ居リマス。併ナガラ一市五郡ニ於テ仲仙道ハ別ト致シマシテ他府縣ニ貫通シテ居ル線ハ一本モナイノデアリマス。コノ點御考究ニナリマシテ指定府縣道トシテ編入スル若シクハ産業道路トカ何ントカ云フ優先的ノ方法ヲ決メテ研究シヨウト云フヤウナ御意見ヲ承リタイノデアリマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 二十四番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。第一點ノ道路改修ノ繼續費ノ計畫ヲ改訂スル意思アリヤナシヤト云フ御質問ノヤウニ拜聽致シマシタ。御承知ノ如ク本縣ノ道路改修計畫ハ大正十年ヨリ十五ヶ年繼續ヲ以テマシテ壹千萬圓カト承知シテ居リマス。ソノ計畫デアツタノデアリマスガ、ソノ後變遷ヲ見マシテ金額ガ千參百六拾餘萬圓、年度ガ二十六ヶ年繼續ニナツタヤウニ承知シテ居ルノデアリマス。私自分ノ考ヘト致シマシテハコノ道路ノ重要ノ叫バレル時ニコレダケノ金額ニコレダケノ長イ年限ト云フノハ私實ハ感心シナイノデアリマス。ソレデ只今オ述ベニナリマシタ如キ金額ニ致シマスルカドウカ判リマセンガ、實ハ私ノ方デ年限ヲ短クシテ金額ヲ殖ヤスト云フ案ヲ土木部デ持ツテ居ツタノデアリマス。併ナガラ毎度申上ゲマスガ財政ノ關係上今ハソノ時期デナイノデアリマス。一應コノ程度ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ何レ財政ノ好轉ソノ他ニ伴レマシテ私共ノ計畫發表ノ時期ガ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス。次ハ修路工夫ノ待遇ニツイテ重ネテノ御意見誠ニ御同情ノアルオ言葉デ私共有難ク拜聽致シマシタ。前ニ申述ベマシタ如ク出來ルダケノ優遇方法ヲ講ジタイトス様ニオ答ヘシテ置キマス。ソノ次ニ土木出張所長ノ權限擴張ト云フコト、コレハオ說一應御尤モニ拜聽致シマシタ段々時勢モ進歩致シマスルノデ依然トシテ舊態ノ儘ニ止メテ置クト

云フコトハドウカト思ヒマス。尙ホ御承知ノ如ク出張所モ本年ヨリ會ニナリマシテ逐次改善ノ途ニ就イテ居ルノデアリマス。尙ホヨク御希望ノ點ヲ參酌致シマシテドノ程度ニ決メルト云フコトハ自ラ限度ガアリマスカラヨク夫等ノ點ヲ參酌致シマシテ考究シタイト存ジマス。次ハ指定府縣道ニツイテ例ヲ舉ゲテノオ尋ネデアリマシタガ、私ソレヲ實ハ知悉シナイノデアリマス。御希望ニ依リマシテ機會アル度毎ニ之ヲ指定府縣道ニ編入スルヤウニ認メルヤウニ本省方面ニモ努力シテ見タイト思ヒマス。併シ只今オ述ベニナリマシタヤウニ名ヲ捨テ實ヲ取ルト云フヤウナオ言葉ガアリマシタガ、國ニ於テモ指定府縣道デナクテモ補助ノ途ガ開カレテ居ルノデアリマスカラ他ノ縣内ノ路線ト比較致シマシテ適當ニ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス。

○議長(水野後八君) オ諮リ致シマス。本日ハコノ程度デ散會致シマシテ明日ハ日曜デアリマスカラ明後日午後一時カラ再開致シタイト存ジマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 然ラバ左様決定致シマス。明日ノ日程ハ本日ノ日程ヲ續行致シマス。本日ハ之ニテ散會致シマス。

時ニ午前十一時五十三分

昭和十五年十二月九日

昭和十五年通常岐阜縣會速記錄

第拾參號

昭和十五年通常岐阜縣會速記錄 第拾參號

昭和十五年十二月九日午前十一時十八分開議

議事日程 前日ニ同シ

出席議員 二十八名

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番
上	林	木	淺	井	野	野	水	橫	藤	遠	久	岡	藤	藤
杉	銀	股	井	野	野	野	野	山	井	藤	富	元	元	元
一	太	重	三	文	後	後	後	後	紳	英	應	二	二	二
枝	郎	藏	郎	郎	一	一	八	弘	一	雄	護	郎	郎	郎
君	君	君	君	君	君	君	君	君	君	君	君	君	君	君

十六番	若山忠治郎君
十七番	片山史郎君
十八番	間孔太郎君
十九番	杉原善司君
二十一番	堀澤乙彦君
二十二番	白野啓助君
二十四番	駒月巖君
二十五番	木村公平君
二十六番	石原敏雄君
二十九番	川瀬新二君
三十番	清水康一君
三十三番	鷺見源四郎君
三十四番	林周一郎君
三十五番	二村一雄君
三十七番	山田喜代太郎君
三十八番	安田桑次君
三十九番	矢崎義一君

欠席議員 十一名

二番	水口周平君
三番	向井平七君
六番	村澤源市君
十一番	竹村壽吉君
二十番	長谷川俊一君
二十三番	小林藤介君
二十七番	清水良治君
二十八番	間宮成吉君
三十一番	鷺見兼五郎君
三十二番	鈴木政一君
三十六番	山本清之助君

○議長(水野後八君) 開會致シマス。本日ノ會議錄署名者ヲ十六番(若山忠治郎君)十七番(片山史郎君)ノ兩君ニオ願ヒ致シマス。派遣將士ニ對シマシテ本會カラ感謝並ニ慰問ノ電報ヲ發送致シマシタ所返電ガ參ツテ居リマスカラ朗讀致シマス。
(書記朗讀)

支那派遣軍總司令官

陸軍大將 西 尾 壽 造

岐阜縣會議長殿

○議長(水野後八君) 本日ノ日程ハ一昨日ノ續キデアリマシテ日程第一ヨリ第十二マデ一括シテ議題ニ供シマス。第一讀會ノ續キデアリマス。

○十六番(若山忠治郎君) 私ハ廢川敷ノ調査ガ遅々トシテ進行致シマセン點ニツイテオ伺ヒ致ンタイ。今廢川敷調査費ノ豫算ヲ見マスト專任技術者ガ三人計上シテアリマス。廢川調査費豫算ニ於テモ技術者ガ五人計上サレル居リマスケレドモ、ドウモ是等ノ技術者ヲ一般土木事業ノ方面ニ利用サレテ居ル爲カ廢川敷ノ調査ガトント進行セヌノデアルト云フコトヲ聞イテ居リマス。果シテサウ云フ事實ガアリマスルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ。私ハ右三人ノ專任技術者ヲシテ專念廢川敷ノ調査ニ從事サセテ早クソノ調査ヲ完了シ、サウシテソノ主タル手續キヲ完了スルヤウニシテ貰ヒタイノデス。斯ウシタナラバ一面食糧増産上ノ一助トナリ縣財政ノ上カラモ甚ダ有利デナイカト思ヒマス。併セテ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス。次ニハ橋梁換架ノ七ケ年繼續年度割事業費ニツイテオ伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス。コノ七ケ年ノ繼續事業費ノ總額ヲ見マスト百五拾貳萬四千圓デアリマス。ソノ内昭和十二年度カラ昭和十四年度マデニ廢止サレタ所ノ額ハ六拾五萬壹千圓トナツテ居リマス。然ルニ昭和十二年以來今日ニ至ル間ニ於テ時局對應急ヲ告ゲテ居ルト共ニソノ橋梁資材等モ又勞銀等モ非

常ニ暴騰シテソノ年度ノ年度割ノ豫算ハ支出濟トナツテ居リマスガ、ソノ工事工程ノ概略ニツイテオ伺ヒシタイト思ヒマス。果シテ當初ノ設計ニ基イテ殘額八拾七萬參千圓ヲ以テコノ三大橋ト云ハレル忠節橋、岡島橋、合渡橋ノ完成ガ出來ルオ見込ミデアルカドウカ、工事工程ノ上カラ具體的ノ御説明ヲオ伺ヒシテ見タイ。モウ一ツソノ次ニハ國道改良事業ニツイテオ伺ヒ致シタイ。岐垣國道ニ連絡致シマスル十四號路線即チ大垣市カラ不破郡ヲ經テ滋賀縣ニ通ジマスル國道ハ産業上軍事上交通道路トシテ特ニ重要デアルコトハ明カナ事實デアリマス。然ルニ大垣市以西ハ極ク幅員ガ狭クテ殊ニ屈曲箇所カモ九十度角度ノ如キヤウテ屈曲點ガ澤山アルノデアリマシテトラツク運搬等ノ危険性甚ダ大ナルモノガアルノデアリマス。デ今日マデコレガ願ミラレナカツタノガ誠ニ私遺憾トスル所デアリマス。ドウカ一日モ早クコレガ改良計畫ヲ樹テラレンコトヲ希望スルモノデアリマス。當局ニ於テカ、ル御意思ガアルカドウカヲオ伺ヒ致シタイ。ソノ次ニ市町村土木補助費ニツイテ、コノ道路橋梁費ノ補助ガ前年度通りノ拾萬圓デアリマスルコトハ甚ダ遺憾デアリマス。今年ノ豫算編成期ニ際シマシテモ縣政調査會一致ノ希望デ増額ヲ要望サレテアリマシタノニ少シモ増額サレテ居ナイコトハ全ク遺憾デアリマシテ、カ、ル少額ノ補助デ縣下三百ヶ町村ノ希望ニ應ズルコトハ到底出來ナイト存ジマス。デ今年ハ止ムヲ得ザルトスルモ次ノ年度ニ於テハ豫算編成上特ニ考慮ヲ拂ハレテ少クトモ倍額以上ニ増額シテ貰ヒタイ。コノ點ニツイテ當局ノ御意見ヲオ伺ヒ致シマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 十六番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。第一點ノ廢川敷ノ調査ガ各豫算額ニ供シテアルニ拘ハラズ非常ニ遅延シテ居ルト云フオ言葉デアリマス。コレハ私一昨日モオ答ヘ申上

ゲマシタ通り遅レテ居ルコトハ事實デアリマシテコノ點ハ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス。一昨日モ申上ゲマシタ通りコノ廢川敷ハ縣下各地ニ多數ニ散在シテ居リマシテツノ數モ多ク又調査致シマシタモノニ對シテモ本省方面ノ認可手續キ等ニ相當事ヲ要スルノデアリマス。又認可相成リマシテモ種々ノ點ガ伴ハナイト云フ譯デ相當複雑デアリマシテ、遅レテ居ルコトハ申譯アリマセンガ今後共充分注意致シマシテ善處シテ行キタイト考ヘマス。次ニ之ニ技術員ガ相當配置サレテ居ルニ拘ハラズ他ノ土木事業ニ廻シテ居ル爲ニ遅延シテ居ルト云フヤウナオ言葉デアリマシタ。私實情ハヨク承知シテ居ラナイノデアリマスガ、目下技術員ハ相當手不足デアリマスカラ或ハ何カ突發的ノ用ガ起キタ時ハソノ方カラ手助けヲ願ツタコトガアルノヂヤナイカト思ヒマス。コレダケノ技術員ヲ配置サレマシタ以上ハコレダケヲ用キテ成ルベク速ニヤリタイ。斯様ニ考ヘテ居リマス。次ニ橋梁架換ノコトデアリマスカ、忠節橋、合渡橋、岡島橋ノ三大橋ハ豫定ノ年度ニ對シテ非常ニ遅レテ居リマス。完成年度マデニ出來ルカト云フヤウナオ話デアリマスガ、コレモ誠ニ御尤モナコトデアリマシテオ説ノ如ク資材ノ關係ソレカラ他ニ勞力費ノ暴騰、資材ハコレハ鐵材デアリマスカラ時節柄非常ニ入手難デアリマス。精々努力シテ居ルノデアリマスケレドモナカク思フヤウニ行カナイノデアリマス。併セテ三大橋ニツイテノ工事ノ進捗状態ヲ述ベヨト云フコトデアリマシタカラ私ノ存ジテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス。岡島橋ハ下部工事ハ既ニ竣工シテ居リマス。中部工事ニ對シテハ鐵材ノ入手ガ遅レテ居リマシテ本省方面ト折衝致シマシタガナカク這入ラナカツタノデアリマスガ、コレダケハ幸ヒニ今ノ所材料ガ殆ンド全部搬入致シマシテ先ヅ本年度一杯ニハ全橋梁ガ架設スルコトガ可能デアルト考ヘテ居リマス。

ソレカラ忠節橋ハ今下部工事ノ進行中デアリマスガ、コレハ下部工事ガ本年度内ニ竣成スルト思ヒマス。上部工事ニ對シマシテモ材料ノ手配等ニ對シテ本省方面ニ折衝ヲ進メテ居ルノデアリマス。合渡橋ニツキマシテハ下部工事ハ着手致シマシタガ上部工事ノ材料ハ折角交渉中デアリマスカナカク困難デアルト思ヒマス。コレハ私自身ノ考ヘデアリマスガ、明年度ニ於キマシテハコノ鐵材ノ入手ガ今年ヨリモ益々困難ニナリハシナイカト惧レテ居ルノデアリマスガ、イツマデモコノ状態ヲ放置シテ置クコトハドウカト思ヒマス。私ダケノ考ヘデアリマス。或ル時期ニ到リマスレバ決心致シマシテ、勿論經濟上得策デナイノデアリマスガ、一部ノモノハ木橋ニ架換ヘル必要ガアルノヂヤナイカ、兎ニ角木橋ニ致シマシテモ十年ヤ十五年ハ保ツノデアリマスカラソノ間ニ好轉スルコトガアルト存ジマス。已ムヲ得ナイ場合ニハ一部木橋ヲ架設スルノ已ムナキニ至ルト思ヒマス。次ニ第三ト致シマシテ國道改良ノ第八號路線ト存ジマス。大垣市以西ノ國道ト存ジマスガ、コレハ御承知ノ如ク近來ハ國道ハ國ノ直營トナツテ居リマシテコノ國道促進ニツキマシテモ私共機會アル毎ニ内務省ニ御依頼ヲシテ居リマス。運動モシテ居リマシテ、例年内務省ニ於キマシテハ改修費ヲ計上サレルヤウナコトデアリマスケレドモ、ドウモ大藏省ニ行ツテ失敗スルノデナイカ、今年モ先日參リマシタ時ニハ國道改良ヲ持ツテ行クヤウナ風デアリマシタガソノ結果ハマダ判ラナイノデアリマス。道路ノ惡イコトハ私共重々承知シテ居リマス。コノ上トモ内務省方面ニ御依頼致シマシテオ言葉通り成ルベク速ニ改修出來ルヤウニシテ行キタイト存ジマス。第四點ハ市町村ノ土木補助費ノコトデアリマス。コレモ本年ノ豫算ハ前年ニ増ス所ガナイノデアリマシテ御意見誠ニ御尤モニ存ジマスガ、コレモ私聞ク所ニ依リマスレバ從來ニ比

較致シマシテ大分ニ多額ニナツテ居ルト斯様ニ考ヘテ居リマス。コレハ御承知ノ如ク補助費ニ對シマシテハ起債等ガ認メラレナイノデアリマシテ縣ノ財政上ナカク困難デアリマス。オ言葉ニモアリマシタヤウニ本年ハ一應コノ程度ニ止メマスガ來年度ニ至リマシテ土木當局トシテ出來ルダケ努力致シマシテ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス。

○十五番(藤岡元二郎君) 私ハ道路維持修理ニツキ一言簡單ニオ尋ネ致シタイト存ジマス。抑々生産過程ノ一要因ヲ成ス道路ノ善惡良否ハ産業振興上ニ至大ノ影響ヲ齎スト云フコトハ今更私ノ申スマデモナイコトデアリマス。現下縣内ノ道路ハ各土木出張所長ノ指揮監督ノ下ニ修路工夫ガ懸命ニ而カモ忠實ニ夜ヲ日ニ繼イデソノ持場々々ヲ維持經營シツ、アルノデアリマスガ、材料ノ支給乏シキガ故ニ路面ハ日ニ瘦セ衰ヘテ行クバカリデアリマシテ、所ニ水溜リヤデコボコヲ生ジ且ツツノ上橋梁ノ腐朽甚ダシクアリマシテ、常時ニ於テモ不便ヲ感シ産業振興上支障ヲ來シテ居ル状態デ、一朝凍結降雪ノ時期ニナリマスレバ一層惡クナリマシテ、恰度滿洲ノ雨期ノ時ノ道路ヲ思出サシメル程惡イ道路デアルノデアリマス。コレガ本縣道路ノ全貌デアリマス。茲ニ至ツテハ且ツハ道路デ天下ニ名譽ヲ擧ゲマシタ縣當局ノ面目如何、ソノ所見ガ承リタイノデアリマス。當局ニ於テハ宜シク乏シキガ中ニモ彼レ此レ工面ヲ致サレ維持修理ニ力ヲ致シ産業振興ノ爲ニ努力ヲ拂ツテ貰ヒタイ。幸ニ技倆ト高遠ナル抱負ヲ持ツテ居ラレル名部長ヲ迎ヘタノデ必ズソノ理想ヲ實現シテ良クシテ頂ケルコト、確信致シテ居リマスガ、コノ機會ニ於テ御意見ヲ承リ併セテ希望ヲ述べタ次第デアリマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 十五番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。道路ノ維持修繕ニツイテオ尋ネ

ト思ヒマスガ、本縣ノ道路ニツキマシテハ着任早々ノ感想ヲ私一昨日詳細ニオ述べシタ積リデアリマスガ、仰セノ如ク今ヨリ數年前ニ於キマシテハ本縣ノ路面ハ關東ノ茨城縣或ハ九州デハ宮崎縣ト云フヤウニ全國的ニ有名デアツタノデアリマス。然ルニソノ後ドウ云フ關係デアリマスルカ或ハ維持費ガ少イノデアアルカ、段々路面モ瘦セ衰ヘマシテ、オ話ニアツタ如ク現在デハ私ハ自慢ニナル道路デナイト思ヒマス。殊ニソレニ關聯致シマシテ附ケ落シマシタガ、本縣ニハ鋪裝道路ガ殆ンドナイノデアリマス。コレハ他府縣ノ相當ノ縣ニ參リマスレバ人家ノ連檐致シマシタ所デハ假令簡易鋪裝ナリガ大體施行サレテ居ルヤウナ状態デアリマス。本縣ハ「マカダム」道路ト申シマスカソノ當時カラ宜シクアリマシタガ、コレモ只今申上ゲマシタ通り面目ガ衰ヘテ來テソノ上ニ鋪裝道路ト云フモノガ殆ンドナイノデアリマシテ私共土木ニ携ツテ居ル者トシテ誠ニ遺憾千萬ニ堪ヘナイ。又橋梁ノコトモ、コレモ本縣ノ惡口バカリ云ツテ濟ミマセンガ、コレハ全國的ニ惡イコトニ於テ相當ノモノデナイカト思ヒマス。今年ハ橋梁ノ方ハ乏シキガ中ニモ都合致シマシテ參萬圓ト云フ——私共土木トシテ相當ノ額デアリマスガ——參萬圓ヲ特ニ追加計上サレマシテ架換ヘノ出來ナイヤウナモノ而カモ急ヲ要スル捨テ置キ難イモノヲ修理致シマシテ、尙ホソノ内ニハ御案内デアリマセウガ本縣ノ鐵橋ハ何年カ捨テ置カレマシタモノト見エマシテ非常ニ錆ビテ居ルノデアリマス。斯ノ如キコトハコノ物資下足殊ニ鐵材ノ少イ時代ニ於キマシテ誠ニ放置スルコトハ國ト致シマシテモ非常ニ損ダト思ヒマス。ソレデ特ニ縣費デ塗替ヘ全部ト云フ譯ニ行キマセンガ、一部ツ、塗替ヘテ行クト云フコトデ相當額ノ參萬圓ヲ計上致シマシタ。道路橋梁共ニ只今申述べマシタ如キ状態デ費用モ左様ノ通りデ満足デナイノデアリマスガ、

コレハ一昨日モ申上ゲマシタ通り今縣ノ財政上コノ程度デヤツテ行クヨリ仕方アリマセン。尙ホ私共當局ト致シマシテハ今後共精々努力致シマシテコレガ増額ニ對シテノ御希望通りニ致シタイ。斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○三十九番(矢崎義一君) 簡單ニオ尋ネ致シマス。生産擴充ニツキマシテ道路ノ必要ハ今更申上ゲルマデモアリマセンガ、色々狀勢ガ變リマシテ縣道ニ編入サレタモノデモサノミ重要ヂヤナイモノモ少クナイト思ヒマス。町村道路ニシマシテモ非常ニ重要ナ道路ガアリマシテ縣道ニ編入シテ貰ヒタイト云フ地方ノ希望モアリマス。交通量ニ於テモ實際ノ縣道ヨリ多ク通ルト云フ所ガアリマス。デアリマスカラスウ云フヤウナ道路ハ充分調査シテ下サイマシテ本年ノ縣會ニ編入ノ諮問案ヲ御提出ニナルカドウカ伺ツテ置キタイ。次ニハ各町村ガ土木協會ヲ作りマシテ二郡カ三郡カ寄リマシテ土木出張所ノ建物ヲ修繕維持シテ居リマス。町村ノ負擔モ可ナリ重クゴザイマシテ獨立ノ財源トシテモ町村モ充分デアリマセンカラ維持修繕モ困難デアリマス。斯ウシタモノハ縣ニ移管サレマシテ縣ノ方デ維持修繕サレルカドウカト云フコトモ伺ツテ置キタイ。町村ノ土木補助モ先程十六番議員カラ質問ガアリマシタガ、財政ガ困難デ僅カナ補助デ町村道路ヲ修繕シテ居ルデアリマス。ソノ方面ハ縣政調査會デ一致ノ要望ヲ致シマシテモ増額サレヌノデアリマシテ、町村トシテハサウ云フヤウナ方面ニ於テモ可ナリ大キナ負擔ヲシテ居ルデアリマス。デアリマスカラ建物ニツイテハ是非共縣ヘ引取ツテ縣ノ方デ維持修繕サレルヤウニシテ下サルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 三十九番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。縣道編入ニ對スル方針ト云フヤ

ウナ御質問ト承リマシタガ、私本縣ニ參リマシテ考ヘタコトデアリマスガ、本縣ニハ府縣道ノ數ガ相當アルト存ジテ居ルデアリマス。併ナガラ勿論ソノ内ニハ府縣道ト云フ名ノミデアツテ實質ガ之ニ伴ハナイデ殆ント人ノ通ルコトノナイト云フヤウナ道路モアルト云フコトヲ聞及ンデ居リマス。コノ府縣道ノ編入ハ御承知ノ如ク大正八年デアリマスカ九年デアリマスカ、道路法發布當時ニ第一ト致シマシテソノ後郡制廢止當時ニ第二段ニ入レラレタト存ジマスガ、ソノ後追々必要ニ應ジテ縣道ノ編入ガアツテ今デハ相當ノ數ニ達シテ居ルト存ジテ居ルデアリマス。私ノコトヲ申上ゲテ恐入リマスカ、私モ郡制廢止當時ニ土木局ニ奉仕シテ居リマシテ當時郡道廢止ノ跡始末ニツキマシテハ大阪、京都ソノ他數縣實地視察ニ參リマシテソノ事柄ニ直接携ツタノデアリマス。縣道ノ編入狀態ト云フモノハ相當知ツテ居ル積リデアリマス。ソレデコノ問題ニツキマシテハ只今デハ本省方面デモ相當寧ろ整理ノ意見ガアルヤニ聞イテ居ルデアリマス。併ナガラコレモ全國ノ内デ府縣ニモ依リ又府縣ニ依ツテモソノ地方々々ニ依ツテ別ニナツテ居ルト思ヒマシテ、オ説ノ如ク極メテ重要ナル市町村ノ道路デ未ダ縣道ニ編入サレテ居ラナイモノ、又一面ニハ今云ヒマシタヤウナ殆ンド人類ノ通ラナイヤウナ縣道モアルノデアリマス。是等ノコトモ篤ト考究致シマシテ適當ニ致シタイト思ヒマス。縣道ノ具體的ノ路線ハ私ノ手許ニモ相當集ツテ居ルデアリマスガ、本年ハ諮問ノコトハ致サナイ積リデアリマス。適當ノ機會ニ於キマシテ只今申述ベマシタヤウニ色々詮議致シマシテ又實地ノ狀態等モ篤ト視察致シマシテ適當ニヤツテ行キタイ、カヤウニ考ヘテ居リマス。次ニ本縣デハ土木協會ト云フモノガ各郡トカ或ハ數郡ニ設置サレテ居リマシテ、ソレノオ蔭デ往年土木出張所ガ出來タト云フコトヲ聞イテ

居リマス。而カモ維持修繕ヲ今土木協會デヤツテ居ラレルヤウデアリマスガ、之ヲ縣ニ移管スル意思ガアルカドウカト云フコトデアリマスガ、私ノ考ヘト致シマシテハ土木ノ維持修繕ハ元ヨリノコト出張所ノ設置ソノモノモ縣ニ於テヤルノガ至當ヂヤナイカト思ヒマス。併ナガラ當時ノ財政ノ關係トカ或ハ土木協會ガ善意的ニオ申込ガアツタノカ知リマセンガ、縣下ヲ巡視致シマシタ時ニ相當立派ナ土木出張所ガ出來テ居ルノヲ見テ誠ニ有難ク存ジテ居リマス。ソノ上ニ維持修繕費モオ懸ケシテ居ルト云フコトハ甚ダ御迷惑ト思ヒマスガ、只今ノ縣ノ状態デ今日直ニ之ヲ縣ノ方ヘ維持修繕ヲ移スト云フコトハコノ席上デ即答致シ兼ネルノデアリマス。ソノ方向ニ向ツテ善處シテ行キタイト思ヒマス。

○議長(水野後八君) 喫飯ノ爲メ暫時休憩致シマス。

時ニ午前十一時四十二分

同日午後一時五十四分引續キ開議

出席議員 二十八名

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 番 | 上 | 杉 | 一 | 枝 |
| 二 | 番 | 林 | 銀 | 太 | 郎 |
| 三 | 番 | 木 | 股 | 重 | 藏 |
| 四 | 番 | 村 | 澤 | 源 | 市 |
| 五 | 番 | 淺 | 井 | 三 | 郎 |
| 六 | 番 | | | | |
| 七 | 番 | | | | |

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 八 | 番 | 上 | 野 | 文 | 一 |
| 九 | 番 | 水 | 野 | 後 | 八 |
| 十 | 番 | 横 | 山 | | 弘 |
| 十一 | 番 | 竹 | 村 | 壽 | 吉 |
| 十二 | 番 | 藤 | 井 | 紳 | 一 |
| 十三 | 番 | 遠 | 藤 | 英 | 雄 |
| 十四 | 番 | 久 | 富 | 應 | 護 |
| 十五 | 番 | 藤 | 岡 | 元 | 二 |
| 十六 | 番 | 若 | 山 | 忠 | 治 |
| 十七 | 番 | 片 | 山 | 史 | 郎 |
| 十八 | 番 | 杉 | 原 | 善 | 司 |
| 十九 | 番 | 堀 | 澤 | 乙 | 彦 |
| 二十 | 番 | 白 | 野 | 啓 | 助 |
| 二十一 | 番 | 小 | 林 | 藤 | 介 |
| 二十二 | 番 | 駒 | 月 | | 巖 |
| 二十三 | 番 | 木 | 村 | 公 | 平 |
| 二十四 | 番 | 石 | 原 | 敏 | 雄 |
| 二十五 | 番 | | | | |
| 二十六 | 番 | | | | |

二十七番	清水良治君
二十九番	川瀬新一君
三十番	清水康二君
三十三番	鷺見源四郎君
三十五番	二村一雄君
三十九番	矢崎義一君
欠席議員 十一名	
二番	水口周平君
三番	向井平七君
十八番	間孔太郎君
二十番	長谷川俊一君
二十八番	間宮成吉君
三十一番	鷺見兼五郎君
三十二番	鈴木政一君
三十四番	林周一郎君
三十六番	山本清之助君
三十七番	山田喜代太郎君

三十八番

安田桑次君

○議長(水野後八君) 引續キ開會致シマス。

○十九番(杉原善司君)

簡單ニ二三御質問致シタイト思ヒマス。先ヅ治水ノ問題デアリマスガ、過日私ハ山林課長ニ對シマシテ治山ノ問題ヲオ尋ネシ茲ニ又治水ノ問題ニツイテオ尋ネスル所以ハ刻下ノ國防上非常ニ憂慮ニ堪ヘナイ現況ニ於テ山林ノ濫伐ト共ニ引續キ茲ニ生ジテ來ルモノハ即チ災害デアルト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス。故ニ治水ノ方法ニ對スル過去ノヤウナ状態デハ將來ニ於テ憂フル點ガ多々アルノデアリマシテ、内務省ノ行ツテ居リマスル河川改修モ時局ノ影響ヲ受ケマシテ一頓挫致シマシテ各所ニ九切ノ功ヲ一簣ニ虧クガ如キ仕事ノ殘リガ相當アルノデアリマス。現在古々川ニ於キマシテモ下流ノ閉切りガ完了シナイ爲ニアノ大事業モ中途ニシテ殆ンド完成近クマデニ立至ツテ完了シナイト云フコトガ縣下各所ニアルノデアリマシテ是等ヲ整理致シマシテ一ツ宛デモ完了ノ域ニ達シタナラバソコニハ立派ナ美田モ出來、耕地モ澤山出來ルノデアリマス。併シ内務省ガソクナヤウナ状態デアリマシテ縣トシテハ内務省ノ仕事デアルト云フテ放置シテ居リマス。コノ點ハ當局ハ大イニ連繫シテ僅カヅ、デモ目的達成ノ爲ニ努力ヲ要望スルノデアリマシテ、ソノ點ニツイテノ將來ノ方針ニツイテノ部長ノ方針ヲ承リタイ。次ニ山林ノ濫伐ト共ニ上流カラ流レテ來ル所ノ土砂ノ量ガ年々増大シ延イテハ下流ニ滯留シ或ル場所ニ於テハ水力電氣ノ影響ヲ受ケテ堰堤ノ上流ニ多數ノ土砂ガ滯留シ堰堤ノ下流ニ於テ土砂ノ下流ニ流レルコトガ甚シクソノ附近ニ於テ獲入レモ困難トナリ土

砂ノ堆積ガ多クナルト云フヤウナ幾多ノ現象ヲ生ジテ居ルノデアリマシテ、是等ノ爲メ發電會社トモ折衝シテ土砂ノ處理ニ關シテ中間ノ砂防即チ山デナイ又平地ノ間ノ砂防ト云フモノヲ御考慮願ヒタイノデアリマス。ソノ點ニツイテノ河川課長ノ御答辯ヲ承リタイ。大水害ヲ豫想シテ茲ニ我々ハ水害豫防ノ考ヘテ充分ニ研究シテ行ク必要ハナイカ。即チ西濃ニ於テハ水害豫防組合ガ出來テ居ツテソレノ目的ニツイテノ活動ハシテ居リマスガ、今回出來マシタ警防團トノ關係デアリマスガ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイノハソノ間ニ於ケル最後ノ統裁ノ機關ガ明カニ決定サレテ居ラナイノデアリマス。之ヲ非常ニ案ズルノデアリマス。即チ一方デハ警察署長ニ全權ヲ委任シテ水防ヲヤラセ即チ警防團ニ於テ總テヲヤツテ了フト云フ意向デアリマス。一方ニ於テ水害豫防組合ハ幾多ノ資材ヲ過去ニ於テ準備シテ豫メ訓練ヲシテ居ルト云フ所カラコノ警防團ト水害豫防組合トノ間ガウマク行カナイト云フ現狀デアリマス。一旦大洪水ガアリマシタラソノ時期ニ立至ツテ研究スルト云フコトハ愚ノ骨頂デアリマシテ今カラ確立スル必要ガアリマス。最後ノ指揮ヲ執ル機關ヲ決定シテ頂キタイ。斯ウ云フコトヲ要望スルノデアリマス。コノ三ツニツイテ簡單デ宜シイカラ最後ノ決意ヲ承リタイト存ズルノデアリマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 十九番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。第一ノ治山治水ノコトデゴザイマスガ、コレハ過日モ御高見ヲ拜聽致シテ居リマシテ御見識ノ程ニ敬服シテ居ルノデアリマス。正シク支那ニ於テハ御承知ノ如ク水ヲ治メル者ハ國ヲ治メル者デアルト云フコト程重大ニ考ヘテ居ルノデアリマス。我國ト致シマシテモ現在ノ問題ト致シマシテ治山治水ハ重大問題トシテ各縣共ニ叫バレテ居ルノデアリマス。ソノ治山ノ技術的ニ這入りマスガ、所謂山砂防ト申シマスルコトハ山林課ノ所管ニ

ナツテ居リマス。私ノ方ハ溪流砂防ト云フコトヲヤリマシテ土木部ノコトデアリマス。即チ堰堤ナドデアリマス。本縣ノ砂防ニツキマシテハ國ニ於テモ重要性ヲ認メラレマシテ、聞ク所ニ依リマスト明治初年以來即チ既ニ養老山系ニ着手致サレマシテコレマデニ數千萬金ノ價格ガ投ゼラレタノデアリマス。又本縣ノ砂防ソレ自體ト致シマシテモ過去ニ於テ割ニ國庫補助ガ少額デ、何ンデモ承知シテ居リマスル所ニ依リマスレバ昭和十二年頃マデハ毎年貳拾萬金足ラズノモノデアツタサウデアリマスガ、ソノ後十三年ニハ貳拾四萬金トナリ十四年度ニハ五拾四萬金、昨年度ノ如キハ六拾四萬五千金ト云フヤウナ砂防費ガ計上致サレマシテ恐ラク今後ニソレ以下ノコトハナイト思ヒマス。斯様ニ治水モ根本ト致シマシテ砂防工事ニ盡力ヲ致シテ居ル次第デアリマス。尙ホ引續イテ河川改修ノ點デアリマスガ、御承知ノ如ク本縣ニ於テハ木曾、揖斐、長良ノ三大川ソノ他ヲ初メ國ニ於テモ實行ニ努力サレ、又縣トシテモ努力致シマシタガ時局ノ關係上是等ノ工事が遅延シテ居ルコトハ誠ニ遺憾デアリマス。私共モ精々國ニモオ願ヒ致シマシテ又土木當局ト致シマシテモ精々努力致シマシテ所謂治山治水ノ大事業ニ向ツテ邁進致シタイト斯様ニ信ジテ居リマス。ソノ次ニ水害ノ豫防ニツイテ警防團ト水防組トノ關係ニツイテノオ尋ネデアリマス。警防團ハ御承知ノ如ク市町村等ノ行政區劃ヲ單位ト致シマシタモノデアリマシテ、水防組ハ各水防ニ對シテ各々利害ヲ共ニスル者ガ集ツテ一團トナツタモノデアリマス。コノ關係ニツキマシテハ御承知ノ如ク警防團ハ十四年ノ四月ニ出來タノデアリマス。コノ關係ヲ如何ニスルヤト云フコトデ、コレハ私來任ノ前デアリマスガ、聞ク所ニ依ルト當時内務省モ土木局方面ニモ打合セテ致シ、ソレカラ當縣内ノ警察トモ協議致シマシテ取敢ヘズ平易ナル水防組ニ依ツテ、

非常ノ時ハ警防團警察部ノ方ニ任セルトフコトデアリマス。ソノ内デ技術ヲ要スルモノハ縣カラ係官或ハ土木出張所長ノ指揮ニスルト云フヤウニ取り極メガ一應出來マシテ通牒ガ發セラレタヤウニ承ツテ居リマス。私コノ點モマダ仔細ニハ研究ハ致シテ居リマセンガ、色々承ツタリ致シマスルトソコニ大イニ考ヘルベキ所ガアルノヂヤナイヤト思ヒマス。今折角研究中デアリマスカラ研究ノ出來次第ソレノ交渉方面ニ交渉致シマシテ適當ニ善處致シタイ。斯様ニ存ジテ居リマス。

○二十五番(木村公平君) 道路課長ニオ尋ネ致シマス。實ハコノ問題ハ三十五番議員邊リカラ仰シヤルノガ本當カト思ヒマスガ地元ノ關係デドウモ云ヒニクイト云フコトデアリマスカラ私代ツテ申上ゲタイノデアリマス。既ニ昨年ノ縣會ニ於テモ問題トナツタノデアリマスガ、御嶽道路ノ改良、御承知ノ如ク從來御嶽山ハ一部ノ信者ガ登山致シマシテ縣會ノ問題ニスルニ足ラナカツタノデアリマスガ、最近ハ私共ノ調査スル所ニ依レバ凡ソ學生ダケデモ夏期ニ於テ八萬グラキノ者ガ登山致スノデアリマス。コレハ男モアリ女モアリ子供モアルノデアリマス。而カモ御承知ノ通りアノ山頂ハ火山ノ跡ニ池ガ多ウゴザイマシテソノ關係カト存ジマスガ氣流ノ變化ガ甚シイノデ大變霧ガ多ウゴザイマシテ所謂昔カラ先達ガ無イ場合ハ危險デアルカラ登山シテハナラヌト云フ申合セガアルノデアリマス。而カモ御承知ノ如ク板橋カラ登ル登山道路ハ殊ノ外路面ガ粗惡デアリマシテ危險ガ甚シイコトハ實ニ一見致シマシテ戰慄スベキモノガアリマス。從來ハ一部ノ信者ノミノ問題デアリマシタカラ私共重視致サナカツタノデアリマスガ、最近私共西濃方面カラモ澤山ノ學生ガ登山致シ、東濃飛驒ハ無論ノコトデアリマス。全縣下ノ學生ガ舉ツテ體位向上ノ爲ニ登山致ストスレバ全縣下ノ問題ト云ハザルヲ得ナイ。

八萬人十萬人ノ男女ガ登山スル路面ガ危險ト云フコトデアレバ貴方ノ方デ御調査ノ上善處シテ頂カネバナラヌト思ヒマス。昨年質問ガアツタノデアリマスガ答辯ハ承知シテ居リマセンノデアリマス。相當額ノ經費ヲ伴フ問題デアリマスカラ今日直チニト云フコトハ或ハ實現困難ト思ヒマスガ、以上ノヤウナ理由デアリマスカラ可及的速ニ御調査下サイマシテ出來ルダケ誠意ヲ以テコレノ實現ヲ期セラレシコトヲ希望致シマシテ御意見ヲ拜聽致シタイ。

○參與員(地方技師伊藤千代太郎君) 二十五番議員ニオ答ヘ致シマス。御嶽山ノ登山道路ニツイテ將來ノ計畫ヲシテ貫ヒタイト云フ御意見デアリマスガ、アノ道路ニツキマシテハ小阪ノ驛カラ恰度落合マデハ現在縣道デアリマシテソノ先キハ縣道ニ編入サレテ居リマセン。ソノ編入サレテ居ル縣道ニツキマシテ一昨年來改修ニ着手致シマシテ漸次先キノ方ニ工事が進行シテ居リマシテソノ先キノ方ノマダ縣道ニ編入シテ居ラナイ分ニツキマシテハ將來或ル時期ニ於キマシテサウ云フ道路ハ縣道ニ編入スルヤウナ機會モアルト思ツテ居リマスカラ縣道ニナツタヤウナ際ニ於テ改修ト云フヤウナ計畫モ樹テヨウカト思ツテ居ルノデアリマス。サウシテ縣道ニ編入如何ト云フコトニツキマシテハ恰度之ニ似タヤウナ道路ガ飛驒方面ニ澤山アリマスカラサウ云フモノト一緒ニ考慮シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス。左様御承知願ヒマス。

○二十六番(石原敏雄君) 私ハ一二御當局ニオ伺ヒシタイノデアリマス。時局ハ生産力ノ擴充就中工業的生產力ノ擴充ヲ要スルノハ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、ソノ生産力擴充ノ原動力トナル所ノ石炭、電氣ノ増強ヲ圖ルノガ最モ緊要ト存ズルノデアリマス。本縣ハ幸ニ致シマシテ河川溪谷ガ

澤山アリマスルノデ從來共水力ニ依ル電氣ヲ開發致シマシテ縣費ノ收入ノ一助トシ、尙ホ進ンデ國家ニ寄與シ來ツテ居ルノデアリマスガ、尙ホ本縣ニハ水力電氣ヲ開發スルノニ相當適當ナ場所ガアルト思フノデアリマス。我が養老郡ニ於キマシテモ十數年前ヨリ喧シク云ハレテ居リマスル牧田川ノ上流ノ一之瀬村ニハ天與ノ良キ場所ガアルノデアリマス。「ダム」ヲ築造シ一大貯水池ヲ拵ヘサウシテ水力電氣ヲ開發スルノニ極メテ工事が樂デサウシテ有效的ナ場所ガアルノデアリマス。御當局デモ御承知ト思ヒマスガ、コノ牧田川ノ直グ下流ノ所ニモ用水ノ組合ガアリマシテコノ用水ハ旱魃ニハ非常ナ用水ガ困難ヲ來シテ居ルノデアリマス。同川ガ急流ナ爲ニ殆ンド毎程用水ノ欠乏ヲシテ苦シンデ居ルノデアリマス。ソレヲコノ「ダム」ニ依ツテ灌漑ノ時ハ救済スルコトガ出來ルノデアリマス。尙ホ同地方ニハ海津郡ノ一圓、養老郡ノ南部、安八郡ノ南部ニハ電氣ニ依ル所ノ排水機ノ設備ガ出來テ居ルノデアリマス。是等ニ電力ヲ要スルコトガ甚ダ多イノデアリマス。コレモ近距離ニ於テ供給スルコトガ出來ルノデアリマス。モウ一ツソノ村一ノ瀬村ハ今尙ホ昔ノ燈火デアリマシテ文化ノ電燈ニ浴シテ居ラヌノデアリマスカラコノ村ヲ暗黒カラ救フコトガ出來ルノデアリマス。所謂一石三鳥デサウシテ有効ナ電氣ガ開發シ得ラレルノデアリマス。サウシテ時局柄國家ニ寄與シタナラバ非常ナ良イコトデハナイカト思ツテ居リマス。是等ニツイテ御當局ハ如何ナル御意見ヲオ持チニナツテ居ルカ伺ヒタイ。モウ一ツハ橋梁ノコトニツイテオ伺ヒシタイ。橋梁ハ近年危險ナ橋モ改造ヲ要スル橋モ遅レ勝チニナツテソノ儘ニナツテ居ルノガ縣下到處ニアルノデアリマス。我が養老郡ニ於キマシテモ十三年ノ水害ニ依ツテ破壊ヲシテ今日假橋ヲ以テ漸ク續イテ居ル。尤モ交通ノ多イ重要ナ縣道ニ三ツアルノデア

リマス。高田橋ソレカラ養老谷ノ瀧谷橋、尙ホ下多度村ニモ志津谷川ニ架ツテ居ル橋梁ガアルノデアリマス。現在假橋デアリマスガ、當局ニ改築ヲ迫リマスト資材ガ乏シイ。所謂セメント、鐵材ガナイカラドウモ困ツタモノヂヤト云フオ話デアリマス。御尤モ私モ諒トシテ居ルノデアリマスガ、高田橋ノ如キハ相當大キイ橋デアリマスカラ容易ニ資材ノ得ラレヌノハ御尤モト思ツテ居リマス。尙ホ假橋ガ稍々完備シテ居リマスルノデ暫ク延バシ得ルコトハ辛抱出來ルノデアリマスガ、他ノ二ツノ橋ハ極メテ小サナ橋デアリマシテ飛ベバ越セルヤウナ小サナ橋デアリマス。サウシテ重要ナ橋デアリマス。是等ノ橋梁ハ資材ガ無イト云ヘバナイノデアリマセウガ、何ントカ出來ヌコトモナカラウカト思ハレルノデアリマス。若シドウシテモ出來ナケレバ木橋デモ差支ヘナイノヂヤナイカト思ツテ居リマス。十三年以來自轉車自動車ノ覆ツタコトモ夥シイノデアリマス。人ノ怪我シタコト、死亡シタコトモアルノデアリマス。斯ウ云フ假橋ヲシテ而カモ公園ノ入口ニアルト云フコトハ如何ニモ残念デタマラヌノデアリマス。永久ノコンクリート橋デナクトモセメテ木造デモヨロシイ。一日モ早く改造サレマシテコノ危險カラ逃レサセテ頂キタイト希望スル次第デアリマス。是等ニツイテ當局ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレカ、コノ二ツニツイテオ尋ネ致ス次第デアリマス。

○參與員(地方技師鈴木健二君) 二十六番議員ニオ答ヘ申上ゲマス。第一點ハ水力開發ノ問題ト拜聽致シマシタ。私本縣ニ着任以來——ト度々申上ゲマスガ——道路橋梁ノ良クナイコトハ先日來申上ゲタ通りデアリマスガ、コノ水力電氣ノ本縣ノ豊富ナコトニハコレハ又一驚ヲ喫シタノデアリマス。只今デ開發サレテ居ル電氣ハ五十萬「キロ」ニ達シテ居リマシテ尙ホ將來未開發ノモノヲ入レマスト百

數十萬「キロ」ニ達スルヤウニ承知シテ居リマス。誠ニ是等ノコトハ生産擴充上欣ビニ堪ヘナイ次第デアリマス。之ニツキマシテ牧田川ノ「ダム」ト云フコトノオ話ガアリマシタガ、コレハ縣下全般ノ問題ト致シマシテ河水統制ト云フ問題デ二三年來研究調査サレテ居リマス。今揖斐川、牧田川ソノ他調査ノ完了シタモノガアルノデアリマス。コノ河水統制ハ昔ハ水ハ殆ンド治水ニ限ラレテ居リマシタガ、灌漑ヲ除キマシテ輓近ハ利水ト云フ方面ニ關心ヲ持タレマシテ國自身ニ於カレマシテモ去ル十二年度ヨリ調査費ヲ計上致シマシテ全國的ニヤツテ居リマス。勿論コレハ一石三鳥ニモ四鳥ニモ亘ルノデアリマシテ適當ノ地點ニ堰堤ヲ設ケテ今オ説ノ如ク第一ニハ灌漑ソレカラ放魚用水ニ充テル。ソレカラ途中ノ落差ヲ利用致シマシテ發電ニ充テル。尙ホ又一面カラハ洪水ヲ防禦スル。カヤウナ色々ナ利用ガアルノデアリマス。今各縣共調査研究、尙ホ實施シテ居ル所モアリマスルシ既ニ工事が終了致シタ所モアリマス。又私ノコトヲ申上ゲテ恐入リマスガ、私前々任地ニ居リマシテ時ニ計畫致シタノガ三ツアリマス。一ツハ六百貳拾萬圓、一ツハ千貳百萬圓、一ツハ九百萬圓、コノ六百萬圓ノ分ハ恰度十三年ノ夏カラ掛リマシテ本年ノ夏ニ竣工致シマシテ先般落成式ヲヤツタト云フ通知ガアリマシタ。ソノ結果石炭ニ頼ツテ居ツタノヲ廢メテ電力ニシテ月々六萬圓違フト云フコトデアリマス。今ノ次ニ述ベマシタ二ツモ目下工事中デアリマス。私ハ河水統制ト云フ問題ニハ本縣デモ特ニ力ヲ入レタイト考ヘテ居リマス。今仰セニナリマシタ地點ハ私ガアノ邊ニ參リマシタ時ニ確カソノ地點ナラバ地質モ良イヤウニ拜見致シマシタ。工事が餘リ大キクナクテモ出來ルノヂヤナイカト思ヒマス。ソレニ依リマシテ或ハオ説ノヤウニ電燈ニシ或ハ排水機ノ動力ニ充テル、或ハ下流ノ灌漑ニ充テル、洵ニ良イ考

ヘデアルト思ヒマス。併シコノ時代デアリマシテ今考ヘテ直グト云フ譯ニ一寸行キ兼ネルノデアリマス。全般ニ亘リマシテモ調査シテ將來ニ殘ル問題デアリマスカラ經濟的ノ關係ヲ離レテモ出來マセンカラソノ邊モ算盤ヲ探ツテ見マシテ成ルベク有利ノモノカラ順次ニ掛ツテ行キタイ。只今ハソノ準備ヲシテ居ルト云フコトニ御承知願ヒタイ。斯様ニ考ヘテ居リマス。ソノ次ニハ橋梁ニツイテノオ話デアリマスガ、コレハ今日ノ午前中モ本縣ノ橋梁ニツイテ良クナイコトハ私オ話申上ゲタノデアリマス。高田橋ソノ他二橋、高田橋ハ承知シテ居リマス。他ノ二橋ハ知ラナイノデアリマス。高田橋ハソノ他ノ二橋モ多分コレハ永久構造ニナルヤウナ當初ノ設計デアツタト思ツテ居リマス。ソレニ對シテノ材料入手難デ今日マデ遅延シテ居ルト思ヒマス。勿論永久構造ニ依ルノガ最モ經濟的デアリマスガ、オ説ノ通り先般モ申上ゲマシタガ、入手難ト云ツテイツマデモ放置スルコトハ出來ナイト思ヒマス。來年度ハ鐵材ノ如キハ益々入手困難トナルヤニ承知シテ居リマスノデ或ハ時宜ニ依リマシテハ木造ニ架換ヘタイト思ヒマス。縣下ニ於キマシテハカヤウナ橋ガ又相當多イノデアリマス。ソノ重要程度ニ依リマシテ順次ニ架換ヘテ行キタイト斯様ニ考ヘテ居リマス。

○議長(水野後八君) 御質疑アリマセンカ。

○十一番(竹村壽吉君) 私ハ惠那郡落合川「ダム」ノ關係ニツキマシテ一寸關係課長ニオ伺ヒ致シタイ。木曾川ノ「ダム」、落合發電所ノ所デアリマスガ、御承知ノ山ガ崩壞シテ年々歳々非常ナ土砂ガ押出シマシテ既ニ部長サンモ御覽ニナツタコト、思ヒマス。可成リ澤山ナ土砂ノ爲ニアノ橋ガ埋ツテ了フト云フヤウナコトニナリマシテ順次橋ヲセリ上ゲマシテ何レ二間グラキ上ツタト思ヒマス。ソノ勢

ヒノ激スル所附近ノ田畑ヲ水ニ浸スト云フヤウナコトニナリマシテソレノ修繕工事モ施サレテ居ルノデアリマスガ、今後水害等ガアリマシタ場合ハドノクラキ大キナ水害ガアルカ計リ知ルコトガ出来ナイノデアリマス。之ニ對シマシテ地方民ガ戦々兢々トシテ居ルノデアリマス。當局ニ於カレテハ相當御心配ニナツテ居ラレマセウガ、コレハ大同電力株式會社、只今ノ日發會社トノ間ニ諒解ヲ、特別ノ契約デモアルノデアリマセウカ、又會社ト云フモノニ縣ガ今後災害ノアリマシタ際ニハ何カ命令シ監督スルト云フ權利ハ當然オ持チニナツテ居ルト思ヒマス。ドウ云フヤウナ處置ヲ從來オ採リニナツテ居リマシタカ、今後非常ナ危険ガ來ルコトハ當然豫測ナサレテ居ルノデアリマス。無論先程來オ話ノアリマシタヤウナ治山計畫ヲ樹テ、危急ノ災害ヲ豫防スルコトハ困難デアリマセウガ、コレハ本縣ダケデ惠那山系統ノ一部ニ砂防計畫ヲ樹テマシテモ固ヨリ充分デナイ。御承知ノ通り長野縣ノミサカ峠ト云フ方面カラ相當急流ニナツテ居リマスカラ土砂ヲ押出シテ來ルノデアリマス。ソレ故ニ長野縣方面トモ相當ノ御協議ナサルコトガ必要カト思ヒマス。内務省方面ニモ突ツ込ンデ恐ルベキ災害ノ豫測サレル時ニ於テ何ントカシテ安心出來ル對策ヲ講ジテ貰ヘマスマイカ、更ニ私ハ道路ノ方ノ關係ニ於キマシテオ尋ネ致シタイト思フノデアリマスガ、コレハ縣道ノ附ケ替ヘト云フ點デアリマス。同ジ惠那郡ノ阪下町カラ下呂ノ方ニ參リマス路線、川上村ヲ通過スル道路、現在ノ縣道ハ屈曲多ク危険モ多イノデアリマス。サウシテドチラカト云フト土地ノ中樞地點ガ通ツテ居ラヌノデ不便デアル。斯ウ云フ考ヘノ下ニ地方民ハ數年來熱心ニ縣道ノ附ケ替ヘヲ要望シテ居ルノデアリマス。ソレニツキマシテハ當局ニ於キマシテ既ニ數年前ニ必要ナル橋モ架換ヘテ下サツタノデアリマスガ、道路ノ方ノ附

ケ替ヘ工事モ新シイ新道ノ方モ出來ツ、アルノデアリマス。モウ暫クト云フヤウニナツテ居ルヤウニ見テ居ルノデアリマス。斯ウ云フモノガ出來マシタ後ニ新道ガ出來マシタ時ニ舊縣道ト附ケ替ヘシテ頂クト云フコトヲ屢々要望致シマシタガ、實現ヲ見ズニ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス。是等ニ對シテモドウカ充分ニ意ノアル所ヲオ示シテ願ツテ地方民ヲ安心サセテ貰ヒタイノデアリマス。極メテ簡單デアリマスガコノ二點ニツイテオ尋ネ致シタイ。

○參與員(土木技師兼道路技師平井寛君) 落合川ノ堰堤并ニソノ流域ノ土砂ノ流出ニ關シマシテノオ尋ネデアリマス。落合川ハ御承知ノ如ク土砂ノ流出多クソノ流域ハ長野、岐阜兩縣ニ跨ツテ居リマシテ到底本縣ノミノ仕事ニ依リマシテ土砂ヲ充分止メルコトガ出來ナイト云フ實狀デアリマシテ、國ニ於キマシテハ國直轄ノ事業ト致シマシテ目下落合川ノ流域ニ對シマシテ砂防工事ヲ施行中デアリマス。サウシテ根本的ニ土砂ノ流出ヲ防ガウト云フ方針ノ下ニヤツテ居リマスガ、併シ尙ホ下流ニ於キマシテ現在土砂ガ出マシテソノ流域ニ亘ツテ相當ノ被害ガアリマス。之ヲ防グト云フコトニツキマシテ年々僅カデアリマスガ修繕費ノ一部ヲ以テ致シマシテ堤防ノ保護強造、或ハ護岸ヲ設ケルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス。併シ事實現在下流ニ在ル日發ノ落合ノ堰堤ニ依ツテ直接被害ヲ蒙ル分ハ既ニ舊大同時代ニ用地買収ヲ終ツテ居ルノデアリマス。尙ホ落合ノ堰堤ニ依リマシテ眞ニ被害ヲ蒙ルト云フコトニナリマスレバ技術上ハツキリ調べマシタナラバ當然日發ニ於テ適當ニ施行スベキモノダト思ヒマス。

○參與員(地方技師伊藤千代太郎君) 十一番議員ノ御質問ノ内道路關係ノ分ヲオ答ヘ致シマス。川上

村ニ在リマスル縣道ノ附ケ替ヘノコトニツイテノオ尋ネデアリマス。現在町村道トシテソノ縣道ト稍々平行シテ少シ迂曲シタ方面ニ補助致シマシテ排水シツ、アルノデアリマシテ、ソノ線ハ現在ノ縣道ノ屈曲部ニケ所ガ除ケルヤウナ計畫ヲシテ居リマスカラソレガ出來上リマシタラ現在ノ縣道ヨリ優秀ナ縣道ガ出來ルト考ヘテ居リマス。ソレニツキマシテ竣工ノ曉ニ於テ兩者ヨリ比較致シマシテ善處致シタイト思ツテ居ル次第デアリマス。左様御諒承願ヒマス。

○議長(水野後八君) オ諮リ致シマス。質問モ大體盡キタヤウデアリマスカラ本日ノ日程全部ヲ讀會省略致シマシテ第一讀會カラ第三讀會マデ通議致シタイト思ヒマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 滿場御異議アリマセン。本日ノ日程全部ヲ通議スルコトニ決定致シマス。本日ノ日程全部ヲ特別委員九名ニ付託致シマシテ精査致シタイ。ソノ九名ノ委員ハ議長ヨリ指名致シタイト思ヒマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 御異議アリマセンカラ左様決定致シマス。四番(林銀太郎君)、十三番(遠藤英雄君)、十五番(藤岡元二郎君)、十六番(若山忠治郎君)、二十三番(小林藤介君)、二十八番(間宮成吉君)、三十一番(鷺見兼五郎君)、三十五番(二村一雄君)、三十六番(山本清之助君)以上九名ヲ指名致シマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 御異議アリマセンカラ左様決定致シマス。本日ノ日程ハ全部議了致シマシタ。明日ノ日程ハ追ツテ報告致シマス。本日ハコレデ散會致シマス。

時ニ午後二時三十四分

昭和十五年十二月十日

昭和十五年通常岐阜縣會速記錄

第拾四號

昭和十五年度通常岐阜縣會速記錄

第拾四號

昭和十五年十二月十日午前十一時三十四分開議

議事日程

- 第一 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
歲入經常部
- 第一款 國稅附加稅
- 第二款 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第三款 獨立稅
- 第三款 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第四款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第四款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第五款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第五款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第六款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算
- 第六款 昭和三十六年度岐阜縣歲入歲出豫算

第七	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第七款	使用材料及手數料	
第八	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第八款	國庫下渡金	
第九	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第九款	雜收	
第十	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
	歲入臨時部	
第十一	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第一款	繰越金	
第十二	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第二款	國庫補助金	
第十三	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第三款	國庫交付金	
第十四	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第四款	寄附金	
第十五	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第五款	財產賣拂代	

第六款	繰入金	第一讀會
第十六	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第七款	縣債	
第十七	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
	歲出經常部	
第二款	會議費	第一讀會
第十八	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第三款	縣職員費	
第十九	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第十五款	選舉費	
第二十	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第十六款	諸達書及揭示費	
第二十一	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第十七款	統計費	
第二十二	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第十八款	地方改良費	
第二十三	昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算	第一讀會
第十九款	選獎費	

- 第二十四 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十一款 財產費 第一讀會
- 第二十五 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十二款 縣廳舍修繕費 第一讀會
- 第二十六 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十三款 縣稅取扱費 第一讀會
- 第二十七 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十四款 恩給費 第一讀會
- 第二十八 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十五款 扶助費 第一讀會
- 第二十九 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十六款 豫備費 第一讀會
- 第三十 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 歲出臨時部
- 第十八款 市町村統計補助費 第一讀會
- 第三十一 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十款 町村長會補助費 第一讀會
- 第三十二 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會

- 第二十一款 地方改良協會補助費 第一讀會
- 第三十三 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第二十二款 町村吏員互助會補助費 第一讀會
- 第三十四 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第三十款 特別會計補充費 第一讀會
- 第三十五 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第三十一款 縣債費 第一讀會
- 第三十六 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第三十二款 積戻金 第一讀會
- 第三十七 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算 第一讀會
- 第三十三款 雜支 第一讀會
- 第三十八 第二號 昭和十六年度岐阜縣建物非常準備積立金歲入歲出豫算 第一讀會
- 第三十九 第三號 昭和十六年度岐阜縣公園費歲入歲出豫算 第一讀會
- 第四十 第四號 昭和十六年度岐阜縣元郡役所建物管理費歲入歲出豫算 第一讀會
- 第四十一 第七十二號 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案(道路改良費及橋梁架換費) 第一讀會
- 第四十二 第七十三號 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案(木曾川支派川改修費及河川改良費) 第一讀會

- 第四十三 第七十四號
- 第四十四 第七十五號
- 第四十五 第七十六號
- 第四十六 第七十七號
- 第四十七 第七十八號
- 第四十八 第七十九號
- 第四十九 第八十號
- 第五十 第八十一號
- 第五十一 第八十二號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(砂防費及砂防費國庫納付金)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(宮川災害改善費宮川改修費及土岐川改良費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(耕地改良小設備及小開墾事業助成費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(水害復舊事業費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(雪害復舊事業費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(荒廢林地復舊費、森林資源増殖獎勵費及林産物増産林道開設事業費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(結核療養所建築費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(御大典記念縣行造林費及用排水改良事業費)
 岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案 第一讀會
(自作農獎勵資金)

出席議員 三十三名

- 一 番 上 杉 一 枝 君
- 二 番 林 銀 太 郎 君

- 五 番 木 股 重 藏 君
- 六 番 村 澤 源 市 君
- 七 番 淺 井 三 郎 君
- 八 番 上 野 文 一 君
- 九 番 水 野 後 八 君
- 十 番 橫 山 弘 君
- 十一 番 竹 村 壽 吉 君
- 十二 番 藤 井 紳 一 君
- 十三 番 遠 藤 英 雄 君
- 十四 番 久 富 應 護 君
- 十五 番 藤 岡 元 二 郎 君
- 十六 番 若 山 忠 治 郎 君
- 十七 番 片 山 史 郎 君
- 十八 番 間 孔 太 郎 君
- 十九 番 杉 原 善 司 君
- 二十 番 長 谷 川 俊 一 君
- 二十一 番 堀 澤 乙 彦 君
- 二十三 番 小 林 藤 介 君

二十四番	駒月	巖君
二十六番	石原敏	雄君
二十七番	清水良	治君
二十八番	間宮成	吉君
三十番	清水康	二君
三十二番	鈴木政	一君
三十三番	鷺見源	四郎君
三十四番	林周一	郎君
三十五番	二村一	雄君
三十六番	山本清之	助君
三十七番	山田喜代太	郎君
三十八番	安田桑	次君
三十九番	矢崎義	一君
二番	水口周	平君
三番	向井平	七君
二十二番	白野啓	助君
二十五番	木村公	平君

缺席議員 六名

○議長(水野後八君) 開會致シマス。本日ノ會議錄署名者ヲ四番(林銀太郎君)、六番(村澤源市君)ノ兩君ニオ願ヒ致シマス。諸般ノ報告ヲ致シマス。
(書記朗讀)

岐阜縣會議長 殿

十五庶第一二八號 昭和十五年十二月十日

追加議案送付ノ件

本年通常縣會ニ提案ノ追加議案別冊ノ通及送付候

第八十三號 昭和十五年度岐阜縣歲入歲出追加豫算

第八十四號 自昭和十五年度至昭和十六年度岐阜縣雪害復舊耕地事業費繼續年期及支出方法議案

第八十五號 自昭和十五年度至昭和十六年度岐阜縣教育費繼續年期及支出方法中更正議案

第八十六號 岐阜縣起債方法利息ノ定率及償還方法議案

第八十七號 岐阜縣起債方法利息ノ定率及償還方法中更正議案

第八十八號 昭和十六年度岐阜縣歲入歲出追加豫算

第八十九號 岐阜縣起債方法并利息ノ定率及償還方法議案

岐阜縣知事

二十九番
三十一番

川瀬新一郎君
鷺見兼五郎君

○議長(水野後八君) 議案ヲ配付教シマス。

(書記配付)

○議長(水野後八君) オ諮リ致シマス。只今ノ追加豫算第八十三號カラ第八十九號マデヲ本日ノ日程ニ追加致シタイト思ヒマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 御異議アリマセンカラ本日ノ日程ニ追加致シマス。議事進行ノ都合上本日ノ追加日程、議案第八十三號カラ第八十九號マデ一括シテ議題ニ供シマス。朗讀ヲ省略致シマス。

第八十三號

昭和十五年度岐阜縣歲入歲出追加豫算

歲入

臨時部

第一款 繰越金

金壹萬參千百九拾八圓

第一項 前年度繰越金

金壹萬參千百九拾八圓

第二款 國庫補助金

金六拾八萬參千四百拾五圓

第一項 土木費補助金

金六拾四萬千百圓

第十項 雪害復舊事業費補助金

金四萬貳千參百拾五圓

第八款 縣債

金八拾五萬貳千圓

第一項 縣債

金八拾五萬貳千圓

歲入合計金百五拾四萬八千六百拾參圓

歲出

臨時部

第三款 土木費

金百拾壹萬四千參百四拾貳圓

第一項 治水堤防費

金七拾參萬千五百八拾圓

第六項 災害事務費

金五萬九千四拾八圓

第七項 道路橋梁費

金參拾貳萬參千七百拾四圓

第十一款 市町村土木補助費

金拾貳萬五千六百六拾七圓

第一項 道路橋梁費補助

金七萬五千拾五圓

第二項 治水堤防費補助

金五萬六百五拾貳圓

第廿六款 勸業費本年度支出額

金五萬參千六百五圓

第十項 雪害復舊耕地事業費

金五萬參千六百五圓

第卅四款 教育費本年度支出額

金貳拾五萬四千九百九拾九圓

第一項 大垣中學校建築費

金九萬五千八百五拾五圓

第二項 岐阜高等女學校建築費

金拾五萬九千四百拾四圓

歲出合計金百五拾四萬八千六百拾參圓

昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮野省三

第八十四號

自昭和十五年度岐阜縣雪害復舊耕地事業費繼續年期及支出方法議案

一金拾四萬六千參百貳拾五圓

雪害復舊耕地事業費

內譯

金五萬參千六百五圓

昭和十五年度支出額

金九萬貳千七百貳拾圓

昭和十六年度支出額

右ハ雪害復舊耕地事業施行ノ爲昭和十五年度ヨリニケ年度間繼續費トシテ支出スルモノトス

昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮野省三

(參照)

自昭和十五年度至昭和十六年度岐阜縣雪害復舊耕地事業費財源表

年 度	事業費支出額	財 源		費
		國庫補助金	縣 內	
昭和十五年 度	五三、六〇五	四三、三二五	一〇、二八〇	一一、二九〇
計	一四六、三三五	一一五、一〇〇	三二、二三五	一九、九三五

昭和十六年度

九二、七二〇

七三、七八五

一九、九三五

計

一四六、三三五

一一五、一〇〇

三二、二三五

第八十五號

自昭和十二年度至昭和十五年度岐阜縣教育費繼續年期及支出方法中更正議案

△印朱書

△一金拾六萬圓

大垣中學校建築費

內譯

△金八萬六千貳百九拾壹圓

昭和十二年度支出額

△金貳萬千圓

昭和十三年度支出額

△金七百九圓

昭和十四年度支出額

△金五萬貳千圓

昭和十五年度支出額

△一金拾七萬五千圓

岐阜縣高等女學校建築費

內譯

△金六萬六千五百參拾圓

昭和十二年度支出額

△金貳萬圓

昭和十三年度支出額

△金貳萬四百七拾圓

昭和十四年度支出額

△金六萬八千圓

昭和十五年度支出額

一金貳拾五萬五千八百五拾五圓

大垣中學校建築費

内 譯

金八萬六千貳百九拾壹圓

昭和十二年度支出額

金貳萬千圓

昭和十三年度支出額

金七百九圓

昭和十四年度支出額

金拾四萬七千八百五拾五圓

昭和十五年度支出額

一金參拾參萬四千四百四拾四圓

岐阜高等女學校建築費

内 譯

金六萬六千五百參拾圓

昭和十二年度支出額

金貳萬圓

昭和十三年度支出額

金貳萬四百七拾圓

昭和十四年度支出額

金貳拾貳萬七千四百四拾四圓

昭和十五年度支出額

右朱書ヲ墨書ノ通更正スルモノトス

昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮 野 省 三

第八十六號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條

災害復舊土木事業費ニ充ツル爲昭和十五年度ニ於テ金五拾九萬八千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條

本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條

本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條

本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和十九年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條

大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條

本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條

金融其他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス
 短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス
 昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮野省三

岐阜縣債償還年次表

一金五拾九萬八千圓
 但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十六年九月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十七年三月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十七年九月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十八年三月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十八年九月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十九年三月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和十九年九月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇

昭和二十年三月一日	0	0	0	一三、四五五・〇〇	一三、四五五・〇〇
昭和二十年九月一日	一四、二〇〇・〇〇	0	0	一三、四五五・〇〇	二七、六五五・〇〇
昭和二十一年三月一日	一四、五〇〇・〇〇	0	0	一三、一三五・五〇	二七、六三五・五〇
昭和二十一年九月一日	一四、八〇〇・〇〇	0	0	一二、八〇九・二五	二七、六〇九・二五
昭和二十二年三月一日	一五、二〇〇・〇〇	0	0	一二、四七六・二五	二七、六七六・二五
昭和二十二年九月一日	一五、五〇〇・〇〇	0	0	一二、一三四・二五	二七、六三四・二五
昭和二十三年三月一日	一五、八〇〇・〇〇	0	0	一一、七八五・五〇	二七、五八五・五〇
昭和二十三年九月一日	一六、二〇〇・〇〇	0	0	一一、四三〇・〇〇	二七、六三〇・〇〇
昭和二十四年三月一日	一六、六〇〇・〇〇	0	0	一一、〇六五・五〇	二七、六六五・五〇
昭和二十四年九月一日	一七、〇〇〇・〇〇	0	0	一〇、六九二・〇〇	二七、六九二・〇〇
昭和二十五年三月一日	一七、三〇〇・〇〇	0	0	一〇、三〇九・五〇	二七、六〇九・五〇
昭和二十五年九月一日	一七、七〇〇・〇〇	0	0	九、九二〇・二五	二七、六一〇・二五
昭和二十六年三月一日	一八、一〇〇・〇〇	0	0	九、五三二・〇〇	二七、六一三・〇〇
昭和二十六年九月一日	一八、五〇〇・〇〇	0	0	九、一四七・七五	二七、六一四・七五

昭和二十七年三月一日	一八,九〇〇.〇〇	八,六八八.五〇	二七,五八八.五〇
昭和二十七年九月一日	一九,四〇〇.〇〇	八,二七三.二五	二七,六七三.二五
昭和二十八年三月一日	一九,八〇〇.〇〇	七,八三六.七五	二七,六三六.七五
昭和二十八年九月一日	二〇,二〇〇.〇〇	七,三九一.二五	二七,五九一.二五
昭和二十九年三月一日	二〇,七〇〇.〇〇	六,九三六.七五	二七,六三六.七五
昭和二十九年九月一日	二一,一〇〇.〇〇	六,四七一.〇〇	二七,六七一.〇〇
昭和三十年三月一日	二一,六〇〇.〇〇	五,九九四.〇〇	二七,五九四.〇〇
昭和三十年九月一日	二二,一〇〇.〇〇	五,五〇八.〇〇	二七,六〇八.〇〇
昭和三十一年三月一日	二二,六〇〇.〇〇	五,〇一〇.七五	二七,六一〇.七五
昭和三十一年九月一日	二三,一〇〇.〇〇	四,五〇二.二五	二七,六〇二.二五
昭和三十二年三月一日	二三,六〇〇.〇〇	三,九八二.五〇	二七,五八二.五〇
昭和三十二年九月一日	二四,一〇〇.〇〇	三,四五二.五〇	二七,六五一.五〇
昭和三十三年三月一日	二四,七〇〇.〇〇	二,九〇七.〇〇	二七,六〇七.〇〇
昭和三十三年九月一日	二五,三〇〇.〇〇	二,三五二.二五	二七,六五一.二五

昭和三十四年二月一日	二五,八〇〇.〇〇	一,七六二.〇〇	二七,五八二.〇〇
昭和三十四年九月一日	二六,四〇〇.〇〇	一,二〇一.五〇	二七,六〇一.五〇
昭和三十五年三月一日	二七,〇〇〇.〇〇	六〇七.五〇	二七,六〇七.五〇
計	五九八,〇〇〇.〇〇	三三八,三九五.五〇	九三六,三九五.〇〇

第八十七號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法中更正議案

昭和十五年三月二十九日縣參事會ノ議決ヲ經タル大垣中學校及岐阜高等女學校建築費充當岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法中左ノ通更正スルモノトス

昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮 野 省 三

第一條中「金拾貳萬圓」ヲ「金參拾七萬四千圓」ニ更ム
償還年次表ヲ別紙ノ通更ム

岐阜縣債償還年次表

一金參拾七萬四千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十六年九月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十七年三月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十七年九月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十八年三月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十八年九月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十九年三月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和十九年九月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和二十年三月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和二十年九月一日				八、四一五、〇〇	八、四一五、〇〇
昭和二十一年三月一日		八、九〇〇、〇〇		八、四一五、〇〇	一七、三二五、〇〇
昭和二十一年九月一日		九、一〇〇、〇〇		八、三二四、七五	一七、三二四、七五
昭和二十二年三月一日		九、三〇〇、〇〇		八、〇一〇、〇〇	一七、三三〇、〇〇
昭和二十二年九月一日		九、五〇〇、〇〇		七、八〇〇、七五	一七、三三〇、七五
昭和二十二年九月一日		九、七〇〇、〇〇		七、五八七、〇〇	一七、三二七、〇〇

昭和二十三年三月一日		九、九〇〇、〇〇		七、三六八、七五	一七、二六八、七五
昭和二十三年九月一日		一〇、一〇〇、〇〇		七、一四六、〇〇	一七、二四六、〇〇
昭和二十四年三月一日		一〇、三〇〇、〇〇		六、九一八、七五	一七、三二八、七五
昭和二十四年九月一日		一〇、六〇〇、〇〇		六、六八四、七五	一七、二八四、七五
昭和二十五年三月一日		一〇、八〇〇、〇〇		六、四四六、二五	一七、二四六、二五
昭和二十五年九月一日		一一、一〇〇、〇〇		六、二〇三、二五	一七、三〇三、二五
昭和二十六年三月一日		一一、三〇〇、〇〇		五、九五三、五〇	一七、二五三、五〇
昭和二十六年九月一日		一一、六〇〇、〇〇		五、六九九、二五	一七、二九九、二五
昭和二十七年三月一日		一二、一〇〇、〇〇		五、四三八、二五	一七、三三八、二五
昭和二十七年九月一日		一二、三〇〇、〇〇		五、一七二、七五	一七、二二二、七五
昭和二十八年三月一日		一二、六〇〇、〇〇		四、九〇〇、五〇	一七、三〇〇、五〇
昭和二十八年九月一日		一二、九〇〇、〇〇		四、六二一、五〇	一七、三三一、五〇
昭和二十九年三月一日		一三、三〇〇、〇〇		四、三三八、〇〇	一七、三三八、〇〇
昭和二十九年九月一日		一三、七〇〇、〇〇		四、〇四七、七五	一七、二四七、七五

昭和三十年三月一日	一三,五〇〇.〇〇	三,七五〇.七五	一七,二五〇.七五
昭和三十年九月一日	一三,八〇〇.〇〇	三,四七〇.〇〇	一七,二七〇.〇〇
昭和三十一年三月一日	一四,一〇〇.〇〇	三,一三六.五〇	一七,二三六.五〇
昭和三十一年九月一日	一四,五〇〇.〇〇	二,八九三.五	一七,三一九.五
昭和三十一年三月一日	一四,八〇〇.〇〇	二,四九三.〇〇	一七,二九三.〇〇
昭和三十一年九月一日	一五,一〇〇.〇〇	二,一六〇.〇〇	一七,二六〇.〇〇
昭和三十三年三月一日	一五,五〇〇.〇〇	一,八二〇.二五	一七,三三〇.二五
昭和三十三年九月一日	一五,八〇〇.〇〇	一,四七一.五〇	一七,二七一.五〇
昭和三十四年三月一日	一六,二〇〇.〇〇	一,一六〇.〇〇	一七,三三六.〇〇
昭和三十四年九月一日	一六,五〇〇.〇〇	七五二.五〇	一七,二五二.五〇
昭和三十五年三月一日	一六,九〇〇.〇〇	三八〇.二五	一七,二八〇.二五
計	三七四,〇〇〇.〇〇	二二,一六三.七五	五八五,六三三.七五

(参照)

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

(昭和十五年三月二十九日縣參事會議決)

第一條 大垣中學校及岐阜高等女學校建築費ニ充ツル爲昭和十五年度ニ於テ金拾貳萬圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得
前項債券ノ様式ハ別ニ知事ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和十九年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス
 短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス
 (償還年次表略)

第八十八號

昭和十六年度岐阜縣歲入歲出追加豫算

歲入臨時部

第一款 繰越金 金參萬九千參百四拾七圓

第一項 前年度繰越金 金參萬九千參百四拾七圓

第二款 國庫補助金 金七萬貳千七百八拾五圓

第十項 雪害復舊事業費補助金 金七萬貳千七百八拾五圓

第七款 縣債 金壹萬九千圓

第一項 縣債 金壹萬九千圓

歲入合計 金拾參萬千百參拾貳圓

歲出臨時部

第廿七款 勸業費本年度支出額 金九萬貳千七百貳拾圓

第八項 雪害復舊耕地事業費本年度支出額 金九萬貳千七百貳拾圓

第卅一款 縣債 金參萬八千四百拾貳圓
 第二項 利息 金參萬八千四百拾貳圓
 歲出合計 金拾參萬千百參拾貳圓
 昭和十五年十二月十日提出
 岐阜縣知事 宮野省三

第八十九號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 雪害復舊耕地事業費ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金壹萬九千圓ヲ起債スルモノトス但シ工
 事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ
 屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入
 ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ
 別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ

又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限

ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債

ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十二月十日提出

岐阜縣知事 宮野省三

岐阜縣債償還年次表

一金壹萬九千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		七・二五	七・二五
昭和十七年九月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和十八年三月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇

昭和十八年九月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和十九年三月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和十九年九月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和二十年三月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和二十年九月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和二十一年三月一日		〇		四二七・五〇	四二七・五〇
昭和二十一年九月一日		四〇〇・〇〇		四二七・五〇	八二七・五〇
昭和二十二年三月一日		五〇〇・〇〇		四一八・五〇	九一八・五〇
昭和二十二年九月一日		五〇〇・〇〇		四〇七・二五	九〇七・二五
昭和二十三年三月一日		五〇〇・〇〇		三九六・〇〇	八九六・〇〇
昭和二十三年九月一日		五〇〇・〇〇		三八四・七五	八八四・七五
昭和二十四年三月一日		五〇〇・〇〇		三七三・五〇	八七三・五〇
昭和二十四年九月一日		五〇〇・〇〇		三六二・二五	八六二・二五
昭和二十五年三月一日		五〇〇・〇〇		三五一・〇〇	八五一・〇〇

昭和二十五年九月一日	五〇〇・〇〇	三三九・七五	八三九・七五
昭和二十六年三月一日	五〇〇・〇〇	三三八・五〇	八三八・五〇
昭和二十六年九月一日	六〇〇・〇〇	三二七・三五	九一七・二五
昭和二十七年三月一日	六〇〇・〇〇	三〇三・七五	九〇三・七五
昭和二十七年九月一日	六〇〇・〇〇	二九〇・三五	八九〇・三五
昭和二十八年三月一日	六〇〇・〇〇	二七六・七五	八七六・七五
昭和二十八年九月一日	六〇〇・〇〇	二六三・三五	八六三・三五
昭和二十九年三月一日	六〇〇・〇〇	二四九・七五	八四九・七五
昭和二十九年九月一日	六〇〇・〇〇	二三六・三五	八三六・三五
昭和三十年三月一日	七〇〇・〇〇	二二二・七五	九三二・七五
昭和三十年九月一日	七〇〇・〇〇	二〇七・〇〇	九〇七・〇〇
昭和三十一年三月一日	七〇〇・〇〇	一九一・三五	八九一・三五
昭和三十一年九月一日	七〇〇・〇〇	一七五・五〇	八七五・五〇
昭和三十二年三月一日	七〇〇・〇〇	一五九・七五	八五九・七五

昭和三十三年九月一日	七〇〇・〇〇	一四四・〇〇	八四四・〇〇
昭和三十三年三月一日	八〇〇・〇〇	一一八・三五	九三八・三五
昭和三十三年九月一日	八〇〇・〇〇	一一〇・三五	九一〇・三五
昭和三十四年三月一日	八〇〇・〇〇	九二・三五	八九二・三五
昭和三十四年九月一日	八〇〇・〇〇	七四・二五	八七四・二五
昭和三十五年三月一日	八〇〇・〇〇	五六・二五	八五六・二五
昭和三十五年九月一日	八〇〇・〇〇	三八・三五	八三八・三五
昭和三十六年三月一日	九〇〇・〇〇	二〇・二五	九二〇・二五
計	一九,〇〇〇・〇〇	一〇,八三七・五〇	二九,八三七・五〇

○知事(宮野省三君) 本日提出致シマシタ追加豫算ソノ他ニツキマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス。昨年末ヨリ本春ニカケテノ降雪ハ飛驒地方并ニ揖斐郡、郡上郡ノ耕地ソノ他各方面ニ亘リ相當甚大ナル被害ヲ蒙リ、又今夏六月以降五回ニ亘ル豪雨、就中六月十七日ノ東濃方面ニ於キマスル襲雨ハ局部的ナガラ近年稀ナル豪雨デアリマシテ、ソノ災禍モ亦相當甚大デアリマス。災禍ヲ受ケラレマシタ地方ノ方々ニ對シマシテハ各位ト共ニ深甚ナル同情ノ意ヲ表スルモノデアリマス。コレガ復舊ニツキマ

シテハ銃後ニ於ケル人心安定ト生産擴充ニ至大ナル影響ガアリマスノデ迅速ニ復舊ヲセシメタイト存
 ジテ居リマスルガ、道路、橋梁、堤防等ニシテ交通保安上重要且ツ緊急ヲ要スルモノハ取敢ヘズ應急
 措置ヲ講ズルト共ニ、コレガ復舊ニ關シマシテハ爾來銳意調査ヲ遂ゲ、國庫ノ補助ヲ受ケ得ラル、モ
 ノニツイテハ本省ノ検査ヲ受ケマシテ、今日略ボソノ確定ヲ見ルニ至リマシタノデ、之ニ要スル追加
 豫算并ニ起債案等ヲ提出致シマシタ次第デアリマス。ソノ内容ハ第一ニ土木費災害復舊工事ト致シマ
 シテハ、縣施行ノ事業費百五萬五千貳百九拾四圓、町村施行ノ事業ニ對スル補助費拾貳萬五千六百六
 拾七圓及是等ニ要スル事務費五萬九千四拾八圓ヲ合セテ百貳拾四萬九圓ヲ計上致シタ次第デアリマス。
 第二ハ雪害復舊耕地事業ニ對シマシテハ國庫ヨリ十五、十六ノ二ケ年ニ亘リマシテ事業費總額貳拾八
 萬九千七百五拾圓ニ對シマシテ拾壹萬五千百圓ノ補助ヲ受ケルコトニナリマシタノデ、耕地復舊事業
 ニ對シマシテ三分ノ一、公共施設復舊事業ニ對シマシテ五割程度ノ補助ヲスルコト、致シマシテ、指
 導監督費合セテ十五年度五萬參千六百五圓、十六年度九萬貳千七百貳拾圓ヲ計上致シタノデアリマス。
 次ニ大垣中學校及岐阜高等女學校ノ建築ニ關シマシテハ昭和十一年通常縣會ニ於テ總工費參拾貳萬圓
 ヲ以テ昭和十二年度ヨリ二ケ年繼續事業トシテ改築スルコトニ御決議ヲ願ヒマシテ、爾來銳意工事ノ
 進捗ニ努力シ來ツタノデアリマスガ、時恰モ支那事變ノ勃發ニ際會致シマシテ、物資ノ關係、起債抑
 制等ニヨリマシテ進捗上ニ齟齬ヲ來シマシテ、止ムナク事業ノ繰延ヲ致シマシタ。又敷地關係ニヨリ
 マシテ地元ヨリ壹萬五千圓ノ寄附ヲ得マシタノデ、之ヲ追加致シマシテ、結局參拾參萬五千圓ノ工事
 費ト致シマシテ昭和十二年度ヨリ十五年度ニ至リ四ケ年事業トシテ現在ニ至ツタノデアリマス。併ナ

ガラ物資ノ昂騰ニ依リマシテ既定計畫ヲ以テシテハ到底豫定工事ノ遂行ヲ期スルコト能ハザルノ實狀
 ニ在リマスノデコノ際貳拾五萬四千九百九拾九圓ヲ追加セントスルモノデアリマス。以上ハ事業ノ大
 要デアリマスガ、コレガ財源ハ十五年度ニ於キマシテハ國庫補助金六拾八萬參千四百拾五圓ヲ豫定致
 シマシテ、八拾五萬貳千圓ヲ縣債ニ求メ、又十六年度ニ於キマシテハ國庫補助金七萬貳千七百八拾五
 圓ヲ見込ミマシテ、壹萬九千圓ヲ縣債ニ求メントスルモノデアリマス。何卒慎重御審議ノ上適當ナル
 御決議アラントヲオ願ヒ致ス次第デアリマス。

○議長(水野後八君) オ諮リ致シマス。議事進行ノ都合上休憩致シタイト存ジマス。御異議アリマセ
 ンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(水野後八君) 然ラバ休憩致シマス。

時ニ午前十一時四十三分

同日午後二時三十六分引續キ開議

出席議員 三十四名

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 番 | 上 | 杉 | 一 | 枝 |
| 二 | 番 | 向 | 井 | 平 | 七 |
| 三 | 番 | 林 | 銀 | 太 | 郎 |
| 四 | 番 | | | | |

欠席議員 五名

六番	二番	三十九番	三十八番	三十七番	三十六番	三十五番	三十四番	三十三番	三十二番	三十一番	三十番	二十八番	二十七番	二十六番	二十五番
村澤源市君	水口周平君	矢崎義一君	安田桑次君	山田喜代太郎君	山本清之助君	二村一雄君	林周一郎君	鷺見源四郎君	鈴木政一君	鷺見兼五郎君	清水康二君	間宮成吉君	清水良治君	石原敏雄君	木村公平君

二十四番	二十三番	二十二番	二十一番	二十番	十九番	十八番	十七番	十六番	十五番	十三番	十二番	十一番	九番	八番	七番	五番
駒月巖君	小林藤介君	白野啓助君	堀澤乙彦君	長谷川俊一君	杉原善司君	間孔太一郎君	片山史郎君	若山忠治郎君	藤岡元二郎君	遠藤英雄君	藤井紳一君	竹村壽吉君	水野後八君	上野文一君	淺井三郎君	木股重藏君

十番	横山	弘君
十四番	久富	應護君
二十九番	川瀬	新一君

參與員	地方事務官	山本	暉君
	同	羽生謙一	郎君
	道路主事	岩島利	六君
	地方農林技師	石川房	吉君

○議長(水野後八君) 開會致シマス。午前中ニ議題ニ致シマシタ追加豫算ヲ一括上程シテ第一讀會ヲ開キマス。ソレカラ會議錄署名者六番(村澤源市君)ガ欠席ニツキ七番(淺井三郎君)ヲ追加指名致シマス。

(議長退席、副議長代行ス)

副議長(木股重藏君) 代行政シマス。本日ノ日程ノ内容ノ説明ヲ承リマス。

○參與員(道路主事岩島利六君) 先刻上程ニナリマシタ土木關係ノ災害復舊追加豫算ニツキマシテハ長官ヨリ御説明ニナリマシタ通りデアリマスガ、私ヨリ稍々詳細ナル内容ヲ款項目ニ依リマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス。歳出臨時部第三款土木費第一項治水堤防費第四目堤防復築費ハ金七拾壹萬千五百九拾參圓デアリマシテ、ソノ内ニハ國庫ノ補助ヲ受ケル工事費金六拾七萬六千百圓、ソノ箇所

數百二十九箇所、縣費ノミヲ以テ施行スルモノ參萬五千四百九拾參圓、コノ箇所數三十箇所デアリマス。御承知ノ通り災害復舊工事ニツキマシテハ國庫ノ補助ヲ受ケ得ラレルモノニハ種々ノ條件ガアルノデアリマス。取分ケ一ヶ所五百圓以上ノモノデナケレバナライノデアリマス。五百圓未滿ノ箇所ニシテ緊急已ムヲ得ザル災害ニツキマシテハ縣費單獨デ復舊スル必要ガアルノデアリマス。是等ノモノヲ選ビマシテ前述ノ通り計上シタノデアリマス。以下申上ゲマスル項目ニツキマシテモソレト同様ノ意味ノモノト御承知願ヒタイノデアリマス。第五目砂防復築費壹萬九千九百八拾七圓、箇所數四ヶ所デアリマシテ、全部國庫補助ヲ伴フモノバカリデアリマス。第六項災害事務費五萬九千四拾八圓ハ只今申上ゲマシタ第一項ノ治水堤防費、ソレト後ニ申シマスル第七項道路橋梁費及第十一款市町村土木補助費等復舊工事ニ要シマスル事務費デアリマシテ、大體工事費ノ百分ノ五ヲ從來ノ慣例ニ依リマシテ計上致シマシタ。第七項道路橋梁費第一目道路復築費貳拾九萬壹千八百參拾五圓ノ内デ國庫ノ補助ヲ受ケマスルモノ貳拾四萬五千貳圓、コノ箇所數百二十九ヶ所、縣費ノミヲ以テ復舊スルモノ金四萬六千八百參拾參圓、箇所數百三十六ヶ所デアリマス。第二目橋梁復築費參萬壹千八百七拾九圓、國庫ノ補助ヲ受ケマスルモノ貳萬參千九百六拾九圓、箇所數十五ヶ所、縣費ノミヲ以テ施行スルモノ七千九百拾圓、箇所數十七ヶ所デアリマス。次ニ第十一款市町村土木補助費第一項道路橋梁費補助第二目道路橋梁復舊費補助金七萬五千拾五圓ノ内、七萬貳千五百六拾九圓、箇所數四十四ヶ所ハ國庫ノ補助ヲ伴フモノデアリマシテ、金貳千四百四拾六圓、箇所數十一ヶ所ハ縣費ノミデ補助スルモノデアリマス。第二項治水堤防費補助第二目治水堤防復築費補助五萬六千五百五拾貳圓ノ内ニハ國庫補助ヲ伴フモ

ノ四萬七千九百八拾貳圓、箇所數三十五ヶ所、縣費ノミヲ以テ補助スルモノ貳千六百七拾圓、箇所數十二ヶ所デアリマス。以上申上ゲマシタ市町村土木補助ハ總テ補助金ノミヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソノ工事費ハ國庫ノ補助ヲ伴フモノ拾八萬五千四百六拾四圓、縣費ノミヲ以テ補助スルモノ壹萬貳百參拾貳圓デアリマス。即チ國庫補助ヲ伴フモノハ六割五分ノ補助ヲ爲シ、縣費ノミノモノハ五割ノ補助ヲ致ス考ヘデアリマス。以上デ大要ヲ申上ゲタノデアリマス。尙ホ御質問等ガアリマスレバ詳細ニオ答ヘ申上ゲマス。

○參與員(地方農林技師石川房吉君) 只今上程ニナツテ居リマスル追加豫算ノ内、耕地課關係ノモノニツイテ簡單ニ御説明申上ゲマス。大體先刻長官ヨリ御説明ガアリマシタノデ御諒承ノコト、思ヒマスカラ極メテ簡單ニ申上ゲマス。第二十六款勸業費本年度支出額第十項第一目雪害復舊耕地事業費五萬參千六百五圓デアリマス。前年ノ暮カラ本年ノ春ニカケマシテ飛驒三郡并ニ郡上、揖斐郡ノ方面ニ於キマシテ相當雪害ガアリマシタノデ、縣ト致シマシテ早速コレガ詳細ナ調査ヲ致シマシテ本省ニ國庫補助ノ申請ヲ致シテ居リマシタ所、今般貳拾八萬九千七百五拾圓ノ事業費ヲ認メルコトニナリマシタ。ソレヲ十五年度、十六年度ノ二ヶ年間ニ施行スルコトニ決定致シマシタ。此ニ在リマスル五萬參千六百五圓ハ十五年度ノ復舊費ニ對スル補助デアリマシテ備考ニ在リマスル通り耕地事業費ニ對シマスル壹萬參千四百參拾七圓ノ三分ノ一ノ補助四千七百九拾圓、公共施設復舊事業費八萬七千四百五拾圓ニ對シマシテ五割ノ補助四萬參千七百貳拾五圓、尙ホ是等ノ事業ニ對スル指導監督費五千九拾圓ヲ計上致シマシタ。耕地復舊事業費ニ對シマシテ國庫ノ方デ三分ノ一ノ補助ヲスルコトニナツテ居リマス。

公共施設ニ對シマシテハ四割ノ國庫補助ガアリマシテ、ソレト縣費一割ヲ加算致シマシテ五割ト致シマシタ。指導監督費ニ對シマシテ國庫カラ五割助成サレマスルノデ後ノ五割ハ縣費デ負擔スルコトニナツテ居リマス。次ニ第八十四號自昭和十五年度至昭和十六年度岐阜縣雪害復舊耕地事業費繼續年期及支出方法議案、拾四萬六千參百貳拾五圓雪害復舊耕地事業費、コレハ只今申上ゲマシタ通り十五年度ト十六年度ニ施行スルコトニナリマシタノデソレニ對スル補助ヲ致スノデアリマス。ソノ繼續年期及支出方法ノ設定デアリマス。次ハ第八十八號議案歲出臨時部第二十七款勸業費本年度支出額、第八項第一目雪害復舊耕地事業費九萬貳千七百貳拾圓、コレハ只今申上ゲマシタ十六年度ノ補助ヲ申請スル助成金額ヲ計上致シマシタ。ソノ内容ニツイテハ十五年度ノ分ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマス。コレデ大體説明ヲ終リマス。

○參與員(地方事務官羽生謙一郎君) 議案第八十三號第三十四款教育費本年度支出額ニツキマシテ先程長官ヨリ御説明ガアリマシタノデアリマスガ、昭和十一年度ノ通常縣會ニ於キマシテ大垣中學校改築費拾五萬圓、ソレカラ岐阜高等女學校改築費拾七萬圓、合計參拾貳萬圓ヲ以テマシテ、昭和十二、十三ノ兩年度ノ繼續事業ト致シマシテ御決議ヲ經マシテ、コノ改築工事ノ進捗ニ努メテ來シマタノデアリマスガ、岐阜高等女學校ノ移轉改築敷地ノ決定ト、ソレカラ支那事變ノ影響ニヨリマシテ諸物資ノ需要調整或ハ起債ノ抑制等ノ爲ニ事業ニ支障ヲ來シマシタノデ、十三年十月ノ縣參事會ニ於テ繼續年期十二、十三、十四年度ノ三ヶ年繼續費ニ變更ヲ願ヒ致シマスルト共ニ、大垣中學校ノ校地擴張費トシテ大垣市ヨリ壹萬圓ヲ、岐阜高等女學校ノ改築費トシテ岐阜市ヨリ五千圓ヲ、合計壹萬五千圓

ヲ新タニ寄附ノ申出ガアリマシタノデ、之ヲ追加致シマシテ、大垣中學校改築費ヲ拾六萬圓、岐阜高等女學校改築費ノ拾七萬五千圓、合計參拾參萬五千圓ト云フコトニ支出方法ノ更正ヲ願ヒ致シマシタノデアリマス。十四年ノ七月、岐阜高等女學校ノ移轉改築敷地モ岐阜市雲雀丘ヲ市ヨリ提供致サレマシタノデコノ工事ニ着手致シマシタ。前ニ申上ゲマシタヤウニ時局ノ關係ニヨリマシテ年度内ニ完成ガ覺東ナイ狀況ニナリマシタノデ、昭和十五年三月ノ參事會ニ於キマシテ繼續年及支出方法ノ更正ヲ願ヒマシテ、十二、十三、十四、十五ノ四ヶ年繼續事業ト致シマシタヤウナ實狀デアリマス。御決議ヲ願ヒマシタ大垣中學校改築費拾六萬圓、岐阜高等女學校改築費拾七萬五千圓、合計參拾參萬五千圓ヲ以チマシテハソノ後ノ狀況ノ變化ニヨリマシテ物價モ騰貴致シ、又工賃等モ昂騰致シマシテ、當初ノ計畫通りノ工事ガ如何ニシテモ完遂至難トナリマシタノデアリマスルガ、漸クニシテソノ内デ御決議ヲ願ヒマシタ豫算ヲ以チマシテ大垣中學校教室十九室、校長室、事務室、會議室、職員室、應接室等、延建坪千百九拾七坪ヲ完成致シマシタ。岐阜高等女學校ハ教室二十二室、校長室、職員室、應接室、會議室、講堂移轉等、延建坪千參百六十八坪ヲ建設致シマシタ次第デアリマス。今回提案致シマシタ大垣中學校ノ改築費九萬五千八百五拾五圓ハ之ヲ以チマシテ特別教室八室、運動器具等、并ニ是等ニ伴ヒマスル給水排水設備、周圍ノ柵、門、地均シ工事、化學實驗室ソノ他教室ノ諸設備等ニ要スル經費ニ充テルノデアリマス。又岐阜高等女學校改築工事費拾五萬九千四百四拾四圓ノ追加豫算ハ之ヲ以チマシテ特別教室十室、生徒昇降口、體育館、等、并ニ之等ニ伴ヒマスル電氣給水排水、瓦斯設備、周圍ノ柵、門、化學實驗室ソノ他教室ノ諸設備ニ要スル經費ニ充テルノデアリマス。尙ホ第八

十五號自昭和十二年度至昭和十五年岐阜縣教育費繼續年及支出方法中更正議案デアリマスガ、コレハ右ノ追加豫算ニ伴ヒマシテ更正ヲ要シマスルノデ茲ニ提出致シタヤウナ次第デアリマス。

○參與員(地方事務官山本暉君) 私ヨリ本追加豫算ニ關係致シマスル所ノ歳入關係及歳入ニ關聯致シマシタ議案ニツキマシテ御説明申上ゲマス。歳入臨時部第一款繰越金、大體コノ追加豫算ノ財源ハ國庫補助金ト起債トニ俟ツタノデアリマス。只ダ起債致シマスルト端數ノ金額ガ出マスルノデ、又起債ニ依リ難イモノガアリマスノデコノ部分ヲ繰越金ヲ以テコ、ニ壹萬參千百九拾八圓ヲ計上シタ次第デアリマス。次ニ第二款國庫補助金第一項土木費補助金、第十款雪害復舊事業費補助金、コレハ他ノ參與員カラ御説明ニナリマシタ國庫補助金ガ參リマシタノデ、ソノ金額ヲソレト計上致シマシタ。次ハ第八款縣債第一項縣債ニ於キマシテ八拾五萬貳千圓ヲ計上致シマシタノハ災害復舊土木事業費、大垣中學校及岐阜高等女學校ノ建築費ニ關スル縣債ノ合計ヲ此ニ計上致シマシタ。次ニ第八十六號議案デアリマスガ、コレハ災害復舊土木事業費ニ充テル爲ニ昭和十五年度ニ於テ五拾九萬八千圓ヲ起債致シマスルニツキマシテ、ソノ起債方法及償還方法ノ議案デアリマス。コレハ從前ノ例ニ依リマシテ大體掲ゲタモノデアリマス。次ニ第八十七號議案デアリマス。コレハ大垣中學校及岐阜高等女學校ノ建築費ノ起債方法ト償還方法ノ更正デアリマシテ、十五年度ハ拾貳萬圓ノ起債ヲ貳拾五萬四千圓追加致シマシテ、合計參拾七萬四千圓ニ更メル更正議案デアリマス。次ハ第八十八號昭和十六年度岐阜縣歳入歳出追加豫算、歳入臨時部第一款繰越ニツイテハ前ニ申シ上ゲマシタ通り雪害復舊工事費ノ起債ニ依リ難イ端數ノ金額ト、ソレカラ前ニ御説明申上ゲマシタ十五年度ノ縣債ニ關スル利子、之ヲ繰

越金ニ依ルコトニ致シマシテコ、ニ計上致シタ次第デアリマス。第二款國庫補助金、コレハ耕地復舊事業費ノ十六年度ニ關シマスル補助金ヲコ、ニ計上致シマシタ次第デアリマス。第七款縣債、コレハ雪害復舊耕地事業費ノ十六年度分ノ縣債額ヲ此ニ計上致シマシタ。第三十一款縣債費、コレハ參萬八千四百拾貳圓デアリマシテ本追加豫算ノ十五年度ノ縣債八拾五萬貳千圓ノ利子ト、十六年度ノ縣債壹萬九千圓ノ壹ヶ月分ノ利子ノ合計額ヲ計上致シマシタ。次ニ第八十九號議案、コレハ雪害復舊耕地事業費壹萬九千圓ノ起債及償還方法ニ關スル議案デアリマシテ、コレモ從前ノ通りノ方法ヲ提出致シマシタ。

○二十五番(木村公平君) 本日ノ追加豫算ノ内、大垣中學校及岐阜高等女學校ニ關シマスル追加豫算ニツイテ疑問ガアリマスカラ一言オ伺ヒ致シマス。先程ノ御説明ニ依ルト昭和十一年ノ當初豫算デハ大垣中學校ノ建築資金ハ拾五萬圓デアリ、岐阜高等女學校ノ方ハ拾七萬圓デアルト聞及ンデ居リマス然ルニソノ後地元寄附金ガアリマシテ、大垣中學校壹萬圓、岐阜高等女學校カラ五千圓ノ寄附ヲ求メラレタノデアリマス。隨ヒマシテ拾六萬圓并ニ拾七萬五千圓ノ建築資金ヲ今日ノ追加豫算ト比較致シマスト、大垣中學校ノ方ハ貳拾五萬五千八百五拾五圓トナリマシテ九萬五千八百五拾五圓ノ増加ニナツテ居リマス。岐阜高等女學校ノ方ハ拾七萬五千圓ト比較致シマスト參拾參萬四千四百拾四圓デアリマスカラ差引拾五萬九千四百拾四圓ノ増加ト相成ツテ居リマス。之ヲ比率ニ取ツテ見マスト、大垣中學校ハ五割九分九厘ノ増加デアリマシテ岐阜高等女學校ノ方ハ九割一分デアリマス。同ジモノガ一方ニ於テ五割九分九厘デアリマシテ他方ニ於テ九割一分ト云フコトハ私解ラナイノデアリマスカラ御説明ヲ願ヒマス。

○參與員(地方事務官羽生謙一郎君) 只今ノ御疑問デアリマスガ、本日追加豫算ト致シマシテ提出致シマシタル金額ハ總テ最少限度ニ於キマシテ大垣中學校并ニ岐阜高等女學校ノ設備ヲ完成致シマスル爲ニ必要ナ限度ヲ計上シタ譯デアリマス。ソノ内デオ尋ネノ岐阜高等女學校ノ方ハ増加ノ割合ガ多イト云フ點デアリマスガ、大垣中學校ノ追加豫算ニツキマシテハ先程他ノ參與員ヨリ御説明申上ゲマシタ通りソノ財源ヲ起債ニ仰イデ居ル關係デ、ソノ内ノ必要ナル——理想的ニ考ヘマスレバ必要デアルト考ヘラレル設備ノ一部ヲ餘儀ナク建築ヲ取止メタヤウナ次第モアリマシテ、ソノ邊デ多少大垣中學校ノ方ニ於キマシテハ割合ガ減少シタカトモ考ヘラレルノデアリマスガ、更ニソノ外ニ岐阜高等女學校ニ於キマシテハ別ノ場所ニ移轉新築スルト云フ關係モアルノデアリマシテ、是等ノ點カラ致シマシテ岐阜高等女學校ノ方ガ割合ガ多イト云フ點モアルノデアリマシテ、ソレモ已ムヲ得ナイト考ヘルノデアリマス。併ナガラ大垣中學校ニ於キマシテハ縣ト致シマシテモ充分考慮致シマシテ茲ニ提出シタ次第デアリマスカラ教育上支障無イモノト考ヘテ居リマス。

○二十五番(木村公平君) 只今ノ御説明ニ私嫌ナイノデアリマス。長官ノ追加豫算ノ説明要旨ニ依リマスト、物價ノ昂騰ニ依リ既定經費ヲ以テハ到底豫定工事ノ遂行ヲ期スルコト能ハザル實情ニアルノデ、コノ際貳拾五萬四千九百九拾九圓ヲ追加セントスルモノデアルトアルノデアリマス。然ルニ只今ノ御説明デハ大垣中學校ノ増加率ハ五割九分九厘、岐阜高等女學校ノ方ハ九割一分デアリマスガ、ソノ開キト云フモノハ物價ノ昂騰ノミニ依ツタノデナイ。既定經費ヲ以テ到底豫定ノ工事ノ遂行ヲ期ス

ルコトが出来ナイト云フノ大垣中學校ダケニ削減ナサル、必要ナモノヲ削減シテ、岐阜ノ高等女學校ハ削減ナサラナイ。更ニ又他ニ於テハ岐阜ノ高等女學校ハ移轉デアルカラ増加率ガ殖エタノデアルト云ハレマスガ、ソレダケデハ解ラナイノデアリマス。移轉ノ内ノ建築費ノ上ニ於テドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ。併セテ序ニオ伺ヒ致シマスガ、例ノ寄附金デアリマス。大垣ハ壹萬圓出シ、岐阜高等女學校ハ五千圓デヨイト云フコトノ基礎モオ伺ヒ致シタイ。

○参與員(地方事務官山本暉君) 私カラ申上ゲマス。只今ノ御質問ニ依リマス、大垣ノ方ハ同ジヤウナ物價ノ昂騰デアレバ同ジヤウナ比率ニヨツテ金額ヲ増加シナケレバナラヌノニ拘ハラズ、大垣ガ少ク岐阜ノ方ガ多イノハドウ云フ譯カト云フ御質問ノヤウデアリマス。コレハ大垣中學校ニ於テハ現地改築デアリマシテ、大體今マデノ工事ノ遂行ニ依ルト金ノカ、リマスル分ハ既ニ出来上ツテ居リマス。後カラヤル現在金ノカ、ルノハ割ニ少イ。岐阜高女ノ方ハコレカラ新築スルモノデアリマスカラ金額ノ高ニ於テソレト相違ガアルノデアリマシテ、追加豫算ハソレニ依ツテ經費ヲ見タノデアリマス。別ニ必ズシモ物價ノ昂騰ト比例ニ依ツテ金額ヲ計上シタノデナイノデアリマス。

○二十五番(木村公平君) 只今ノ御説明デハ解ラナイノデアリマス。同ジヤウニ起工致シマシテ、御承知ノ通り昭和十一年ノ通常縣會ニ於テ總工費參拾貳萬圓ヲ以テ昭和十二年度ヨリ二ケ年繼續事業トシテ改築スルコトニ決メタノデアリマス。随ツテ同ジヤウニ起工シテ同ジヤウナ方法ヲ以テ同ジヤウナ人員ヲ以テヤリカケタモノガ、斯ノ如ク結果ニ於テ大キナ開キガアルト云フコトハ、何カ若シ建築ノ方法ニ多少齟齬デモ來シタヤウナ事實デモアルノデアリマスカ、一寸ソノコトモ伺ヒタイ。ソレカラ金

額ハ大垣ト岐阜ト建築方法ガ違フ、現地改築スルノト新築スルノト方法ガ違フ、随ツテ根本的ニ金額ガ違フノデアルカラ追加豫算デモ金額ガ相違スルト云フコトデアリマスガ、建築方法ハ特別ニ岐阜高女ト違フト云フコトハナイノデアリマス。私ノ申上ゲタノハ金額ノ相違デナク比率ノ問題デアリマス。金額ノ相違ハヨク判ツテ居リマス。比率ニツキマシテ只今ノ御説明ニヨルト大垣中學校ハ既ニ金目ノ多イモノハ、物價ノ昂騰甚シイモノハ當初ニ建テタト云フコトニナツテ、岐阜高女ハ遅カツタ。随ツテ昂騰率ガ違フト云フト云フ御説明ニ承ツテ宜シイノデアリマスカ。

○参與員(地方事務官山本暉君) 比率ガ違フト云フノハ今私ガ説明致シマシタヤウニ、同ジヤウニ同ジ工事デアリマスレバ同ジ比率デ金額ガ追加サレナケレバナラナイノデアリマスガ、併シ工事ガ違フノデアリマシテ、大垣ノ方ハ現在有ル材料ヲ使フ譯デアリマス。岐阜ノ方ノ材料ハ全然新シク買フ譯デアリマス。随ツテソコニ金額ノ比率ノ相違ヲ來スノデアリマス。必ズシモ同ジ比率デ豫算ヲ計上シナケレバナラヌト云フ譯ヂヤナイト思ヒマス。

○二十五番(木村公平君) 解リマシタ。先キノ寄附金ノ相違ノ基礎ト云フモノハドウナリマスカ、先程質問致シマシタ寄附金ノ相違ノ基礎ニツイテマダヨク解ラナイノデアリマス。

○参與員(地方事務官山本暉君) 今オ尋ネノハ敷地ノ金額デスカ。

○二十五番(木村公平君) 昭和十一年ノ當初豫算デハ大垣中學校ノ建築資金ガ拾五萬圓ニナツテ居リマシテ、岐阜高等女學校ノ方ハ拾七萬圓ニナツテ居ツタト承知シテ居リマス。ソレカラ後寄附ヲ求めラレルニ際シマシテ大垣ハ矢張り建築資金トシテ壹萬圓差上ゲタノデハナイカト思ヒマス。岐阜ノ高

等女學校ハ建築資金トシテ五千圓出シタト思ヒマス。隨ヒマシテソノ結果大垣中學校ハ拾六萬圓、岐阜高等女學校ハ拾七萬五千圓デアリマス。然ルニ今日貳拾五萬五千八百五拾五圓ト參拾參萬四千四百四拾四圓トナツタノデアリマス。ソノ寄附金ノ相違ノ基礎デアリマス。

○**參與員(地方事務官山本暉君)** 最初ノ大垣カラノ寄附金ノ壹萬圓ハ建築費デ何カ校地ノ擴張費ニ寄附シテ頂イタノデアリマス。同ジヤウニ岐阜市ニ於キマシテモ校地ノ擴張ト申シマスルカ、校地ガ必要デアルカラ之ニ寄附ヲ頂クコトニナツテ居ルノヲ岐阜市デハ土地ヲ現物デ寄附ヲ頂イテ居ル譯デアリマス。ソレデアリマスカラソノ邊ガ違ツテ來テ居リマス。

○**二十五番(木村公平君)** 大垣モ現物デ差上ゲタノデアリマス。

○**參與員(地方事務官山本暉君)** 大垣ノ方ハ金額デ頂イタノデアリマス。別ニ茲ニ差別ヲシタト云フ意味デナイノデアリマス。同ジヤウニ寄附ヲ頂キマシテヤツテ居ルノデアリマス。

○**二十五番(木村公平君)** モウ宜シウゴザイマス。

○**議長(水野後八君)** 御質疑アリマセンカ、オ諮リ致シマス。本日ノ只今上程ニナツテ居リマスル追加豫算全部ヲ第一讀會ヨリ第三讀會マデ通議致シタイト思ヒマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○**議長(水野後八君)** 然ラバ通議スルコトニ決定致シマス。サウ致シマシテ之ヲ各款別ニ各特別委員ニ分ケマシテ審査致シタイト思ヒマス。尙ホソノ委員數ハ議長ニオ任セ願フコト。委員モ議長ヨリ指名致シマスルコトニ御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○**議長(水野後八君)** 然ラバ左様決定致シマス。指名致シマス。議案第八十三號歳入臨時部第一款、第二款、第八款、議案第八十六號、議案第八十七號、即チ財務關係ハ七名ノ特別委員ニ附託致シマス。ソノ委員ハ十二番(藤井紳一君)、十四番(久富應護君)、二十二番(白野啓助君)、二十六番(石原敏雄君)、三十七番(山田喜代太郎君)、三十九番(矢崎義一君)、ソレカラ九番(水野後八)、以上ノ七名ヲ指名致シマス。次ハ議案第八十三號歳出臨時部第三款、第十一款、即チ土木費關係、コレハ前ニ決算認定ユツイテ特別委員ヲ指名致シマシタ際ノ土木費關係ノ特別委員即チ二十三番(小林藤介君)外八名、ソノ九名ノ方ヲ指名致シマス。ソノ次ハ議案第八十三號歳出臨時部第二十六款、議案第八十四號、即チ勸業費關係、コレモ前ノ決算認定ノ際ノ特別委員ガアリマスカラ、ソノ勸業費關係ノ特別委員即チ二十九番(川瀬新一君)外八名、ソノ九名ノ方ヲ指名致シマス。ソレカラ議案第八十三號歳出臨時部第三十四款、議案第八十五號、即チ教育費關係、コレモ前ニ決算認定ノ特別委員ガ決定シテ居リマスカラソノ教育費關係ノ特別委員即チ二十七番(清水良治君)外六名、ソノ七名ノ委員ノ方ヲ指名致シマス。御異議アリマセンカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○**議長(水野後八君)** 然ラバ左様決定致シマス。

○**議長(水野後八君)** 引續キ豫メ御通知シテ居リマスル本日ノ日程ニ戻リマシテ第一ヨリ第五十一マデ一括シテ歳入關係ノ豫算全部ヲ上程致シマス。第一讀會ヲ開キマス。尙ホ朗讀ヲ省略致シマス。

第一號

昭和十六年度岐阜縣歲入歲出豫算

歲入

經常部

第一款	國稅附加稅	金百貳拾五萬六千六百九拾四圓
第一項	地租附加稅	金四拾七萬四千九百參拾八圓
第二項	營業稅附加稅	金七拾七萬八百四拾七圓
第三項	鑛區稅附加稅	金壹萬九百九圓
第二款	獨立稅	金百貳拾六萬七千貳拾壹圓
第一項	船舶別稅	金五千百壹圓
第二項	船舶稅	金拾貳圓
第三項	自動車稅	金九萬九百貳拾圓
第四項	電柱稅	金拾五萬貳千七百八拾參圓
第五項	不動產取得稅	金貳拾八萬七千四百七拾壹圓
第六項	漁業權稅	金七百六拾七圓
第七項	狩獵者稅	金六千七百五拾壹圓

第八項 藝妓稅
 第九項 家屋稅
 第三款 目的稅

金九萬八千參百五拾貳圓
 金六拾貳萬四千八百六拾四圓
 金貳萬千六百六拾七圓

第四款 地方分與稅
 第一項 還付稅
 第二項 配付稅

金四百八拾九萬貳千四百四拾貳圓
 金百拾四萬四千六百八拾九圓
 金參百七拾四萬七千七百五拾參圓
 金五拾四萬千七百貳拾四圓

第五款 舊法ニ依ル稅收入
 第一項 地租附加稅

金參百參拾壹圓

第二項 營業收益稅附加稅

金貳拾七萬四百八拾八圓

第三項 所得稅附加稅

金貳拾五萬五千參拾壹圓

第四項 家屋稅

金貳百貳拾貳圓

第五項 營業稅

金參拾九圓

第六項 車稅

金貳百參圓

第七項 不動產取得稅

金貳百拾六圓

第八項 都市計畫特別稅

金壹萬五千九拾四圓

第六款 財產收入

金參萬參千五百四拾參圓

第一項	不動產收入	金貳千百參拾七圓
第二項	動產收入	金壹圓
第三項	株券配當金	金參萬千四百五圓
第七款	使用材料及手數料	金百五拾參萬九千八百拾四圓
第一項	使用料	金百拾八萬九千七百五拾六圓
第二項	手數料	金拾參圓
第三項	證紙收入	金參拾壹萬六千八拾九圓
第四項	診療所藥價及往診料	金參萬參千七拾八圓
第五項	保健所患者處置料	金八百七拾八圓
第八款	國庫下渡金	金貳百參拾六萬七千九百八拾八圓
第一項	警察費下渡金	金四拾八萬五千八百七拾貳圓
第二項	義務教育費下渡金	金百八拾八萬貳千百拾五圓
第三項	補償費下渡金	金壹圓
第九款	雜收入	金參拾四萬九千五百六拾五圓
第一項	納付金	金五萬四千八百五拾九圓
第二項	懲罰及沒收金	金六拾五圓
第三項	辨償金	金千五百六拾五圓

第四項	物品賣拂代	金拾四萬八千九百七拾圓
第五項	縣金庫運用金利息	金壹萬七千圓
第六項	延滯金	金貳千七百五拾參圓
第七項	過年度收入	金壹圓
第八項	分擔金收入	金拾貳萬四百八拾四圓
第九項	決算後戻入金	金千七百六拾七圓
第十項	雜入	金貳千百壹圓

經常部計金千貳百貳拾七萬四百五拾八圓

臨時部

第一款	綠越金	金參萬六千圓
第一項	前年度綠越金	金參萬六千圓
第二款	國庫補助金	金貳百五拾參萬六千八百七拾五圓
第一項	土木費補助金	金五拾貳萬參千圓
第二項	衛生費補助金	金七萬九千五百六拾七圓
第三項	教育費補助金	金拾萬九千百六拾圓
第四項	勸業費補助金	金百九萬貳千九百九拾貳圓
第五項	耕地擴張改良事業費補助金	金九千八百壹圓

第六項	農村經濟更生施設費補助金	金拾九萬八千九百貳拾貳圓
第七項	社會事業費補助金	金壹萬七千七百參圓
第八項	統計費補助金	金貳萬貳千五百七拾七圓
第九項	水害復舊事業費補助金	金參拾四萬百八拾六圓
第十項	雪害復舊事業費補助金	金拾貳萬四千九百八圓
第十一項	軍事費補助金	金參千五拾九圓
第十二項	都市計畫事業費補助金	金壹萬五千圓
第三款	國庫交付金	金千五百圓
第一項	選舉公營費交付金	金千五百圓
第四款	寄附金	金參拾四萬六千六百七拾貳圓
第一項	教育費寄附金	金壹萬千六百四拾七圓
第二項	土木費寄附金	金拾貳萬八千九百七拾八圓
第三項	勸業費寄附金	金四萬千九百四拾九圓
第四項	縣債費寄附金	金四萬四千七百四拾六圓
第五項	地方改良費寄附金	金千百五拾八圓
第六項	營繕職員費寄附金	金參千參百參拾參圓
第七項	都市計畫事業費寄附金	金貳萬四千五百圓

第八項	一般經費寄附金	金九萬參百六拾壹圓
第五款	財產賣拂代	金九萬五千壹圓
第一項	不動產賣拂代	金九萬五千圓
第二項	動產賣拂代	金壹圓
第六款	繰入金	金拾八萬五千五百六拾七圓
第一項	繰入金	金拾八萬五千五百六拾七圓
第七款	縣債	金百六拾七萬貳千圓
第一項	縣債	金百六拾七萬貳千圓

臨時部計金四百八拾七萬參千六百拾五圓
歲入合計金千七百拾四萬四千七拾參圓

經常部

第二款	會議費	金四萬千八百五拾七圓
第一項	縣會議費	金參萬六百貳拾六圓
第二項	縣參事會費	金壹萬千貳百參拾壹圓
第三款	縣職員費	金拾六萬七千貳百九拾六圓
第一項	俸給	金八萬六千八百七拾貳圓

第二項	諸給	金五萬千七百六拾九圓
第三項	廳費	金貳萬八千六百五拾四圓
第四項	行政執行費	金壹圓
第十五款	選舉費	金貳萬參千七百貳拾壹圓
第一項	衆議院議員選舉費	金貳萬參千七百貳拾壹圓
第二項	縣會議員選舉費	金參圓
第十六款	諸達書及揭示費	金七千貳百八拾七圓
第一項	諸達書及揭示費	金七千貳百八拾七圓
第十七款	統計費	金壹萬千五百六拾九圓
第一項	統計費	金壹萬千五百六拾九圓
第十八款	地方改良費	金千八百八拾九圓
第一項	地方改良費	金千八百八拾九圓
第十九款	選獎費	金千五百圓
第一項	選獎費	金千五百圓
第二十二款	財產費	金參千參百九拾四圓
第一項	維持費	金參千貳百參圓
第二項	管理費	金百九拾壹圓

第二十三款	縣應舍修繕費	金參千百九拾七圓
第一項	縣應舍修繕費	金參千百九拾七圓
第二十三款	縣稅取扱費	金拾四萬八千五百參拾貳圓
第一項	徵收費	金拾四萬六千九百拾貳圓
第二項	獎勵費	金千六百貳拾圓
第二十四款	恩給費	金拾貳萬七百六拾壹圓
第一項	恩給費	金拾貳萬七百六拾壹圓
第二十五款	扶助費	金壹萬參千五百七拾四圓
第一項	扶助費	金壹萬參千五百七拾四圓
第二十六款	豫備費	金參萬五千圓
第一項	豫備費	金參萬五千圓

臨時部

第十八款	市町村統計補助費	金貳萬五千參百九拾九圓
第一項	市町村統計補助費	金貳萬五千參百九拾九圓
第二十款	町村長會補助費	金七百圓
第一項	町村長會補助費	金七百圓

第三十款	特別會計補充費	金百貳拾萬貳千七百五拾六圓
第三十九款	第一項 小學校教員恩給金補充	金七拾貳萬八千八百貳拾壹圓
	第二項 小學校教員加俸資金補充	金四萬八千參百五拾七圓
	第三項 公立學校職員年功加俸資金補充	金七萬七千八百貳拾八圓
	第四項 育英基金補充	金五百圓
	第五項 恩賜兒童就學獎勵資金補充	金參百圓
	第六項 恩賜男女青年團體事業獎勵資金補充	金千五百貳拾五圓
	第七項 自作農獎勵資金補充	金九千貳百五拾六圓
	第八項 修鍊農場費補充	金四千七百八拾四圓
	第九項 陶磁器試驗場作業資金補充	金貳千七拾五圓
	第十項 縣有林經營費補充	金千八百圓
	第十一款 上野平開墾幹線改良事業費補充	金貳萬五千四百四拾貳圓

第三十二款	地方改良協會補助費	金四百貳拾五圓
第三十三款	第一項 地方改良協會補助	金四百貳拾五圓
	第二項 町村吏員互助會補助費	金參千圓
	第三項 町村吏員互助會補助	金參千圓
第三十四款	積 辰 金	金貳萬九千五百五拾貳圓
	第一項 元 金 積 辰	金壹萬圓
	第二項 利 子	金壹萬九千五百五拾貳圓
	第三項 雜 費	金壹萬四千參百九拾五圓
第三十五款	支 出	金壹萬參千八拾九圓
	第一項 過年度縣稅拂辰	金壹萬參千八拾九圓
	第二項 過年度追拂	金千參百六圓

昭和十六年度岐阜縣建物非常準備積立金歲入歲出豫算

第三號		昭和十六年度岐阜縣公園費歲入歲出豫算	
第一款	積立金收入	金壹萬六千貳百四拾五圓	
第二項	益	金壹萬參千六百六拾六圓	
第三項	雜收	金壹圓	
第四項	繰越收入	金貳千五百七拾八圓	
第一款	積立金支出	金壹萬六千貳百四拾五圓	
第一項	管理費	金壹萬千八百八拾圓	
第二項	積立金	金四千圓	
第三項	豫備費	金參百六拾五圓	
昭和十五年十一月十九日提出		岐阜縣知事	宮野省三
第一款	公園費收入	金六千百九拾貳圓	
第一項	公園收入	金五千百貳拾五圓	

第二項		繰越金		金千六拾七圓
第一款		公園費支出		金六千百九拾貳圓
第一項	經營費	金六千百六圓		
第二項	豫備費	金八拾六圓		
昭和十五年十一月十九日提出		岐阜縣知事	宮野省三	
第四號		昭和十六年度岐阜縣元郡役所建物管理費歲入歲出豫算		
第一款	歲入	金參千五百七拾六圓		
第一項	貸付料	金貳千七百六拾圓		
第二項	補充金	金八百拾四圓		
第三項	雜收	金壹圓		
第四項	繰越收入	金壹圓		
第一款	歲出	金參千五百七拾六圓		
元郡役所建物管理費支出		金參千五百七拾六圓		

第一項 管理費 金八百拾六圓
 第二項 維持費 金貳千七百六拾圓

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

第七十二號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 道路改良費及橋梁架換費（內譯別表）ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金五拾六萬八千圓ヲ起債スルモノトス 但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以內トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ

又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出 岐阜縣知事 宮野省三

起債目的 起債金額

道路改良費 五拾萬圓

橋梁架換費 六萬八千圓

計 五拾六萬八千圓

岐阜縣債償還年次表

一金五拾六萬八千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日				二,一三〇.〇〇	二,一三〇.〇〇
昭和十七年九月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和十八年三月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和十八年九月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和十九年三月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和十九年九月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和二十年三月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和二十年九月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和二十一年三月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和二十一年九月一日				一,二七六.〇〇	一,二七六.〇〇
昭和二十二年三月一日		一三,八〇〇.〇〇		一,二四七.六二五	二六,二七六.二五
昭和二十二年九月一日		一四,一〇〇.〇〇		一,二一六.五七五	二六,二六五.七五
昭和二十三年三月一日		一四,四〇〇.〇〇		一,一八四.八五〇	二六,二四八.五〇

昭和二十三年九月一日		一四,七〇〇.〇〇		一,一五二.四五〇	二六,二三四.〇〇
昭和二十四年三月一日		一五,〇〇〇.〇〇		一,一一九.三七五	二六,一九三.七五
昭和二十四年九月一日		一五,四〇〇.〇〇		一,〇八五.六二五	二六,二五六.二五
昭和二十五年三月一日		一五,七〇〇.〇〇		一,〇五〇.九七五	二六,二〇九.七五
昭和二十五年九月一日		一六,一〇〇.〇〇		一,〇一五.六五〇	二六,二五六.五〇
昭和二十六年三月一日		一六,四〇〇.〇〇		九,七九四.二二五	二六,一九四.二五
昭和二十六年九月一日		一六,八〇〇.〇〇		九,四三五.二二五	二六,二二五.二五
昭和二十七年三月一日		一七,二〇〇.〇〇		九,〇四七.二二五	二六,二四七.二五
昭和二十七年九月一日		一七,六〇〇.〇〇		八,六六〇.二二五	二六,二六〇.二五
昭和二十八年三月一日		一八,〇〇〇.〇〇		八,二六四.二二五	二六,二六四.二五
昭和二十八年九月一日		一八,四〇〇.〇〇		七,八五九.二二五	二六,二五九.二五
昭和二十九年三月一日		一八,八〇〇.〇〇		七,四四五.二二五	二六,二四五.二五
昭和二十九年九月一日		一九,二〇〇.〇〇		七,〇三三.二二五	二六,二三三.二五
昭和三十年三月一日		一九,六〇〇.〇〇		六,五九〇.二二五	二六,一九〇.二五

昭和三十年九月一日	110,100.00	六,149.35	二六,三四九.35
昭和三十一年三月一日	110,500.00	五,697.00	二六,一九七.00
昭和三十一年九月一日	111,000.00	五,235.75	二六,三三五.75
昭和三十二年三月一日	111,500.00	四,783.35	二六,二六三.35
昭和三十二年九月一日	112,000.00	四,329.50	二六,二七九.50
昭和三十三年三月一日	112,400.00	三,874.50	二六,一八四.50
昭和三十三年九月一日	113,000.00	三,380.50	二六,二八〇.50
昭和三十四年三月一日	113,500.00	二,873.00	二六,二六三.00
昭和三十四年九月一日	114,000.00	二,334.35	二六,三三四.35
昭和三十五年三月一日	114,500.00	一,694.35	二六,一九四.35
昭和三十五年九月一日	115,100.00	1,143.00	二六,二四三.00
昭和三十六年三月一日	115,700.00	56.25	二六,二七八.25
計	568,000.00	33,592.00	八九1,592.00

第七十三號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 木曾川支派川改修費及河川改良費（内譯別表）ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金貳拾壹萬七千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年

限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス
 前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス
 短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス
 昭和十五年十一月十九日提出
 岐阜縣知事 宮野省三

別表

起債目的 起債金額
 木曾川支派川改修費 七萬圓
 河川改良費 拾四萬七千圓
 計 貳拾壹萬七千圓

岐阜縣債償還年次表

一金貳拾壹萬七千圓
 但年利率四分五厘

債還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年九月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和十七年三月一日	〇	〇	〇	八、一三七・五 ^円	八、一三七・五 ^円

昭和十八年三月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和十八年九月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和十九年三月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和十九年九月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和二十年三月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和二十年九月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和二十一年三月一日	〇	〇	〇	四、八八二・五〇	四、八八二・五〇
昭和二十一年九月一日	〇	五、一〇〇・〇〇 ^円	〇	四、八八二・五〇	九、九八二・五〇
昭和二十二年三月一日	〇	五、三〇〇・〇〇	〇	四、七六七・七五	一〇、〇六七・七五
昭和二十二年九月一日	〇	五、四〇〇・〇〇	〇	四、六四八・五〇	一〇、〇四八・五〇
昭和二十三年三月一日	〇	五、五〇〇・〇〇	〇	四、五二七・〇〇	一〇、〇二七・〇〇
昭和二十三年九月一日	〇	五、六〇〇・〇〇	〇	四、四〇三・二五	一〇、〇〇三・二五
昭和二十四年三月一日	〇	五、七〇〇・〇〇	〇	四、二七七・二五	九、九七七・二五
昭和二十四年九月一日	〇	五、九〇〇・〇〇	〇	四、一四九・〇〇	一〇、〇四九・〇〇

昭和二十五年三月一日	六,000.00	四,016.25	10,016.25
昭和二十五年九月一日	六,100.00	三,881.25	九,981.25
昭和二十六年三月一日	六,300.00	三,740.00	10,040.00
昭和二十六年九月一日	六,400.00	三,601.25	10,001.25
昭和二十七年三月一日	六,600.00	三,458.25	10,058.25
昭和二十七年九月一日	六,700.00	三,309.75	10,009.75
昭和二十八年三月一日	六,900.00	三,159.00	10,059.00
昭和二十八年九月一日	七,000.00	三,003.75	10,003.75
昭和二十九年三月一日	七,200.00	二,846.25	10,046.25
昭和二十九年九月一日	七,300.00	二,684.25	九,984.25
昭和三十年三月一日	七,500.00	二,520.00	10,020.00
昭和三十年九月一日	七,700.00	二,351.25	10,051.25
昭和三十一年三月一日	七,800.00	二,178.00	九,978.00
昭和三十一年九月一日	八,000.00	二,001.25	10,001.25

昭和三十三年三月一日	八,200.00	一,823.50	10,023.50
昭和三十三年九月一日	八,400.00	一,638.00	10,038.00
昭和三十三年三月一日	八,600.00	一,449.00	10,049.00
昭和三十三年九月一日	八,800.00	一,255.50	10,055.50
昭和三十四年三月一日	九,000.00	一,057.50	10,057.50
昭和三十四年九月一日	九,200.00	855.00	10,055.00
昭和三十五年三月一日	九,400.00	648.00	10,048.00
昭和三十五年九月一日	九,600.00	436.50	10,036.50
昭和三十六年三月一日	九,800.00	220.50	10,020.50
計	二一七,000.00	一三三,六六八.25	三四〇,六六八.25

第七十四號

岐阜縣起債方法及並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 砂防費及砂防費國庫納付金(内譯別表)ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金拾五萬千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ

得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ

屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入

ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ

別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ

又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年

限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期

債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

別表

起債目的 起債金額

砂防費 拾萬九千圓

砂防費國庫納付金 四萬貳千圓

計 拾五萬千圓

岐阜縣債償還年次表

一金拾五萬千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日	〇			五六六・三五	五六六・三五
昭和十七年九月一日	〇			三、三九七・五〇	三、三九七・五〇
昭和十八年三月一日	〇			三、三九七・五〇	三、三九七・五〇
昭和十八年九月一日	〇			三、三九七・五〇	三、三九七・五〇
昭和十九年三月一日	〇			三、三九七・五〇	三、三九七・五〇

昭和十九年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十一年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十一年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十二年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十二年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十三年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十三年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十四年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十四年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十五年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十五年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十六年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十六年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十七年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十七年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十八年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十八年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十九年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和二十九年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十一年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十一年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十二年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十二年九月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇
昭和三十三年三月一日			三,三九七.五〇	三,三九七.五〇

昭和二十六年九月一日	四,五〇〇.〇〇	二,五〇二.〇〇	七,〇〇二.〇〇
昭和二十七年三月一日	四,六〇〇.〇〇	二,四〇〇.七五	七,〇〇〇.七五
昭和二十七年九月一日	四,七〇〇.〇〇	二,二九七.二五	六,九九七.二五
昭和二十八年三月一日	四,八〇〇.〇〇	二,一九一.五〇	六,九九一.五〇
昭和二十八年九月一日	四,九〇〇.〇〇	二,〇八三.五〇	六,九八三.五〇
昭和二十九年三月一日	五,〇〇〇.〇〇	一九七三.二五	六,九七三.二五
昭和二十九年九月一日	五,一〇〇.〇〇	一,八六〇.七五	六,九六〇.七五
昭和三十年三月一日	五,二〇〇.〇〇	一,七四六.〇〇	六,九四六.〇〇
昭和三十年九月一日	五,三〇〇.〇〇	一,六三九.〇〇	七,〇二九.〇〇
昭和三十一年三月一日	五,四〇〇.〇〇	一,五〇七.五〇	七,〇〇七.五〇
昭和三十一年九月一日	五,五〇〇.〇〇	一,三八三.七五	六,九八三.七五
昭和三十二年三月一日	五,六〇〇.〇〇	一,二五七.七五	六,九五七.七五
昭和三十二年九月一日	五,七〇〇.〇〇	一,一三九.五〇	七,〇二九.五〇
昭和三十三年三月一日	五,八〇〇.〇〇	九九六.七五	六,九九六.七五

昭和三十三年九月一日	六、一〇〇・〇〇	八六二・七五	六九六・七五
昭和三十四年三月一日	六三〇〇・〇〇	七三四・五〇	七〇三・五〇
昭和三十四年九月一日	六三〇〇・〇〇	五八二・七五	六八八・七五
昭和三十五年三月一日	六四〇〇・〇〇	四四一・〇〇	六八四・〇〇
昭和三十五年九月一日	六五〇〇・〇〇	二九七・〇〇	六七七・〇〇
昭和三十六年三月一日	六七〇〇・〇〇	一五〇・七五	六八五・七五
計	一五、一〇〇・〇〇	八五、八七〇・五〇	三三六、八七〇・五〇

第七十五號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 宮川災害改修費、宮川改修費及土岐川改良費（内譯別表）ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金五萬六千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省 三

別表

起債目的	起債金額
宮川災害改修費	五千圓
宮川改修費	貳萬六千圓
土岐川改良費	貳萬五千圓
計	五萬六千圓

岐阜縣債償還年次表

一金五萬六千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		二一〇.〇〇	二一〇.〇〇
昭和十七年九月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和十八年三月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和十八年九月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和十九年三月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和十九年九月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇

昭和二十年三月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和二十年九月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和二十一年三月一日		〇		一,二六〇.〇〇	一,二六〇.〇〇
昭和二十一年九月一日		一,三〇〇.〇〇		一,二六〇.〇〇	二,五六〇.〇〇
昭和二十二年三月一日		一,三〇〇.〇〇		一,三三〇.七五	二,五三〇.七五
昭和二十二年九月一日		一,四〇〇.〇〇		一,三〇一.五〇	二,六〇一.五〇
昭和二十三年三月一日		一,四〇〇.〇〇		一,一七〇.〇〇	二,五七〇.〇〇
昭和二十三年九月一日		一,四〇〇.〇〇		一,一三八.五〇	二,五三八.五〇
昭和二十四年三月一日		一,五〇〇.〇〇		一,一〇七.〇〇	二,六〇七.〇〇
昭和二十四年九月一日		一,五〇〇.〇〇		一,〇七三.三五	二,五七三.三五
昭和二十五年三月一日		一,六〇〇.〇〇		一,〇三九.五〇	二,六三九.五〇
昭和二十五年九月一日		一,六〇〇.〇〇		一,〇〇三.五〇	二,六〇三.五〇
昭和二十六年三月一日		一,六〇〇.〇〇		九六七.五〇	二,五六七.五〇
昭和二十六年九月一日		一,七〇〇.〇〇		九三一.五〇	二,六三一.五〇

昭和二十七年三月一日	1,300.00	八九三.三五	二,五九三.三五
昭和二十七年九月一日	1,300.00	八五五.〇〇	二,五五五.〇〇
昭和二十八年三月一日	1,800.00	八一六.七五	二,六一六.七五
昭和二十八年九月一日	1,800.00	七七六.三五	二,五七六.三五
昭和二十九年三月一日	1,900.00	七三五.七五	二,六三五.七五
昭和二十九年九月一日	1,900.00	六九三.〇〇	二,五九三.〇〇
昭和三十年三月一日	1,200.00	六五〇.三五	二,五五〇.三五
昭和三十年九月一日	2,000.00	六〇七.五〇	二,六〇七.五〇
昭和三十一年三月一日	2,000.00	五六二.五〇	二,五六二.五〇
昭和三十一年九月一日	2,100.00	五二七.五〇	二,六一七.五〇
昭和三十三年三月一日	2,100.00	四七〇.三五	二,五七〇.三五
昭和三十三年九月一日	2,100.00	四三三.〇〇	二,六一三.〇〇
昭和三十三年三月一日	2,100.00	三七三.五〇	二,五七三.五〇
昭和三十三年九月一日	2,300.00	三三四.〇〇	二,六三四.〇〇

第七十六號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 耕地改良小設備及小開墾事業助成費ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金貳拾壹萬四千圓ヲ起債
 スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ
 得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

昭和三十四年三月一日	2,300.00	二七三.三五	二,五七三.三五
昭和三十四年九月一日	2,300.00	二二〇.五〇	二,六一〇.五〇
昭和三十五年三月一日	2,300.00	一六五.〇〇	二,五一六.五〇
昭和三十五年九月一日	2,500.00	一二五.〇〇	二,六一二.五〇
昭和三十六年三月一日	2,500.00	五六.三五	二,五五六.三五
計	五六,〇〇〇.〇〇	三一,八八九.五〇	八七,八八九.五〇

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出
 岐阜縣知事 宮野省三

一金貳拾壹萬四千圓
 但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		八〇二・五〇	八〇二・五〇
昭和十七年九月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和十八年三月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和十八年九月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和十九年三月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和十九年九月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和二十年三月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和二十年九月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和二十一年三月一日		〇		四、八一五・〇〇	四、八一五・〇〇
昭和二十一年九月一日		五、一〇〇・〇〇		四、八一五・〇〇	九、九一五・〇〇
昭和二十二年三月一日		五、一〇〇・〇〇		四、七〇〇・二五	九、九〇〇・二五
昭和二十二年九月一日		五、三〇〇・〇〇		四、五八三・二五	九、八八三・二五
昭和二十三年三月一日		五、四〇〇・〇〇		四、四六四・〇〇	九、八六四・〇〇

昭和二十三年九月一日	五,五〇〇.〇〇	四,三四三.五〇	九,八四二.五〇
昭和二十四年三月一日	五,七〇〇.〇〇	四,二一八.七五	九,九一八.七五
昭和二十四年九月一日	五,八〇〇.〇〇	四,〇九〇.五〇	九,八九〇.五〇
昭和二十五年三月一日	五,九〇〇.〇〇	三,九六〇.〇〇	九,八六〇.〇〇
昭和二十五年九月一日	六,一〇〇.〇〇	三,八三七.二五	九,九二七.二五
昭和二十六年三月一日	六,二〇〇.〇〇	三,六九〇.〇〇	九,八九〇.〇〇
昭和二十六年九月一日	六,三〇〇.〇〇	三,五五〇.五〇	九,八五〇.五〇
昭和二十七年三月一日	六,五〇〇.〇〇	三,四〇八.七五	九,九〇八.七五
昭和二十七年九月一日	六,六〇〇.〇〇	三,二六三.五〇	九,八六三.五〇
昭和二十八年三月一日	六,八〇〇.〇〇	三,一一四.〇〇	九,九一四.〇〇
昭和二十八年九月一日	六,九〇〇.〇〇	二,九六一.〇〇	九,八六一.〇〇
昭和二十九年三月一日	七,一〇〇.〇〇	二,八〇五.七五	九,九〇五.七五
昭和二十九年九月一日	七,二〇〇.〇〇	二,六四六.〇〇	九,八四六.〇〇
昭和三十年三月一日	七,四〇〇.〇〇	二,四八四.〇〇	九,八八四.〇〇

昭和三十年九月一日	七,六〇〇.〇〇	二,三二七.五〇	九,九一七.五〇
昭和三十一年三月一日	七,七〇〇.〇〇	二,一四六.五〇	九,八四六.五〇
昭和三十一年九月一日	七,九〇〇.〇〇	一,九七三.二五	九,八七三.二五
昭和三十二年三月一日	八,一〇〇.〇〇	一,七九五.五〇	九,八九五.五〇
昭和三十二年九月一日	八,三〇〇.〇〇	一,六一三.二五	九,九一三.二五
昭和三十三年三月一日	八,五〇〇.〇〇	一,四二六.五〇	九,九二六.五〇
昭和三十三年九月一日	八,七〇〇.〇〇	一,二三五.二五	九,九三五.二五
昭和三十四年三月一日	八,八〇〇.〇〇	一,〇三九.五〇	九,八三九.五〇
昭和三十四年九月一日	九,〇〇〇.〇〇	八四一.五〇	九,八四一.五〇
昭和三十五年三月一日	九,二〇〇.〇〇	六三九.〇〇	九,八三九.〇〇
昭和三十五年九月一日	九,五〇〇.〇〇	四三三.〇〇	九,九三三.〇〇
昭和三十六年三月一日	九,七〇〇.〇〇	二二八.二五	九,九一八.二五
計	二一四,〇〇〇.〇〇	一一一,九二四.五〇	三三五,九三四.五〇

第七十七號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 水害復舊事業費(内譯別表)ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金拾萬五千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス
 前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス
 第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得
 前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム
 第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス
 第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得
 第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス
 第六條 本縣債元金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス
 第七條 金融其他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債

ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス
 前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス
 短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス
 昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

起債目的 起債金額

水害復舊耕地事業費 九萬七千圓
 水害荒廢林地復舊事業費 八千圓
 計 拾萬五千圓

岐阜縣債償還年次表

一金拾萬五千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		三九三七五 ^円	三九三七五 ^円
昭和十七年九月一日		〇		二、三六二五〇	二、三六二五〇
昭和十八年三月一日		〇		二、三六二五〇	二、三六二五〇

昭和十八年九月一日		〇	二,三六二.五〇	二,三六二.五〇
昭和十九年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十一年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十二年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十三年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十四年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十五年九月一日		〇	二,三六三.五〇	二,三六三.五〇
昭和二十六年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一八七.八七五	四,八七八.七五	四,八七八.七五
昭和二十七年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一八二.一二五	四,八一三.二五	四,八一三.二五
昭和二十八年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一七四.三七五	四,八四三.七五	四,八四三.七五
昭和二十九年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一六七.四〇〇	四,八七四.〇〇	四,八七四.〇〇
昭和三十年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一六〇.一二〇	四,九〇三.〇〇	四,九〇三.〇〇
昭和三十一年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一五二.七七五	四,八二七.七五	四,八二七.七五
昭和三十二年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一四五.三五〇	四,八五三.五〇	四,八五三.五〇
昭和三十三年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一三七.七〇〇	四,八七七.〇〇	四,八七七.〇〇
昭和三十三年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一三九.八二五	四,八九八.二五	四,八九八.二五
昭和三十年三月一日	三,六〇〇.〇〇	一,二一七.三五	四,八一七.二五	四,八一七.二五
昭和三十一年三月一日	三,七〇〇.〇〇	一,一三六.三五	四,八三六.三五	四,八三六.三五
昭和三十一年九月一日	三,八〇〇.〇〇	一,〇五三.〇〇	四,八五三.〇〇	四,八五三.〇〇
昭和三十一年九月一日	三,九〇〇.〇〇	九六七.五〇	四,八六七.五〇	四,八六七.五〇
昭和三十三年三月一日	四,〇〇〇.〇〇	八七九.七五	四,八七九.七五	四,八七九.七五

昭和二十五年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一八七.八七五	四,八七八.七五	四,八七八.七五
昭和二十六年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一八二.一二五	四,八一三.二五	四,八一三.二五
昭和二十六年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一七四.三七五	四,八四三.七五	四,八四三.七五
昭和二十七年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一六七.四〇〇	四,八七四.〇〇	四,八七四.〇〇
昭和二十七年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一六〇.一二〇	四,九〇三.〇〇	四,九〇三.〇〇
昭和二十八年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一五二.七七五	四,八二七.七五	四,八二七.七五
昭和二十八年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一四五.三五〇	四,八五三.五〇	四,八五三.五〇
昭和二十九年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一三七.七〇〇	四,八七七.〇〇	四,八七七.〇〇
昭和二十九年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一三九.八二五	四,八九八.二五	四,八九八.二五
昭和三十年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一,二一七.三五	四,八一七.二五	四,八一七.二五
昭和三十年九月一日	三,〇〇〇.〇〇	一,一三六.三五	四,八三六.三五	四,八三六.三五
昭和三十一年三月一日	三,八〇〇.〇〇	一,〇五三.〇〇	四,八五三.〇〇	四,八五三.〇〇
昭和三十一年九月一日	三,九〇〇.〇〇	九六七.五〇	四,八六七.五〇	四,八六七.五〇
昭和三十三年三月一日	四,〇〇〇.〇〇	八七九.七五	四,八七九.七五	四,八七九.七五

昭和三十三年九月一日	四、一〇〇・〇〇	七六九・七五	四、八八九・七五
昭和三十三年三月一日	四、二〇〇・〇〇	六九七・五〇	四、八九七・五〇
昭和三十三年九月一日	四、三〇〇・〇〇	六〇三・〇〇	四、九〇三・〇〇
昭和三十四年三月一日	四、三〇〇・〇〇	五〇六・二五	四、八〇六・二五
昭和三十四年九月一日	四、四〇〇・〇〇	四〇九・五〇	四、八〇九・五〇
昭和三十五年三月一日	四、五〇〇・〇〇	三〇五・〇〇	四、八一〇・五〇
昭和三十五年九月一日	四、六〇〇・〇〇	二〇九・二五	四、八〇九・二五
昭和三十六年三月一日	四、七〇〇・〇〇	一〇五・七五	四、八〇五・七五
計	一〇五、〇〇〇・〇〇	五九、八〇七・二五	一六四、八〇七・二五

第七十八號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 雪害復舊耕地事業費ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金參萬五千圓ヲ起債スルモノトス但シ工
事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ
屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入
ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ
別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ
又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限
ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債
ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省 三

岐阜縣債償還年次表

一金參萬五千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		一三一・三五 ^四	一三一・三五 ^四
昭和十七年九月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和十八年三月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和十八年九月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和十九年三月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和十九年九月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和二十年三月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和二十年九月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和二十一年三月一日		〇		七八七・五〇	七八七・五〇
昭和二十一年九月一日	八〇〇・〇〇			七八七・五〇	一、五八七・五〇

昭和二十二年三月一日	八〇〇・〇〇			七七一・七五	一、五七一・七五
昭和二十二年九月一日	九〇〇・〇〇			七五三・七五	一、六五三・七五
昭和二十三年三月一日	九〇〇・〇〇			七三三・五〇	一、六三三・五〇
昭和二十三年九月一日	九〇〇・〇〇			七二三・二五	一、六一三・二五
昭和二十四年三月一日	九〇〇・〇〇			六九三・〇〇	一、五九三・〇〇
昭和二十四年九月一日	九〇〇・〇〇			六七二・七五	一、五七二・七五
昭和二十五年三月一日	一、〇〇〇・〇〇			六五二・五〇	一、六五二・五〇
昭和二十五年九月一日	一、〇〇〇・〇〇			六三〇・〇〇	一、六三〇・〇〇
昭和二十六年三月一日	一、〇〇〇・〇〇			六〇七・五〇	一、六〇七・五〇
昭和二十六年九月一日	一、〇〇〇・〇〇			五八五・〇〇	一、五八五・〇〇
昭和二十七年三月一日	一、〇〇〇・〇〇			五六二・五〇	一、五六二・五〇
昭和二十七年九月一日	一、〇〇〇・〇〇			五三七・七五	一、六三七・七五
昭和二十八年三月一日	一、〇〇〇・〇〇			五一三・〇〇	一、六一三・〇〇
昭和二十八年九月一日	一、〇〇〇・〇〇			四八八・二五	一、五八八・二五

昭和二十九年三月一日	1,100.00	四六三.五〇	一,六六三.五〇
昭和二十九年九月一日	1,100.00	四三六.五〇	一,六三六.五〇
昭和三十年三月一日	1,100.00	四〇九.五〇	一,六〇九.五〇
昭和三十年九月一日	1,100.00	三八二.五〇	一,六八二.五〇
昭和三十一年三月一日	1,100.00	三五三.二五	一,六五三.二五
昭和三十一年九月一日	1,100.00	三二四.〇〇	一,六二四.〇〇
昭和三十二年三月一日	1,100.00	二九四.七五	一,五九四.七五
昭和三十二年九月一日	1,100.00	二六五.五〇	一,六六五.五〇
昭和三十三年三月一日	1,100.00	二三四.〇〇	一,六三四.〇〇
昭和三十三年九月一日	1,100.00	二〇二.五〇	一,六一三.五〇
昭和三十四年三月一日	1,100.00	一七一.〇〇	一,五七一.〇〇
昭和三十四年九月一日	1,100.00	一三九.五〇	一,六三九.五〇
昭和三十五年三月一日	1,100.00	一〇五.七五	一,六〇五.七五
昭和三十五年九月一日	1,100.00	七二.〇〇	一,五七二.〇〇

昭和三十六年三月一日	1,600.00	三八二.五	一,六三八.二五
計	三五,000.00	110,055.75	五五,055.75

第七十九號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 荒廢林地復舊費、森林資源増殖獎勵費及林産物増産林道開設事業費（内譯別表）ニ充ツル爲
昭和十六年度ニ於テ金貳拾貳萬七千圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ
全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス
前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス
第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得
前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム
第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ
屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入
ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス
第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ
別紙償還年次表ノ通償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償
還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

別表

起債目的 起債金額

荒廢林地復舊費 拾壹萬四千圓

森林資源増殖獎勵費 六萬四千圓

林産物増産林道開設事業費 四萬九千圓

計 貳拾貳萬七千圓

岐阜縣債償還年次表

一金貳拾貳萬七千圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日		〇		八五・二五	八五・二五
昭和十七年九月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和十八年三月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和十八年九月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和十九年三月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和十九年九月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和二十年三月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和二十年九月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和二十一年三月一日		〇		五、一〇七・五〇	五、一〇七・五〇
昭和二十一年九月一日		五、四〇〇・〇〇		五、一〇七・五〇	一〇、五〇七・五〇
昭和二十二年三月一日		五、五〇〇・〇〇		四、九八六・〇〇	一〇、四八六・〇〇
昭和二十二年九月一日		五、六〇〇・〇〇		四、八六三・三五	一〇、四六三・三五
昭和二十三年三月一日		五、七〇〇・〇〇		四、七三六・三五	一〇、四三六・三五

昭和二十三年九月一日	五,九〇〇.〇〇	四,六〇八.〇〇	一〇,五〇八.〇〇
昭和二十四年三月一日	六,〇〇〇.〇〇	四,四七五.二五	一〇,四七五.二五
昭和二十四年九月一日	六,一〇〇.〇〇	四,三〇〇.二五	一〇,四〇〇.二五
昭和二十五年三月一日	六,三〇〇.〇〇	四,二〇三.〇〇	一〇,五〇三.〇〇
昭和二十五年九月一日	六,四〇〇.〇〇	四,〇六一.二五	一〇,四六一.二五
昭和二十六年三月一日	六,六〇〇.〇〇	三,九一七.二五	一〇,五一七.二五
昭和二十六年九月一日	六,七〇〇.〇〇	三,七六八.七五	一〇,四六八.七五
昭和二十七年三月一日	六,九〇〇.〇〇	三,六八八.〇〇	一〇,五八八.〇〇
昭和二十七年九月一日	七,〇〇〇.〇〇	三,四六三.七五	一〇,四六三.七五
昭和二十八年三月一日	七,一〇〇.〇〇	三,三〇五.二五	一〇,五〇五.二五
昭和二十八年九月一日	七,三〇〇.〇〇	三,一四三.二五	一〇,四三三.二五
昭和二十九年三月一日	七,五〇〇.〇〇	二,九七九.〇〇	一〇,四七九.〇〇
昭和二十九年九月一日	七,七〇〇.〇〇	二,八一〇.二五	一〇,五一一〇.二五
昭和三十年三月一日	七,九〇〇.〇〇	二,六三七.〇〇	一〇,五三七.〇〇

昭和三十年九月一日	八,〇〇〇.〇〇	二,四五九.二五	一〇,四五九.二五
昭和三十一年三月一日	八,二〇〇.〇〇	二,二七九.二五	一〇,四七九.二五
昭和三十一年九月一日	八,三〇〇.〇〇	二,〇九四.七五	一〇,四九四.七五
昭和三十二年三月一日	八,六〇〇.〇〇	一,九〇五.七五	一〇,五〇五.七五
昭和三十三年九月一日	八,八〇〇.〇〇	一,七二二.二五	一〇,五二二.二五
昭和三十三年三月一日	九,〇〇〇.〇〇	一,五三四.二五	一〇,五三四.二五
昭和三十三年九月一日	九,二〇〇.〇〇	一,三二一.七五	一〇,五二一.七五
昭和三十四年三月一日	九,三〇〇.〇〇	一,一〇四.七五	一〇,五〇四.七五
昭和三十四年九月一日	九,六〇〇.〇〇	八九三.二五	一〇,四九三.二五
昭和三十五年三月一日	九,八〇〇.〇〇	六七七.二五	一〇,四七七.二五
昭和三十五年九月一日	一〇,〇〇〇.〇〇	四五六.七五	一〇,四五六.七五
昭和三十六年三月一日	一〇,三〇〇.〇〇	二二一.七五	一〇,五二一.七五
計	二二七,〇〇〇.〇〇	一一九,三三三.五〇	三五六,三三三.五〇

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 結核療養所建築費ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金參萬圓ヲ起債スルモノトス但シ工事又ハ財政ノ都合ニ依リ起債額ノ全部又ハ一部ヲ翌年度ニ繰延起債スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ縣債ハ大藏省預金部資金其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月一日及三月一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 大藏省預金部資金ヨリ起債スル場合ニ於ケル元利支拂ノ時期ハ其ノ融通條件ニ從フモノトス

第六條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第七條 金融其ノ他經濟界ノ狀況ニ依リ本縣債ノ起債時期適當ナラザルトキハ知事ニ於テ適宜償還年限ヲ定メ短期債ヲ起シ一時本縣債ニ代フルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル本縣債ノ起債時期ハ短期

債ノ償還終期迄之ヲ延長スルモノトス

前項短期債ハ本縣債ヲ以テ償還スルモノトス

短期債ヲ起ス場合ト雖別紙償還年次表ニ定ムル償還豫定額ハ之ヲ變更セザルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮野省三

一金參萬圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月一日				一一五〇	一一五〇
昭和十七年九月一日				六七五〇〇	六七五〇〇
昭和十八年三月一日				六七五〇〇	六七五〇〇
昭和十八年九月一日				六七五〇〇	六七五〇〇
昭和十九年三月一日				六七五〇〇	六七五〇〇
昭和十九年九月一日				六七五〇〇	六七五〇〇
昭和二十年三月一日				六七五〇〇	六七五〇〇

昭和二十年九月一日	0	六七五〇〇	六七五〇〇
昭和二十一年三月一日	0	六七五〇〇	六七五〇〇
昭和二十一年九月一日	七〇〇.五〇	六七五〇〇	一,三七五〇〇
昭和二十二年三月一日	七〇〇.〇〇	六五九.二五	一,三五九.二五
昭和二十二年九月一日	七〇〇.〇〇	六四三.五〇	一,三四三.五〇
昭和二十三年三月一日	八〇〇.〇〇	六二七.七五	一,四二七.七五
昭和二十三年九月一日	八〇〇.〇〇	六〇九.七五	一,四〇九.七五
昭和二十四年三月一日	八〇〇.〇〇	五九一.七五	一,三九一.七五
昭和二十四年九月一日	八〇〇.〇〇	五七三.七五	一,三七三.七五
昭和二十五年三月一日	八〇〇.〇〇	五五五.七五	一,三五五.七五
昭和二十五年九月一日	九〇〇.〇〇	五三七.七五	一,四三七.七五
昭和二十六年三月一日	九〇〇.〇〇	五一七.五〇	一,四一七.五〇
昭和二十六年九月一日	九〇〇.〇〇	四九七.二五	一,三九七.二五
昭和二十七年三月一日	九〇〇.〇〇	四七七.〇〇	一,三七七.〇〇

昭和二十七年九月一日	九〇〇.〇〇	四五六.七五	一,三五六.七五
昭和二十八年三月一日	九〇〇.〇〇	四三六.五〇	一,三三六.五〇
昭和二十八年九月一日	一,〇〇〇.〇〇	四一六.二五	一,四一六.二五
昭和二十九年三月一日	一,〇〇〇.〇〇	三九三.七五	一,三九三.七五
昭和二十九年九月一日	一,〇〇〇.〇〇	三七一.二五	一,三七一.二五
昭和三十年三月一日	一,〇〇〇.〇〇	三四八.七五	一,三四八.七五
昭和三十年九月一日	一,一〇〇.〇〇	三三六.二五	一,四二六.二五
昭和三十一年三月一日	一,一〇〇.〇〇	三〇一.五〇	一,四〇一.五〇
昭和三十一年九月一日	一,一〇〇.〇〇	二七六.七五	一,三七六.七五
昭和三十三年三月一日	一,一〇〇.〇〇	二五三.〇〇	一,三五三.〇〇
昭和三十三年九月一日	一,一〇〇.〇〇	二〇〇.二五	一,四〇〇.二五
昭和三十三年九月一日	一,一〇〇.〇〇	一七三.二五	一,三七三.二五
昭和三十四年三月一日	一,一〇〇.〇〇	一四六.二五	一,三四六.二五

昭和三十四年九月一日	1,300.00	119.25	1,419.25
昭和三十五年三月一日	1,300.00	90.00	1,390.00
昭和三十五年九月一日	1,300.00	60.75	1,360.75
昭和三十六年三月一日	1,200.00	31.50	1,231.50
計	3,100.00	171.675	3,271.675

第八十一號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 御大典記念縣行造林費及用排水改良事業費(内譯別表)ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金六萬九千圓ヲ起債スルモノトス

前項ノ縣債ハ岐阜縣罹災救助基金ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年三分七厘トシ毎年度九月三十日及三月三十一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌月ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當月迄月割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ起債年度ヨリ昭和二十年度迄据置キ其ノ後毎年度九月三十日及三月三十一日ニ於テ別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 本縣債元利金ノ償還財源ハ縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出 岐阜縣知事 宮野省三

別表

起債目的	起債金額
御大典記念縣行造林費	貳萬參千圓
用排水改良事業費	四萬六千圓
計	六萬九千圓

岐阜縣債償還年次表

一金六萬九千圓
但年利率三分七厘

償還年月日	元金	利子	計
昭和十七年三月三十一日	〇	二二.七五	二二.七五
昭和十七年九月三十日	〇	一三七.六五〇	一三七.六五〇

昭和十八年三月三十一日	0	1,276.50	1,276.50
昭和十八年九月三十日	0	1,276.50	1,276.50
昭和十九年三月三十一日	0	1,276.50	1,276.50
昭和十九年九月三十日	0	1,276.50	1,276.50
昭和二十年三月三十一日	0	1,276.50	1,276.50
昭和二十年九月三十日	0	1,276.50	1,276.50
昭和二十一年三月三十一日	0	1,276.50	1,276.50
昭和二十一年九月三十日	0	1,276.50	1,276.50
昭和二十二年三月三十一日	1,400.00	1,276.50	2,976.50
昭和二十二年九月三十日	1,400.00	1,276.50	3,045.05
昭和二十三年三月三十一日	1,400.00	1,276.50	3,011.75
昭和二十三年九月三十日	1,400.00	1,276.50	2,978.45
昭和二十四年三月三十一日	1,400.00	1,276.50	3,045.15
昭和二十四年九月三十日	1,400.00	1,276.50	3,010.00
昭和二十五年三月三十一日	1,400.00	1,276.50	2,978.45

昭和二十五年三月三十一日	1,000.00	1,039.70	3,039.70
昭和二十五年九月三十日	1,000.00	1,002.70	3,002.70
昭和二十六年三月三十一日	1,100.00	965.70	3,065.70
昭和二十六年九月三十日	1,100.00	926.85	3,036.85
昭和二十七年三月三十一日	1,100.00	888.00	2,988.00
昭和二十七年九月三十日	1,100.00	849.15	3,049.15
昭和二十八年三月三十一日	1,100.00	808.45	3,008.45
昭和二十八年九月三十日	1,100.00	767.75	2,967.75
昭和二十九年三月三十一日	1,100.00	727.05	3,027.05
昭和二十九年九月三十日	1,100.00	684.50	2,984.50
昭和三十年三月三十一日	1,200.00	641.95	3,041.95
昭和三十年九月三十日	1,200.00	597.55	2,997.55
昭和三十一年三月三十一日	1,200.00	553.15	3,053.15
昭和三十一年九月三十日	1,200.00	506.90	3,006.90

昭和三十三年三月三十一日	二、六〇〇・〇〇	四六〇・六五	三、〇六〇・六五
昭和三十三年九月三十日	二、六〇〇・〇〇	四二二・五五	三、〇二二・五五
昭和三十三年三月三十一日	二、七〇〇・〇〇	三六四・四五	三、〇六四・四五
昭和三十三年九月三十日	二、七〇〇・〇〇	三二四・五〇	三、〇二四・五〇
昭和三十四年三月三十一日	二、七〇〇・〇〇	二六四・五五	二、九六四・五五
昭和三十四年九月三十日	二、八〇〇・〇〇	二二四・六〇	三、〇二四・六〇
昭和三十五年三月三十一日	二、九〇〇・〇〇	一六二・八〇	三、〇六二・八〇
昭和三十五年九月三十日	二、九〇〇・〇〇	一〇九・一五	三、〇〇九・一五
昭和三十六年三月三十一日	三、〇〇〇・〇〇	五五・五〇	三、〇五五・五〇
計	六九、〇〇〇・〇〇	三二、九八四・六五	一〇〇、九八四・六五

第八十二號

岐阜縣起債方法並利息ノ定率及償還方法議案

第一條 岐阜縣自作農獎勵資金ニ充ツル爲昭和十六年度ニ於テ金貳拾五萬圓ヲ起債スルモノトス
前項ノ縣債ハ保證責任岐阜縣信用販賣購買利用組合聯合會其ノ他ヨリ借入ルルモノトス

第二條 本縣債ハ必要ニ應ジ債券ヲ發行スルコトヲ得
前項債券ノ様式ハ別ニ知事之ヲ定ム

第三條 本縣債ノ利子ハ年四分五厘以内トシ毎年度三月三十一日ニ於テ其ノ年度ニ屬スル一箇年分ヲ支拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一箇年ニ滿タザル端數期間ノ利子ハ借入ノ際ニ於テハ拂込ノ翌日ヨリ、償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割計算ニ依ルモノトス

第四條 本縣債ノ元金ハ昭和十六年度中据置キ昭和十七年度ヨリ昭和四十年年度ニ至ル二十四箇年賦償還トシ毎年度別表償還年次表ノ通償還スルモノトス但縣財政ノ都合ニヨリ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第五條 本縣債ノ償還財源ハ自作農獎勵資金ニ屬スル收入、國庫補助金及縣一般歳入ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

昭和十五年十一月十九日提出

岐阜縣知事 宮 野 省 三

岐阜縣債償還年次表

一金貳拾五萬圓

但年利率四分五厘

償還年月日	元	金	利	子	計
昭和十七年三月三十一日		〇		五、六三五・〇〇	五、六三五・〇〇